

1.0

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

医療需給総覧 version 1.0

地域分析

東京都 | 区南部医療圏

(医療圏コード：1302)

目次

1. 地域の概況

- 二次医療圏の概況
- 二次医療圏における人口変化率の推計
- 医療機関別の許可病床数
- 医療機関の指定状況

2. 医療提供体制の概況

- 人口10万人あたり医療機関数・病床数
- 人口10万人あたり医療従事者数の比較
- 都道府県内の医療圏の医師偏在指標
- 都道府県別の医師偏在指標
- 診療科別医師数
- 病床数及び診療実績の推移
- 地域の入院患者数と平均在院日数
- 医療機関別職員数
- 病床機能別の病床数の推移と必要病床数
- 病床機能別・医療機関別の許可病床数
- 入院料別病床数（病院のみ）
- 二次医療圏別の1日平均入院患者数
- 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）
- 患者流出入状況の年度推移（DPC症例数）
- MDC別退院患者数の推移

3. 医療需要の将来推計

- 人口推計
- 高齢化の状況
- 1日平均患者数
- 受療率の比較
- ICD別の患者数推計・増減率
- 精神病床の1日平均患者数
- DPC患者数の推計
- DPC症例数と平均入院期間の推移
- 手術件数の推計
- 疾患別患者数の推計（悪性腫瘍・脳卒中・虚血性心疾患・糖尿病）
- 在宅医療の需要推計（患者数・算定回数）
- 要介護者数の推計（年齢区分・要介護度別）

4. 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

- ポジショニングマップ
- 入退棟経路の傾向
- 救急車受入を行う病院の概要
- 病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数
- 救急医療の提供状況
- 救急医療の提供状況の類似区域との比較
- DPC対象病院における平均在院日数
- MDC別退院患者数および医療機関シェア
- DPC退院患者数のシェア

1/ 地域の概況

人口動態や地理特性から、地域の特性を把握する。

高齢化率の推移

生産年齢人口

可住地面積比率

人口構造等の地域の特徴を全国平均との比較や、
基幹的な役割を担う医療機関を確認することで、医療圏内の地域特性を把握する。

東京都 | 二次医療圏の概況

都道府県内の二次医療圏の人口および面積を整理しています。

医療計画においては、二次医療圏の人口が20万人未満、かつ、二次医療圏内の病院の流入患者割合が20%未満かつ流出患者割合が20%以上の場合に見直しの検討が必要とされています。

二次医療圏	人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)	可住地面積割合 (%)
区中央部	947,858	63.64	14,894.1	100%
区南部	1,170,569	84.70	13,820.2	100%
区西南部	1,475,635	87.83	16,801.0	100%
区西部	1,285,373	67.87	18,938.8	100%
区西北部	1,993,903	113.92	17,502.7	100%
区東北部	1,365,611	98.21	13,905.0	100%
区東部	1,494,327	106.66	14,010.2	100%
西多摩	379,043	572.70	661.9	23%
南多摩	1,440,971	324.46	4,441.1	72%
北多摩西部	658,632	90.05	7,314.1	96%
北多摩南部	1,061,790	96.10	11,048.8	100%
北多摩北部	749,421	76.51	9,795.1	98%
島しょ	24,461	401.87	60.9	41%
東京都 計	14,047,594	2,184.52	6,430.5	65%
全国	126,146,099	372,864.20	338.3	33%

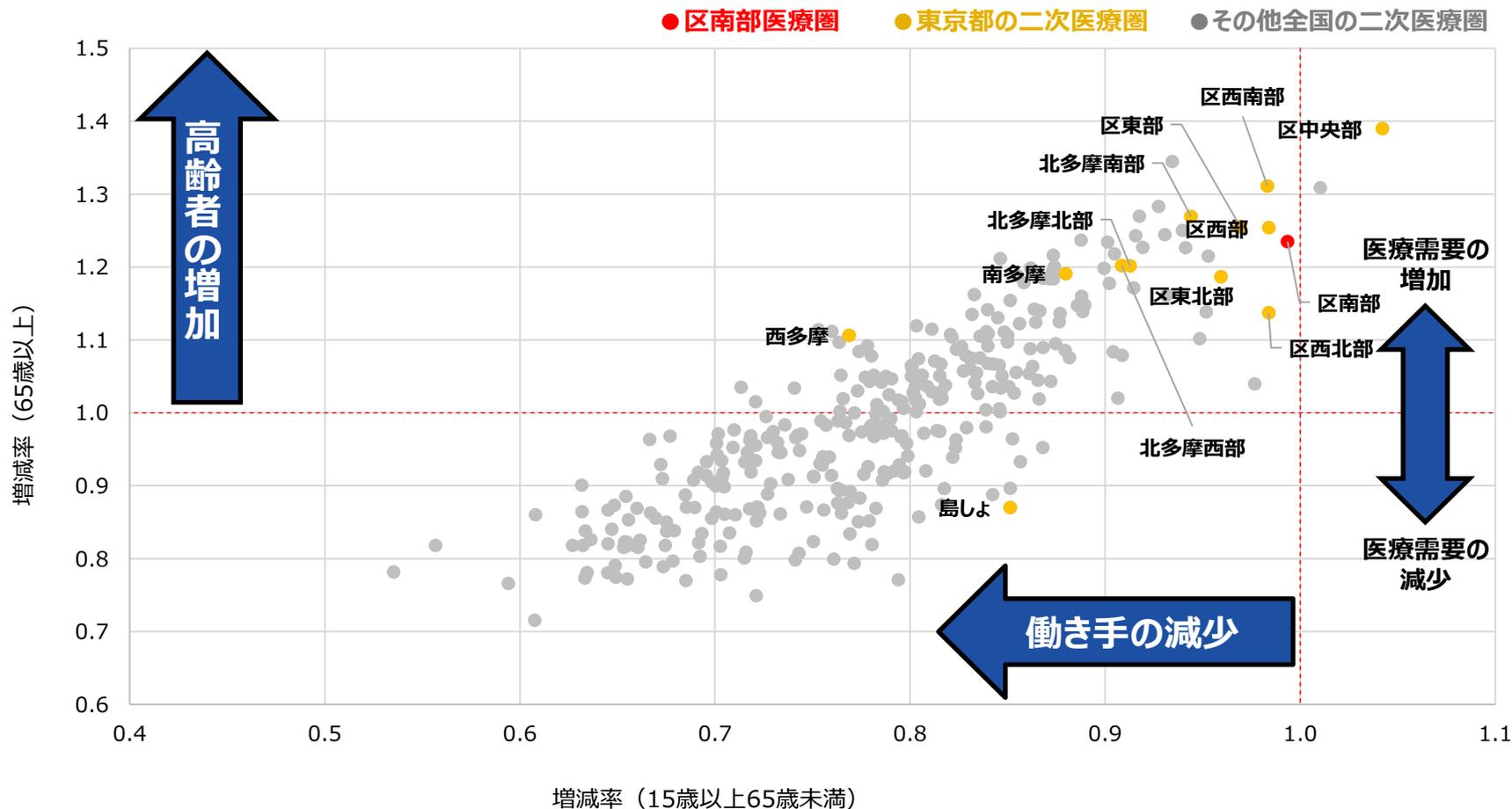
* 可住地面積とは、総面積(北方地域および竹島を除く)から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの

出典：「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

：「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

東京都 | 二次医療圏における人口変化率の推計（2025年～2050年）

高齢者の増減割合と生産年齢人口の増減割合の2軸で、全国の二次医療圏における当該医療圏の立ち位置を示しています。需給の変化に対して医療提供体制を確保できるか、という観点で課題を整理する必要があります。



区南部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

二次医療圏内の医療機関の立地とそれぞれの機能別の病床数を可視化しています。

特に急性期においては医療機関同士の距離と、地域住民のアクセスの観点で適切かつ効率的な配置となっているかを検証する必要があります。



※地図内の番号は、医療機関一覧のNoに対応しています

区南部医療圏 | 医療機関別の許可病床数

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
1	東邦大学医療センター大森病院	大田区	897					897
2	昭和大学病院	品川区	815					815
3	N T T 東日本関東病院	品川区	34	494		16		544
4	池上総合病院	大田区	14	192	42	188	42	478
5	東京都立荏原病院	大田区	6	425				431
6	東京品川病院	品川区	20	290	90			400
7	東京労災病院	大田区	6	342	52			400
8	大森赤十字病院	大田区	18	310		16		344
9	牧田総合病院	大田区	30	260				290
10	五反田リハビリテーション病院	品川区			240			240
11	JCHO東京蒲田医療センター	大田区		225				225
12	昭和大学病院附属東病院	品川区		199				199
13	大田病院	大田区	4	135	50			189
14	東京蒲田病院	大田区		124		56		180
15	牧田リハビリテーション病院	大田区			120	60		180
16	蒲田リハビリテーション病院	大田区			180			180
17	大田池上病院	大田区		52	92			144
18	東急病院	大田区		135				135
19	品川リハビリテーション病院	品川区			84	46		130
20	目蒲病院	大田区				126		126
21	第三北品川病院	品川区	16	98				114
22	東京ちどり病院	大田区		24	60	14		98
23	田園調布中央病院	大田区		60	31			91
24	大崎病院 東京ハートセンター	品川区		88				88
25	糀谷病院	大田区				88		88
26	阿部病院	品川区				84		84
27	高野病院	大田区				80		80
28	京浜病院	大田区				71		71
29	品川志匠会病院	品川区		66				66
30	大森山王病院	大田区			30	35		65

No	医療機関名	市町村名	高度 急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 無回答	総計
31	旗の台病院	品川区		60				60
32	稲波脊椎・関節病院	品川区		60				60
33	渡辺病院	大田区		60				60
34	大井中央病院	品川区			20	35		55
35	本多病院	大田区		47				47
36	大村病院	品川区		21		24		45
37	昭和大学歯科病院	大田区		22				22
38	いすゞ病院	品川区					20	20
39	若葉眼科病院	大田区		20				20
	総計		1,860	3,809	1,091	939	62	7,761

区南部医療圏 | 医療機関の指定状況①

二次医療圏内の医療機関の指定状況を示しています。基幹的な機能をどの医療機関が担っているかを確認できます。

役割の不足や重複を確認して、二次医療圏の医療提供体制の充足度と効率性を検討できます。

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療支援病院	救命救急センター	災害拠点病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
1	東邦大学医療センター大森病院	916	大学		○	地域	総合	地域拠点	PSC	
2	昭和大学病院	815	大学		○	地域	総合	地域拠点	PSC	
3	N T T 東日本関東病院	594	特定	○		地域		地域拠点	PSCコア	
4	東京都立荏原病院	461	標準	○		地域			PSC	在後病
5	東京品川病院	440	標準						PSCコア	在後病
6	東京労災病院	400	標準	○		地域			PSC	在後病
7	池上総合病院	384	標準			地域			PSC	在後病
8	大森赤十字病院	344	標準	○		地域			PSCコア	在後病
9	牧田総合病院	290	標準						PSC	在後病
10	五反田リハビリテーション病院	240								
11	J C H O 東京蒲田医療センター	230	標準							在後病
12	昭和大学病院附属東病院	199	標準							
13	大田病院	189	標準							支援病 2
14	蒲田リハビリテーション病院	180								
15	牧田リハビリテーション病院	180								支援病 2
16	東京蒲田病院	180								支援病 3
17	大田池上病院	144	標準							支援病 2
18	東急病院	135	標準							支援病 2
19	品川リハビリテーション病院	130								
20	第三北品川病院	114	標準						PSC	
21	東京ちどり病院	98								
22	田園調布中央病院	91	標準							
23	糀谷病院	88								
24	大崎病院 東京ハートセンター	88								
25	渡辺病院	84								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

区南部医療圏 | 医療機関の指定状況②

No.	医療機関略称	病床数	DPC	地域医療 支援病院	救命救急 センター	災害拠点 病院	周産期	がん診療	脳卒中	在宅医療
26	阿部病院	84								
27	高野病院	80								
28	京浜病院	71								
29	品川志匠会病院	66								
30	大森山王病院	65								支援病 2
31	南晴病院	62								支援病 2
32	稲波脊椎・関節病院	60								
33	旗の台病院	60								支援病 3
34	大井中央病院	55								支援病 1
35	本多病院	47								支援病 3
36	大村病院	45								支援病 3
37	目蒲病院	24								
38	昭和大学歯科病院	22								
39	若葉眼科病院	20								
40	いすゞ病院	20								

出典：

「施設基準の届出受理状況（全体）（届出受理医療機関名簿）令和7年1月1日現在」（各地方厚生局）

「厚生労働省 令和7年告示第166号」

「地域医療支援病院一覧 令和6年9月1日時点」（厚生労働省）

「救命救急センター設置状況一覧 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「災害拠点病院一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「周産期母子医療センター一覧 令和6年4月1日現在」（厚生労働省）

「がん診療連携拠点病院等一覧表 令和7年4月1日現在」（厚生労働省）

「一次脳卒中センター（PSC）一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

「一次脳卒中センター（PSC）コア一覧 認定期間：2025/4/1～2026/3/31」（一般社団法人日本脳卒中学会）

2/ 医療提供体制の概況

地域の医療提供体制を、医療資源の供給量や受療動向から整理する。

病床数

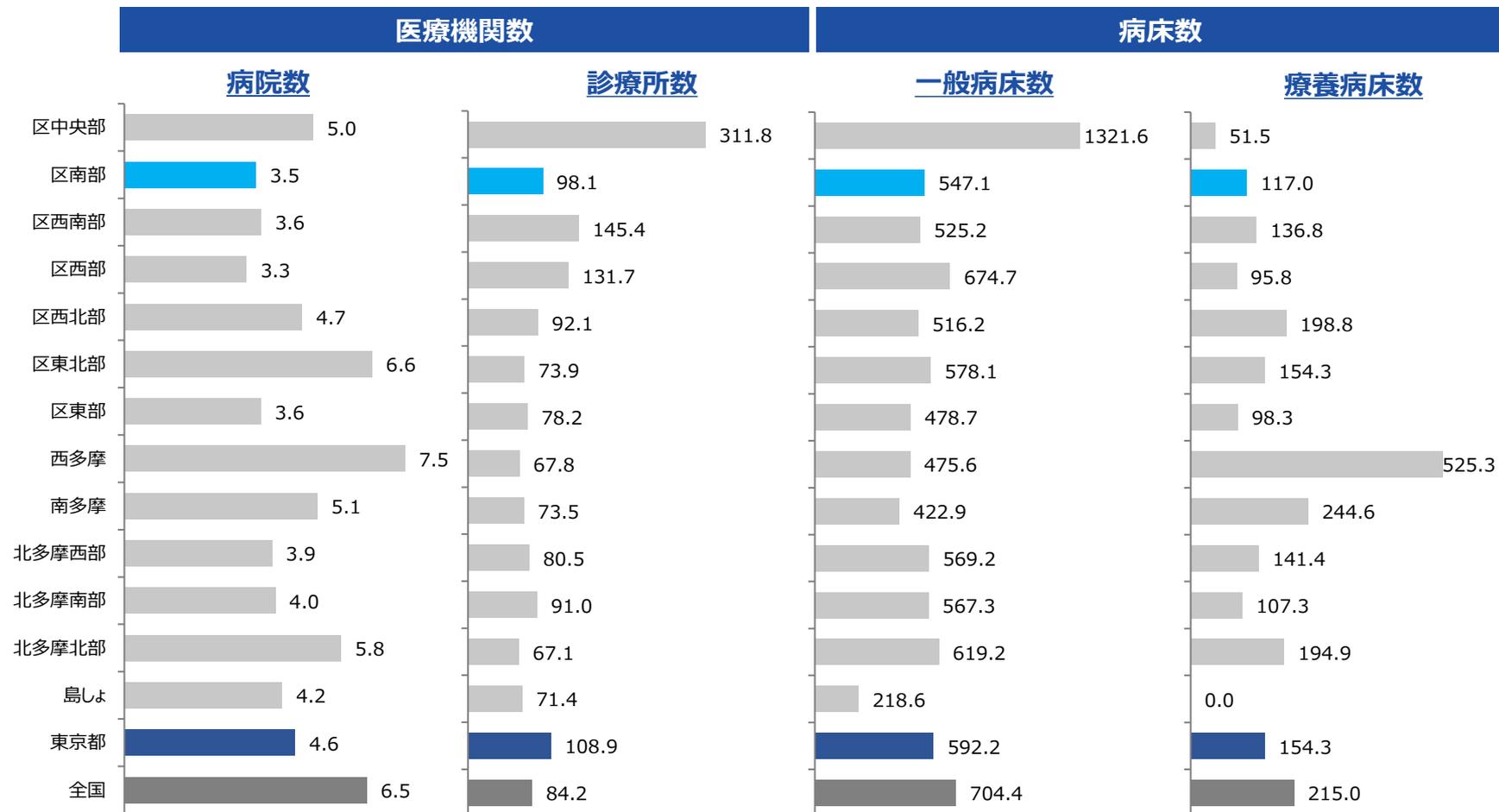
医師数

職種別人員配置

全国・県平均や医師偏在指標との比較から、地域の供給構造における不足や偏りを把握する。患者流出入や平均在院日数などを踏まえ、医療資源の効率性と機能分化の進展を評価する。

東京都 | 人口10万人あたり医療機関数・病床数

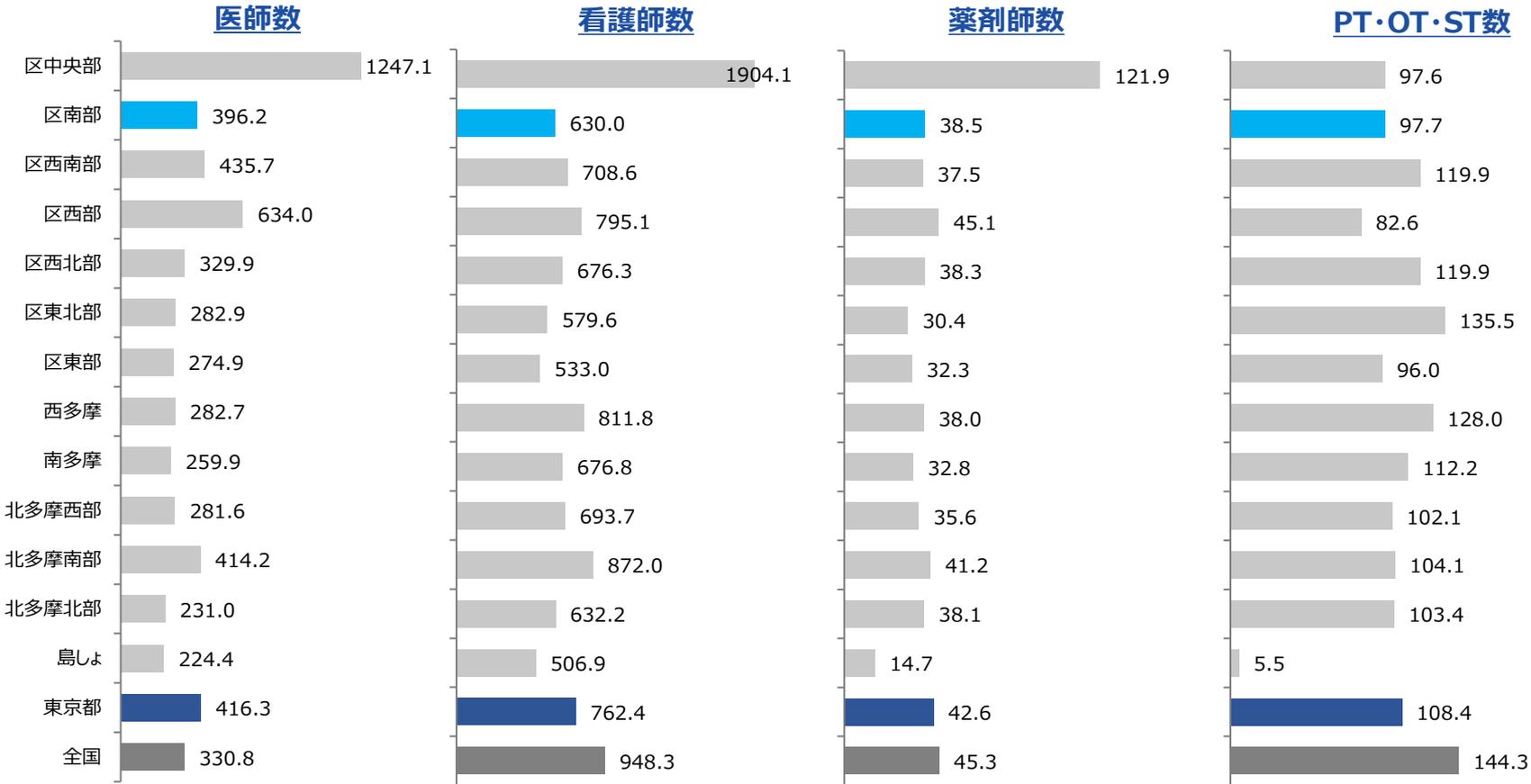
都道府県内二次医療圏の、人口10万人あたりの医療機関数と病床数を比較しています。
 全国よりも病院数や病床数が多い場合には、医療資源が分散している可能性があります。
 診療所が少ない場合は、かかりつけ医の確保が課題となっている可能性があります。



東京都 | 人口10万人あたり医療従事者数の比較

都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医療従事者数を比較しています。

地域全体の医療従事者に不足がないかを確認し、医療従事者の確保が現状において困難となっていないか確認します。

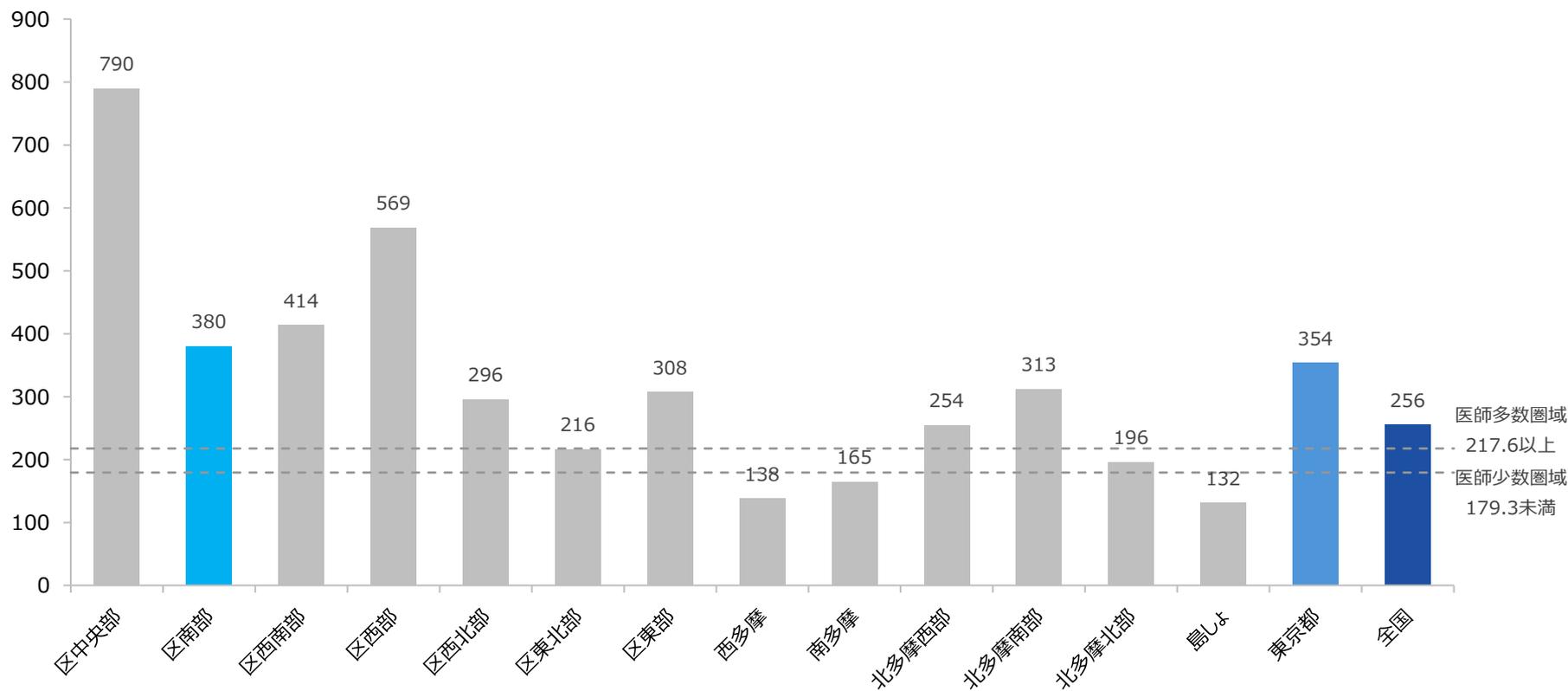


出典：「令和5年医療施設（静態・動態）調査」（厚生労働省）
 「令和2年国勢調査」（総務省統計局）

東京都 | 都道府県内の医療圏の医師偏在指標

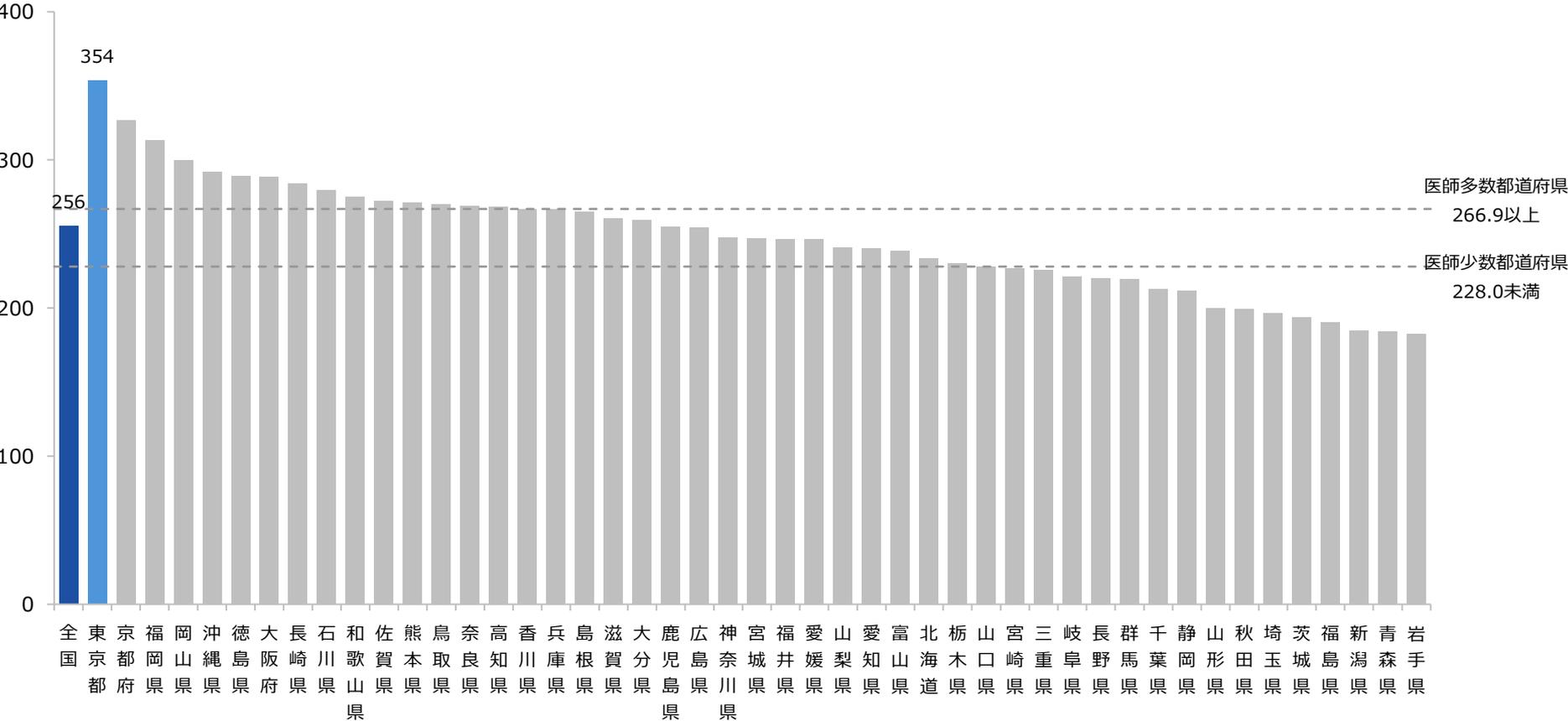
都道府県内の二次医療圏における、人口10万人あたりの医師数を比較しています。

医師偏在指標は、患者の流出入等の患者動向や医師の年齢等の条件を調整し、全国の二次医療圏と患者数に対する医師のマンパワーを比較する指数となります。



都道府県別の医師偏在指標

医師偏在指標を他の都道府県と比較しています。
 都道府県全体で医師数が不足している場合、当該医療圏での医師確保は比較的困難となります。
 当該医療圏以外の動向も含めて整理をする必要があります。



出典：「医師偏在指標関連データ（令和6年1月公表版）」（厚生労働省）

区南部医療圏 | 診療科別医師数

当該医療圏の65歳以上人口10万人あたりの医師数を、診療科別で比較しています。

地域内に不足している診療科を確認できます。

区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		医療圏	全国	圏域-全国	割合	区分	診療科	65歳以上人口 10万人あたり医師数		全国平均との差		
		医療圏	全国	圏域-全国	割合							医療圏	全国	圏域-全国	割合	
内科系	内科	215	86.5	128.5	+148%					小児・	小児科	71.3	25.2	46.1	+183%	
	呼吸器内科	38.1	9.9	28.2	+285%					周産期	小児外科	4.6	1.2	3.4	+279%	
	循環器内科	63	19.1	43.9	+230%						産婦人科	57.6	16	41.5	+259%	
	消化器内科(胃腸内科)	73.3	22.6	50.8	+225%						産科	0.4	0.7	-0.3	▲41%	
	腎臓内科	36	8	28.1	+351%						婦人科	8.3	2.9	5.4	+184%	
	脳神経内科	34	8.3	25.7	+312%					眼科・耳鼻・	眼科	60.9	19.2	41.7	+218%	
	糖尿病内科(代謝内科)	30.7	8.4	22.2	+263%					皮膚・美容	耳鼻いんこう科	51.4	13.3	38.1	+287%	
	血液内科	10.4	4.2	6.1	+145%						皮膚科	69.6	14.2	55.4	+390%	
	アレルギー科	1.2	0.3	1	+370%						美容外科	1.7	1.8	-0.1	▲6%	
	リウマチ科	13.3	2.7	10.5	+385%					麻酔・	麻酔科	51	14.6	36.3	+248%	
	感染症内科	4.1	0.9	3.3	+376%					集中治療系	救急科	15.3	5.5	9.8	+177%	
外科系	外科	36	18.1	18	+99%						集中治療科	4.1	1.3	2.8	+219%	
	呼吸器外科	7.9	3	4.9	+161%					放射線・	放射線科	30.7	10.3	20.3	+197%	
	心臓血管外科	13.3	4.6	8.7	+190%					検査系	病理診断科	12.4	3.2	9.3	+292%	
	乳腺外科	12.8	3.3	9.6	+294%						臨床検査科	3.7	0.9	2.8	+304%	
	気管食道外科	3.7	0.1	3.6	+2458%					リハビリ	リハビリテーション科	24	4.4	19.7	+451%	
	消化器外科(胃腸外科)	18.6	8.2	10.4	+128%					精神	精神科	42.7	23.8	18.9	+79%	
	泌尿器科	35.6	11.2	24.5	+219%						心療内科	7	1.2	5.8	+477%	
	肛門外科	2.1	0.6	1.4	+227%					その他	その他	148.3	36.7	111.6	+304%	
	脳神経外科	34.8	10.6	24.2	+227%					総計	総計	1452	463.3	988.7	+213%	
	整形外科	93.2	31.8	61.4	+193%											
	形成外科	9.9	4.5	5.4	+119%											

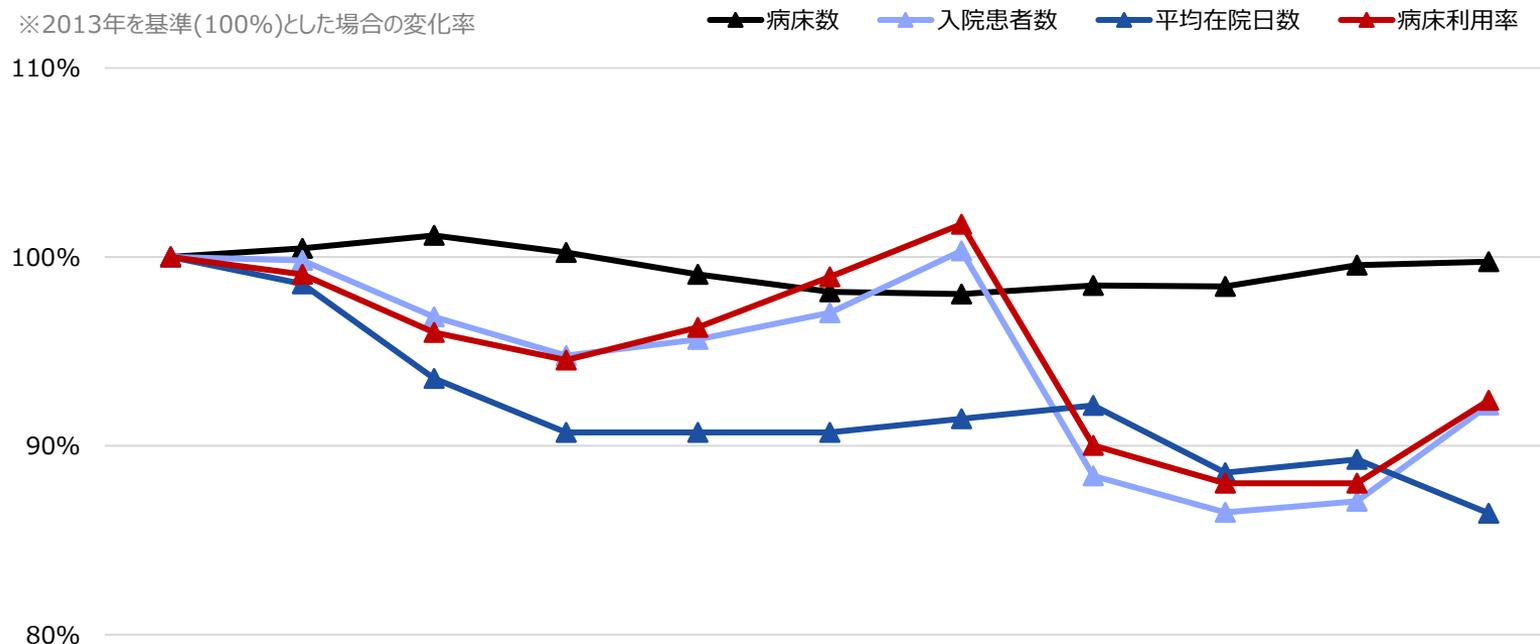
区南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般病床）

当該医療圏の一般病床における、診療実績の推移を示しています。

入院患者数が減少しているか、また、それが平均在院日数の短縮によるものかを確認します。

入院患者数の減少に合わせて病床数が減少しているか、病床利用率が低下していないか確認します。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

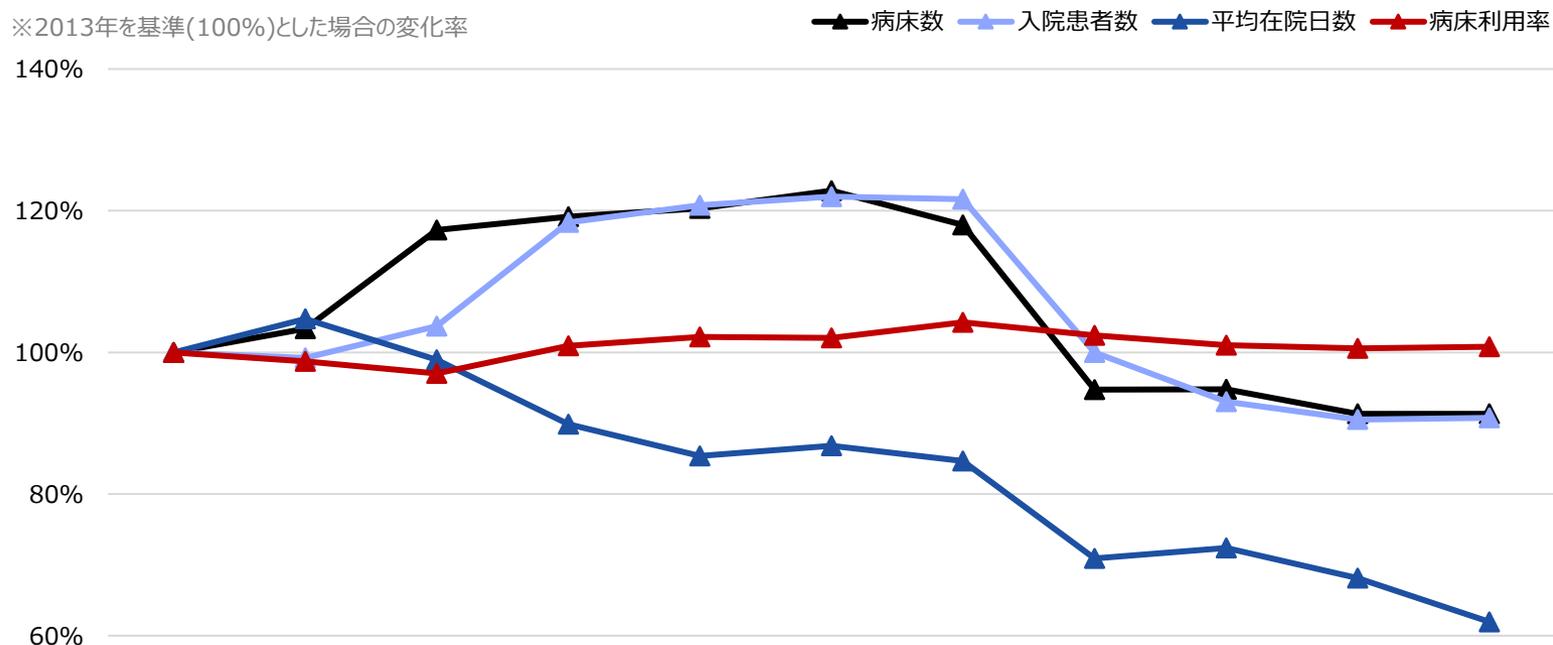


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	6,255	6,283	6,326	6,270	6,197	6,139	6,132	6,160	6,157	6,228	6,239	▲0.3%
入院患者数 (人/日)	4,695	4,686	4,546	4,450	4,490	4,556	4,710	4,151	4,060	4,088	4,327	▲7.8%
平均在院日数 (日)	14.0	13.8	13.1	12.7	12.7	12.7	12.8	12.9	12.4	12.5	12.1	▲13.6%
病床利用率 (%)	75.1	74.4	72.1	71.0	72.3	74.3	76.4	67.6	66.1	66.1	69.4	▲7.6%

区南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（療養病床）

当該医療圏の療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率

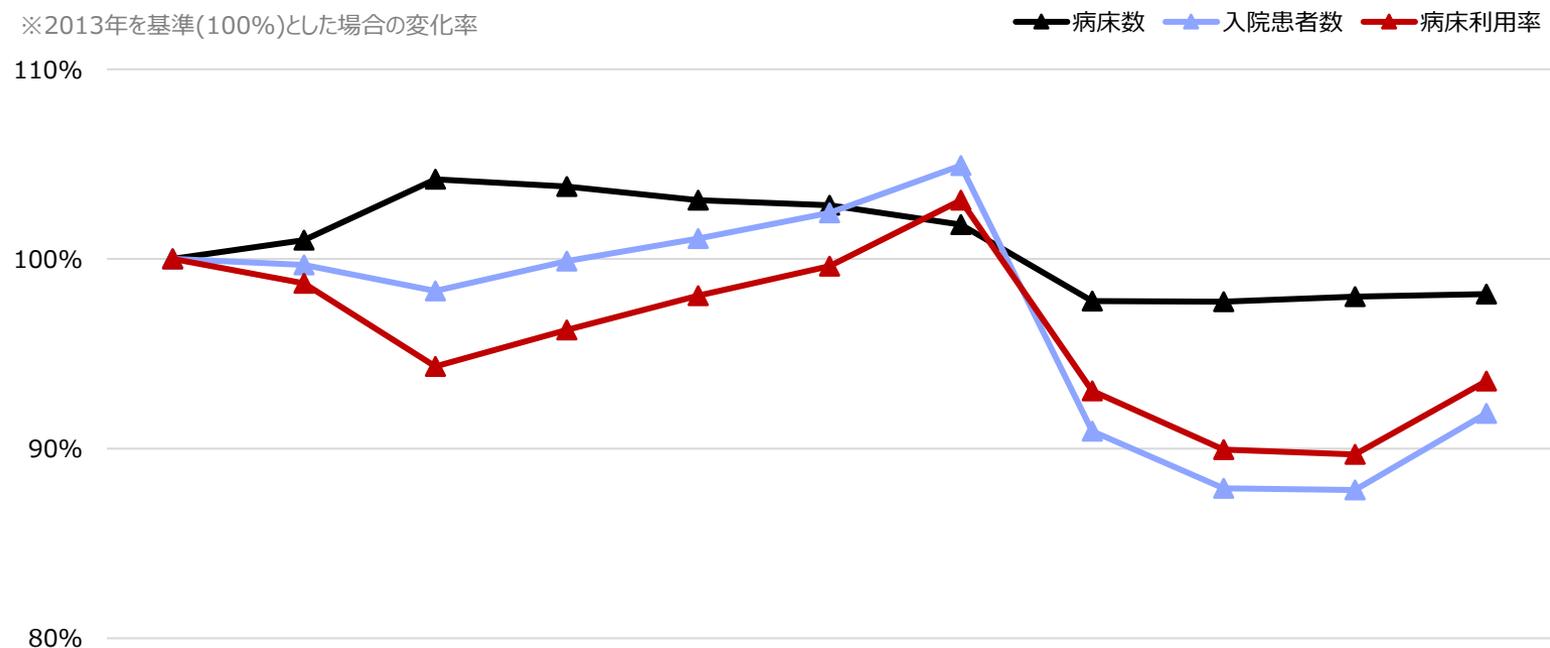


	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	1,463	1,512	1,716	1,743	1,760	1,797	1,726	1,386	1,387	1,336	1,336	▲8.7%
入院患者数 (人/日)	1,296	1,286	1,344	1,534	1,565	1,581	1,576	1,296	1,206	1,173	1,176	▲9.3%
平均在院日数 (日)	152.5	159.7	150.9	137.0	130.2	132.4	129.1	108.1	110.4	103.9	94.5	▲38.0%
病床利用率 (%)	87.3	86.2	84.7	88.1	89.2	89.1	91.0	89.4	88.2	87.8	88.0	+0.8%

区南部医療圏 | 病床数及び診療実績の推移（一般+療養）

当該医療圏の一般病床と療養病床における、診療実績の推移を示しています。

※2013年を基準(100%)とした場合の変化率



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2013年比
病床数	7,718	7,795	8,042	8,013	7,957	7,936	7,858	7,546	7,544	7,564	7,575	▲1.9%
入院患者数 (人/日)	5,991	5,972	5,890	5,984	6,055	6,137	6,286	5,447	5,266	5,261	5,503	▲8.1%
病床利用率 (%)	77.6	76.6	73.2	74.7	76.1	77.3	80.0	72.2	69.8	69.6	72.6	▲6.4%

東京都 | 都道府県内の医療圏の入院患者数と平均在院日数

都道府県内の二次医療圏ごとの、入院患者数の推移と平均在院日数の変化を示しています。

都道府県全体と近隣の医療圏と比較することで、各医療圏の傾向を確認できます。

医療圏	入院患者数(総数)					平均在院日数						
	2013年		2018年		2023年		2013年		2018年		2023年	
	実績	実績	2013年比	実績	2013年比	実績	実績	2013年比	実績	2013年比		
全国	1,275,347	1,246,867	▲2.2%	1,123,654	▲11.9%	30.6	27.8	▲9.2%	26.3	▲14.1%		
東京都	101,922	102,541	+0.6%	92,441	▲9.3%	23.5	21.8	▲7.2%	20.9	▲11.1%		
区中央部	10,600	10,147	▲4.3%	9,178	▲13.4%	13.2	12.0	▲9.1%	11.2	▲15.2%		
区南部	6,175	6,284	+1.8%	5,665	▲8.3%	17.9	17.0	▲5.0%	15.2	▲15.1%		
区西南部	8,426	8,254	▲2.0%	7,164	▲15.0%	19.7	18.3	▲7.1%	18.7	▲5.1%		
区西部	8,233	8,122	▲1.3%	6,877	▲16.5%	16.2	15.1	▲6.8%	13.9	▲14.2%		
区西北部	13,864	14,002	+1.0%	12,998	▲6.2%	27.7	25.7	▲7.2%	25.6	▲7.6%		
区東北部	8,303	8,831	+6.4%	8,497	+2.3%	27.1	26.5	▲2.2%	27.7	+2.2%		
区東部	5,994	6,860	+14.4%	6,416	+7.0%	16.5	16.0	▲3.0%	15.8	▲4.2%		
西多摩	5,810	5,592	▲3.8%	4,636	▲20.2%	61.5	60.7	▲1.3%	57.9	▲5.9%		
南多摩	14,913	14,664	▲1.7%	12,976	▲13.0%	48.4	41.6	▲14.0%	40.3	▲16.7%		
北多摩西部	3,444	3,878	+12.6%	3,716	+7.9%	21.8	20.8	▲4.6%	20.4	▲6.4%		
北多摩南部	9,189	9,028	▲1.8%	8,018	▲12.7%	26.7	24.5	▲8.2%	22.5	▲15.7%		
北多摩北部	6,945	6,850	▲1.4%	6,270	▲9.7%	39.1	36.1	▲7.7%	32.4	▲17.1%		
島しょ	26	28	+7.7%	28	+7.7%	15.6	15.8	+1.3%	15.2	▲2.6%		

区南部医療圏 | 医療機関別職員数①

当該医療圏内の医療機関の職員数を比較しています。

各病院の医療機能に対して、適切な職員配置となっているか確認します。

No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
1	昭和大学病院	767.4	665	1,056.8	9.0	32.1	81.2	2,110.7
2	東邦大学医療センター大森病院	517.0	448	1,027.9	45.9	21.3	71.2	1,882.9
3	N T T 東日本関東病院	269.0	230	703.2	13.7	50.0	44.0	1,240.5
4	大森赤十字病院	126.5	117	386.1	44.8	33.0	25.1	676.6
5	東京品川病院	99.6	91	416.2	67.0	192.0	33.0	921.0
6	牧田総合病院	104.6	81	297.5	42.5	65.0	17.0	557.6
7	東京都立荏原病院	118.1	79	294.0	26.8	18.0	26.5	555.7
8	東京労災病院	77.4	76	363.3	32.0	22.0	22.9	576.4
9	池上総合病院	81.7	68	234.1	39.5	57.0	25.4	528.9
10	昭和大学病院附属東病院	85.0	68	134.0	2.0	7.0	7.4	241.6
11	J C H O 東京蒲田医療センター	39.0	39	175.7	16.0	13.0	11.0	292.3
12	東急病院	33.0	33	162.4	3.0	16.0	6.5	241.9
13	大田病院	22.4	16	196.8	32.2	94.4	7.0	392.0
14	稲波脊椎・関節病院	19.1	14	58.2	12.0	7.4	4.1	114.1
15	第三北品川病院	13.0	13	84.9	14.5	16.0	4.7	134.1
16	東京蒲田病院	14.3	11	113.5	34.2	9.0	7.9	206.9
17	大田池上病院	21.4	11	78.1	22.7	17.0	9.4	178.6
18	五反田リハビリテーション病院	11.8	10	123.0	71.0	232.7	4.6	450.0
19	牧田リハビリテーション病院	11.1	10	102.7	42.8	96.0	4.0	258.6
20	品川志匠会病院	10.4	9	46.2	10.0	10.0	2.3	92.9
21	蒲田リハビリテーション病院	10.2	8	81.8	45.1	163.0	3.0	307.3
22	大崎病院 東京ハートセンター	8.8	7	56.7	8.6	1.0	4.0	91.5
23	田園調布中央病院	19.8	7	82.3	13.1	26.0	5.5	164.7
24	品川リハビリテーション病院	7.0	6	63.2	24.4	61.8	4.0	161.6
25	いすゞ病院	16.1	6	17.6	0	2.0	2.0	52.7

区南部医療圏 | 医療機関別職員数②

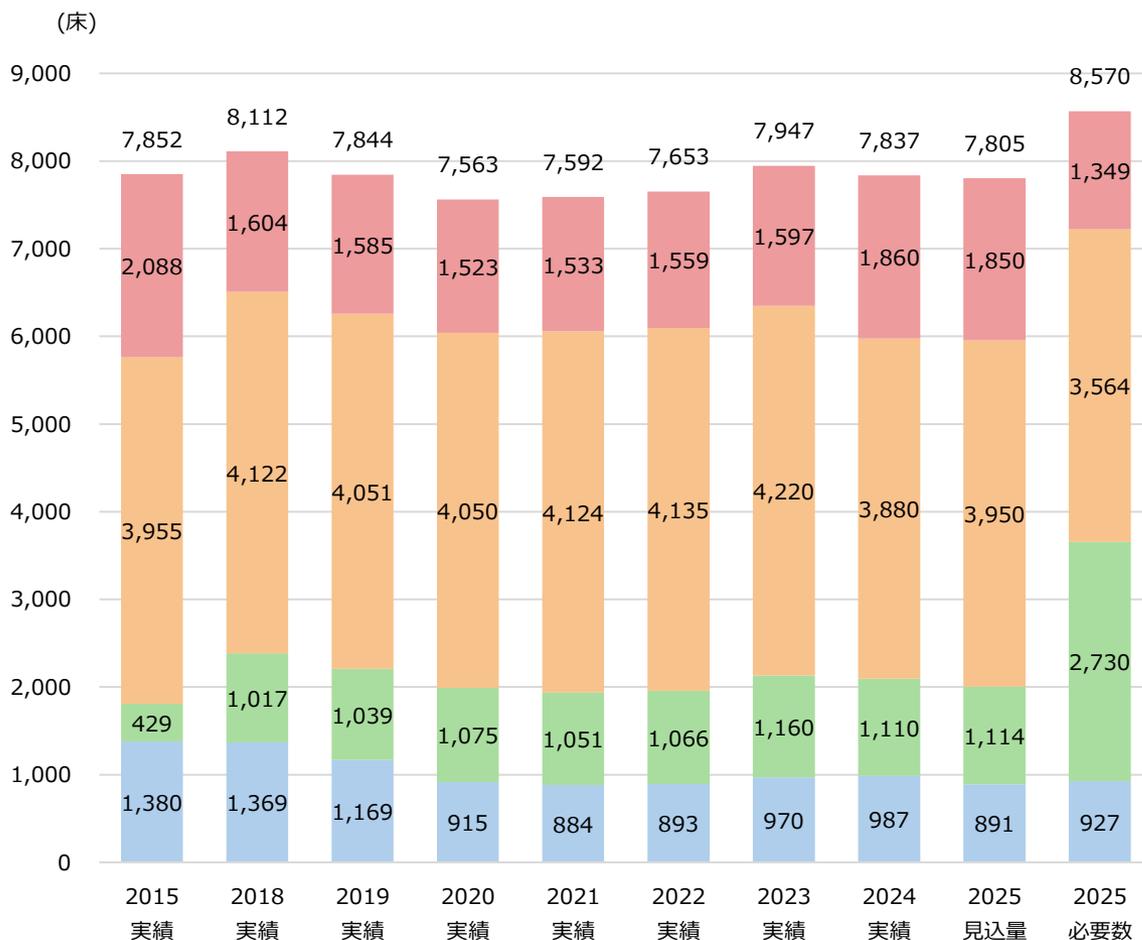
No.	医療機関名	医師	うち、常勤	看護職員	看護補助者	PT+OT+ST	薬剤師	全職員
26	大森山王病院	6.4	5	44.7	16.6	6.0	2.0	83.7
27	渡辺病院	10.8	5	27.8	3.0	1.6	1.0	52.5
28	大井中央病院	6.1	4	27.2	6.4	5.1	1.0	46.8
29	若葉眼科病院	7.6	4	14.7	0	0	0	23.3
30	東京ちどり病院	4.0	4	52.3	21.0	6.0	2.6	85.9
31	旗の台病院	9.3	4	27.5	4.5	3.0	2.0	53.1
32	京浜病院	4.9	3	39.2	16.9	5.0	3.6	81.4
33	高野病院	5.6	3	21.4	17.5	0	1.0	48.9
34	本多病院	6.6	2	22.6	5.0	5.9	3.0	47.2
35	阿部病院	5.2	2	20.8	16.1	1.0	1.8	46.9
36	目蒲病院	6.0	2	23.0	5.6	4.0	1.0	44.3
37	大村病院	4.3	2	22.2	3.4	2.0	1.8	35.7
38	糀谷病院	4.8	1	25.6	21.9	2.2	1.7	58.3
39	昭和大学歯科病院	0	0	25.3	0	4.2	11.0	203.5
	総計	2,585.3	2,164	6,750.5	810.7	1,308.7	467.2	13,342.6

区南部区域 | 病床機能別の病床数の推移と必要病床数

当該構想区域の病床機能別の病床数の推移と、2025年の必要病床数を示しています。

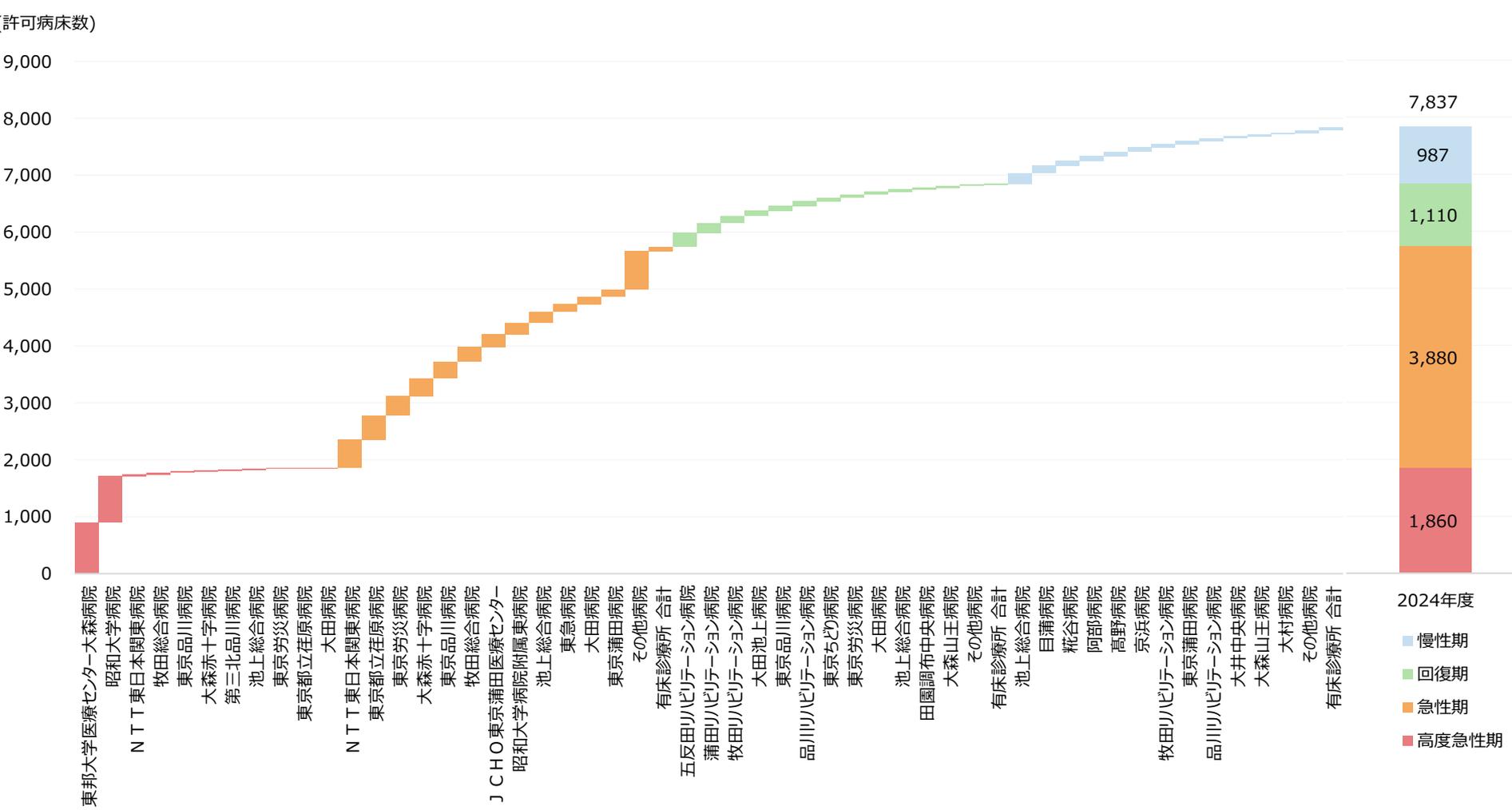
病床数全体の推移だけでなく、機能ごとの増減や、必要病床数との差を検証します。

高度急性期・急性期が少ない場合は急性期の確保、回復期が少ない場合は機能分化が課題として挙げられます。



病床機能	2024年 7月時点	2025年 必要数	差分
高度急性期	1,860	1,349	+511
急性期	3,880	3,564	+316
回復期	1,110	2,730	▲1,620
慢性期	987	927	+60
合計	7,837	8,570	▲733

区南部医療圏 | 病床機能別・医療機関別の許可病床数



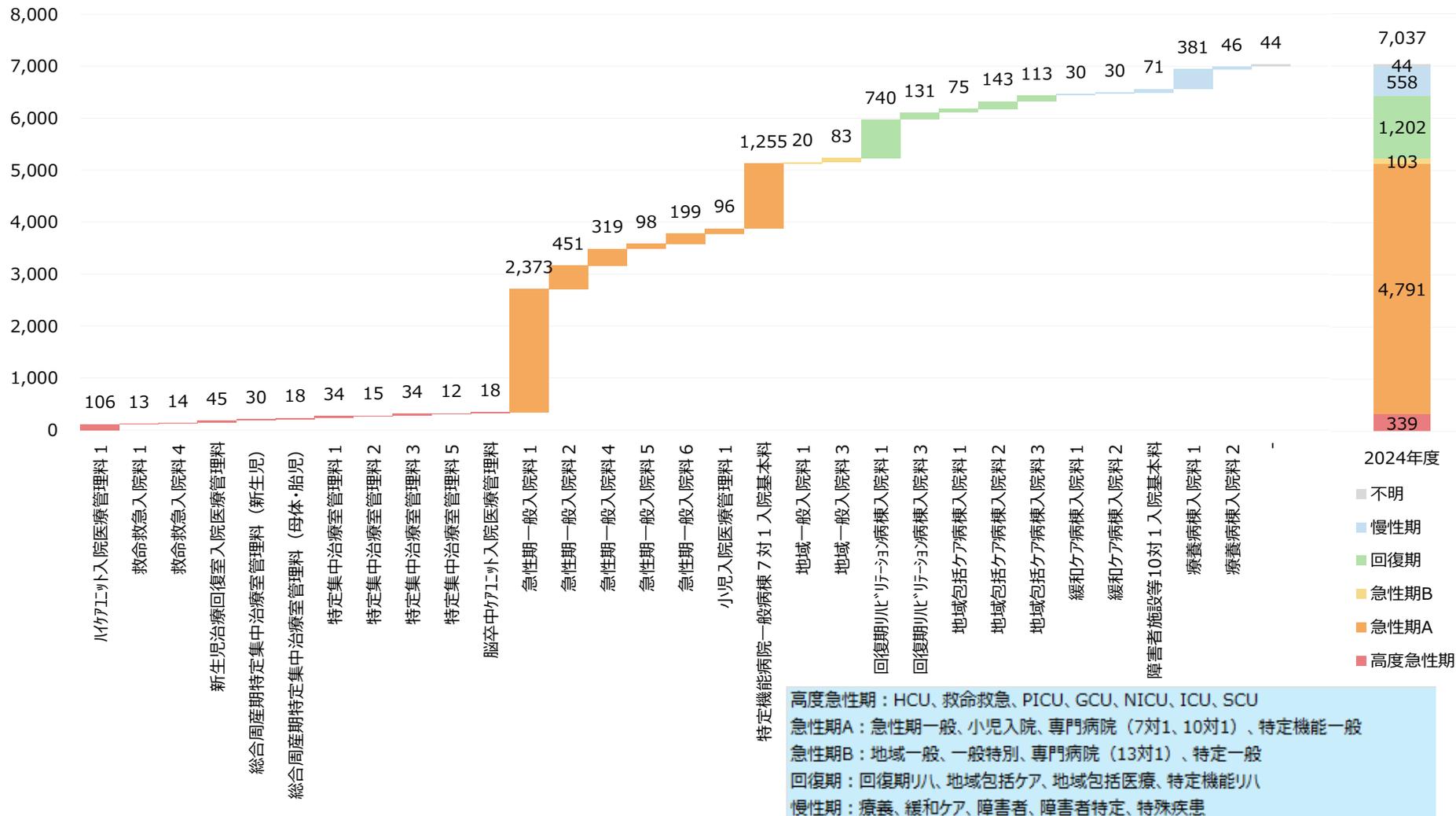
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

区南部医療圏 | 入院料別届出病床数 (病院のみ/入院基本料に基づく機能分類)

当該医療圏の入院料別の届出病床数を整理しています。

それぞれの病床機能に適した入院料の病床数が多いか確認できます。

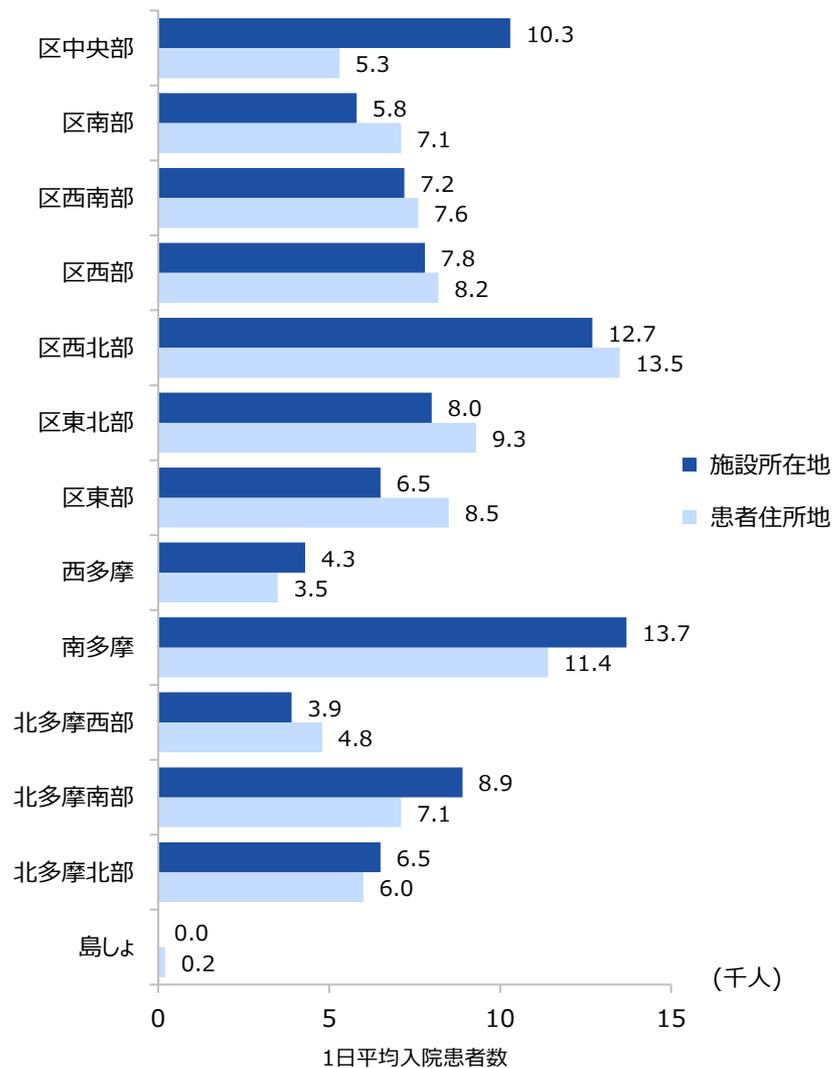
(届出病床数)



東京都 | 二次医療圏別の1日平均入院患者数

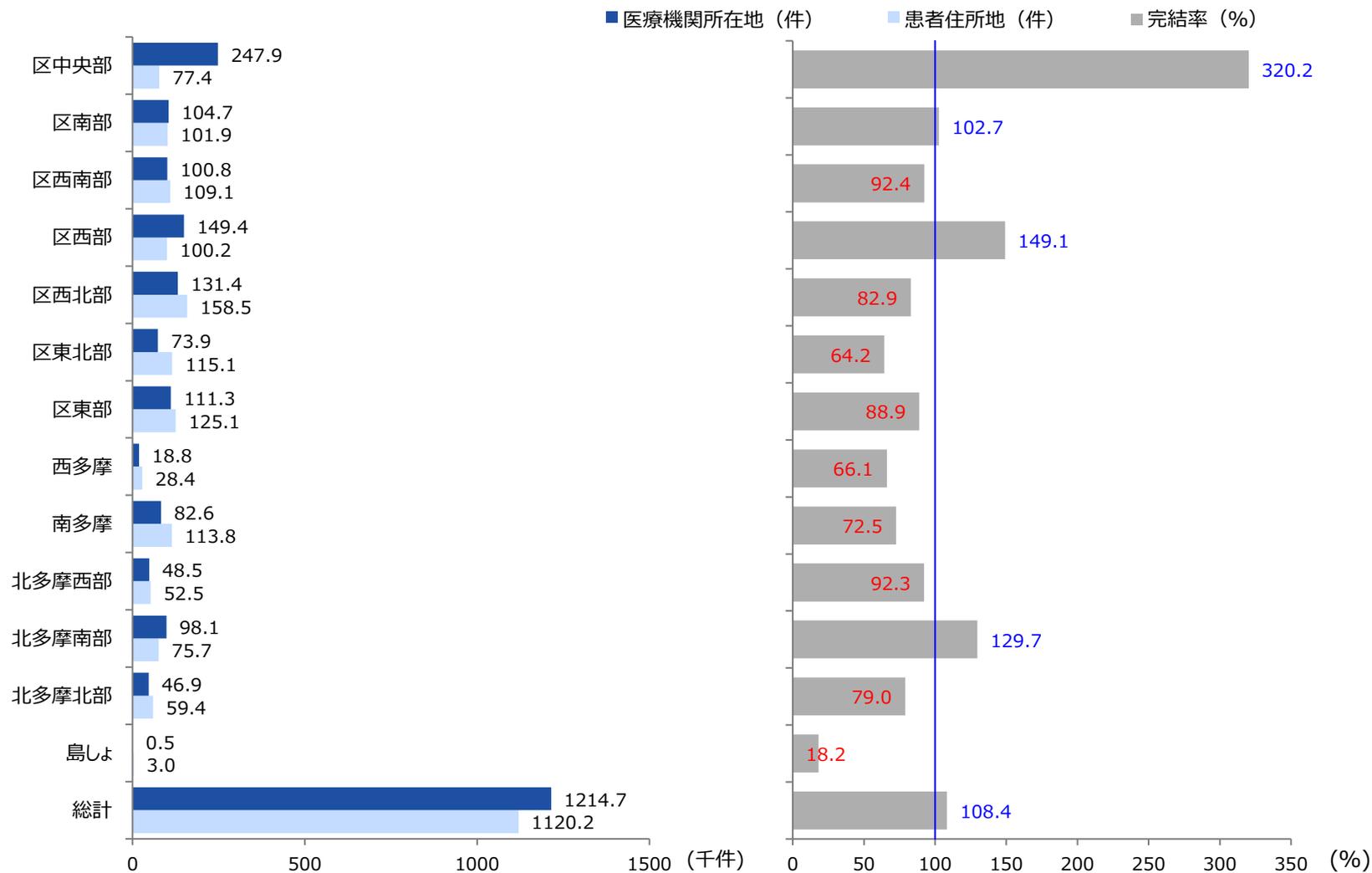
左図は、都道府県内の二次医療圏における1日平均入院患者数の流出入の状況を示しています。

右表では、当該医療圏におけるICD大分類別の1日平均入院患者数の流出入を示しています。



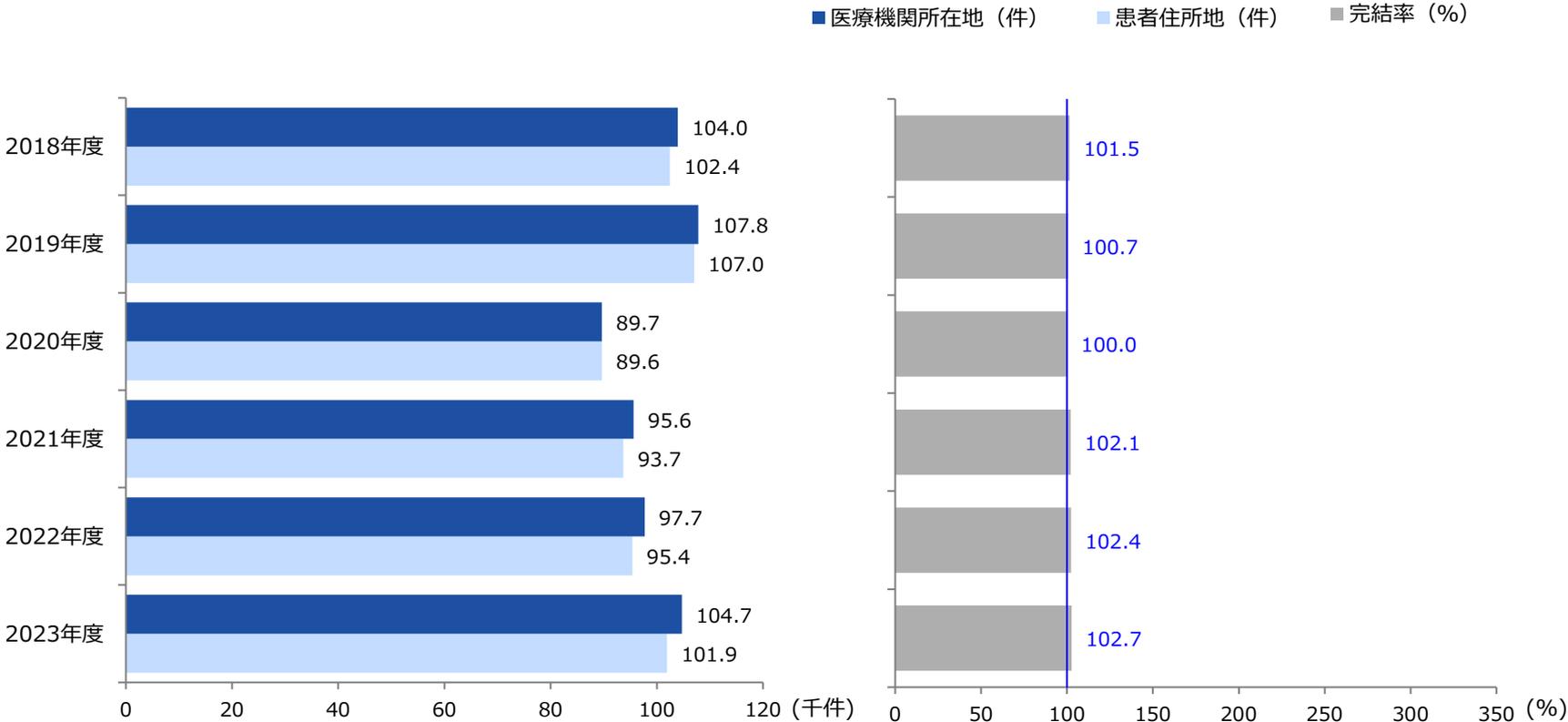
傷病分類	入院患者数(単位：千人/日)		流出入
	施設所在地	患者住所地	
I 感染症	0.1	0.1	0
II 新生物	0.9	1.0	▲0.1
III 血液	0	0	0
IV 内分泌	0.1	0.2	▲0.1
V 精神	0.1	0.9	▲0.8
VI 神経系	0.2	0.5	▲0.3
VII 眼	0.1	0.1	0
VIII 耳	0	0	0
IX 循環器	1.1	1.1	0
X 呼吸器	0.5	0.6	▲0.1
X I 消化器	0.4	0.4	0
X II 皮膚	0.1	0.1	0
X III 筋骨格	0.6	0.5	0.1
X IV 腎尿路	0.3	0.3	0
X V 妊娠, 分娩	0.1	0.1	0
X VI 周産期	0	0.1	▲0.1
X VII 先天奇形	0	0	0
X VIII 症状, 徴候	0	0	0
X IX 損傷, 中毒	0.8	0.8	0
X X I 保健サービス	0.1	0.1	0
X X II 特殊目的用	0.1	0.1	0
総数	5.6	7.0	▲1.4

東京都 | 二次医療圏別の流出入状況（DPC症例数）



区南部医療圏 | 患者流出入状況の年度推移 (DPC症例数)

都道府県内の二次医療圏におけるDPC症例数の流出入の状況を示しています。



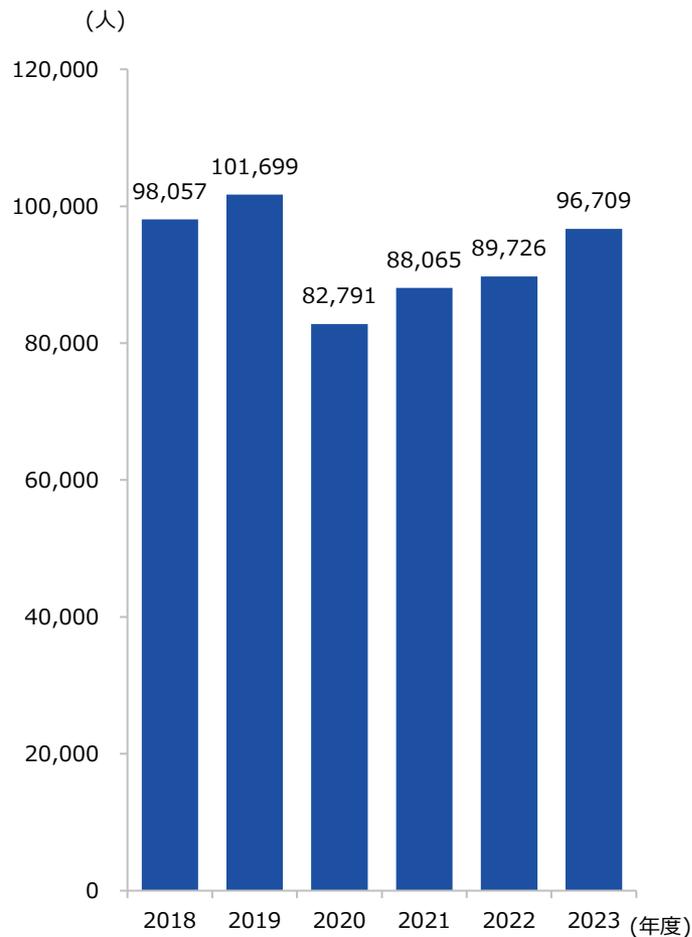
出典：「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(厚生労働省)

区南部医療圏 | MDC別退院患者数の推移（DPC病院のみ）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

退院患者数：合計



退院患者数：MDC別

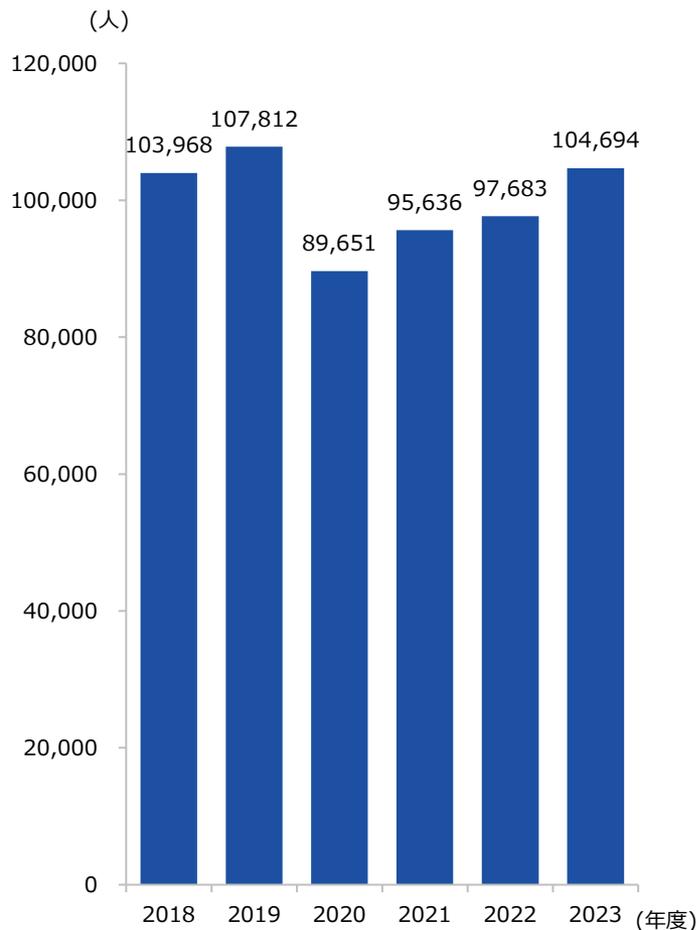
MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,010	7,219	5,809	6,172	6,346	6,830	▲2.6%	7.1%
MDC02 眼科系	5,410	6,047	3,998	4,562	5,118	5,275	▲2.5%	5.5%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,177	4,729	3,400	3,667	3,877	4,229	1.2%	4.4%
MDC04 呼吸器系	10,377	10,581	7,224	7,379	7,305	9,181	▲11.5%	9.5%
MDC05 循環器系	10,057	10,384	8,646	9,111	9,111	9,882	▲1.7%	10.2%
MDC06 消化器系, 肝臓・胆道・膵臓	25,220	25,991	22,046	22,866	22,834	24,391	▲3.3%	25.2%
MDC07 筋骨格系	4,974	5,036	4,341	4,897	5,287	5,447	9.5%	5.6%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,821	1,828	1,286	1,272	1,145	1,339	▲26.5%	1.4%
MDC09 乳房	1,458	1,509	1,173	1,317	1,402	1,352	▲7.3%	1.4%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	2,717	2,766	2,108	2,190	2,059	2,444	▲10.0%	2.5%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	6,966	7,556	6,517	7,515	7,649	7,843	12.6%	8.1%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	5,666	5,520	5,117	5,360	5,391	5,266	▲7.1%	5.4%
MDC13 血液・造血器・免疫機構	2,196	2,440	2,106	2,090	2,125	2,355	7.2%	2.4%
MDC14 新生児・先天性奇形	1,761	1,655	1,829	1,887	1,943	1,816	3.1%	1.9%
MDC15 小児	301	267	133	224	191	237	▲21.3%	0.2%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	6,207	6,447	5,486	5,988	6,558	7,163	15.4%	7.4%
MDC17 精神	190	156	93	96	108	161	▲15.3%	0.2%
MDC18 その他	1,549	1,568	1,479	1,472	1,277	1,498	▲3.3%	1.5%
総計	98,057	101,699	82,791	88,065	89,726	96,709	▲1.4%	100.0%

区南部医療圏 | MDC別退院患者数の推移（出来高病院含む）

左図は、当該医療圏のDPC対象病院・出来高病院における退院患者数の推移を示しています。

右表は、MDC別の退院患者数を示しています。

退院患者数：合計



退院患者数：MDC別

MDC名称	2018	2019	2020	2021	2022	2023	推移 2023- 2018	2023年 構成比
MDC01 神経系	7,078	7,298	6,087	6,433	6,547	7,052	▲0.4%	6.7%
MDC02 眼科系	5,410	6,048	4,000	4,563	5,118	5,275	▲2.5%	5.0%
MDC03 耳鼻咽喉科系	4,242	4,785	3,485	3,766	3,957	4,311	▲1.6%	4.1%
MDC04 呼吸器系	10,631	10,950	7,562	7,805	7,708	9,754	▲8.2%	9.3%
MDC05 循環器系	12,331	11,736	10,612	11,320	11,276	12,104	▲1.8%	11.6%
MDC06 消化器系、肝臓・胆道・膵臓	25,503	26,476	22,665	23,352	23,332	24,758	▲2.9%	23.6%
MDC07 筋骨格系	6,960	7,659	6,557	7,575	8,222	8,342	▲19.9%	8.0%
MDC08 皮膚・皮下組織	1,841	1,846	1,322	1,316	1,185	1,374	▲25.4%	1.3%
MDC09 乳房	1,459	1,531	1,187	1,328	1,414	1,367	▲6.3%	1.3%
MDC10 内分泌・栄養・代謝	2,846	2,893	2,307	2,427	2,317	2,726	▲4.2%	2.6%
MDC11 腎・泌尿系及び男性生殖器系	7,143	7,759	6,737	7,725	7,816	8,004	▲12.1%	7.6%
MDC12 女性生殖器系及び産褥期・異常妊娠分娩	5,666	5,521	5,121	5,367	5,397	5,273	▲6.9%	5.0%
MDC13 血液・造血管器・免疫機構	2,215	2,456	2,143	2,123	2,159	2,381	▲7.5%	2.3%
MDC14 新生児、先天性奇形	1,771	1,660	1,840	1,894	1,954	1,821	▲2.8%	1.7%
MDC15 小児	301	267	133	224	194	237	▲21.3%	0.2%
MDC16 外傷・熱傷・中毒	6,759	7,131	6,200	6,747	7,606	8,172	▲20.9%	7.8%
MDC17 精神	213	176	163	125	147	192	▲9.9%	0.2%
MDC18 その他	1,599	1,620	1,530	1,546	1,334	1,551	▲3.0%	1.5%
総計	103,968	107,812	89,651	95,636	97,683	104,694	0.7%	100.0%

3/ 医療需要の将来推計

人口推計と受療率をもとに、将来の医療・介護需要を整理する。

疾患領域別の患者数推計

入院・外来・在宅の需要構造

2040年以降の需要変化

将来の患者数の増減や需要構造の変化を把握し、地域医療における課題を整理する。
需要の時間的な変化を踏まえ、機能転換や医療資源配分を検討するための基礎資料とする。

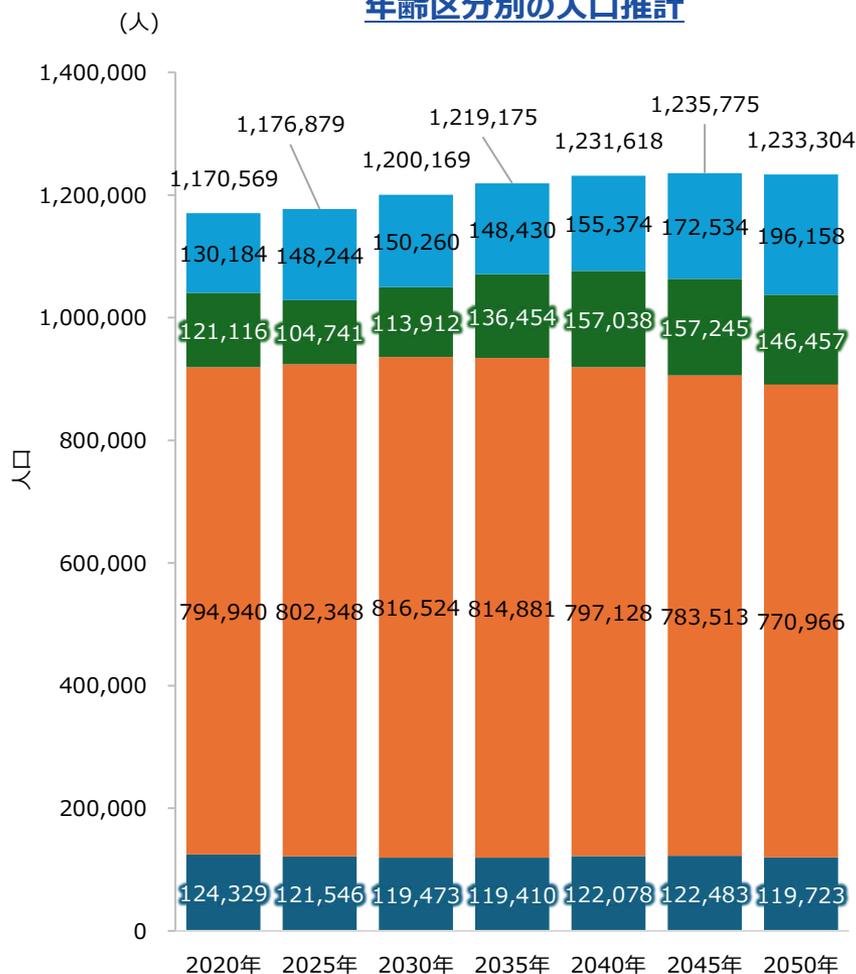
区南部医療圏 | 人口推計

2050年までの人口の将来推計を示しています。

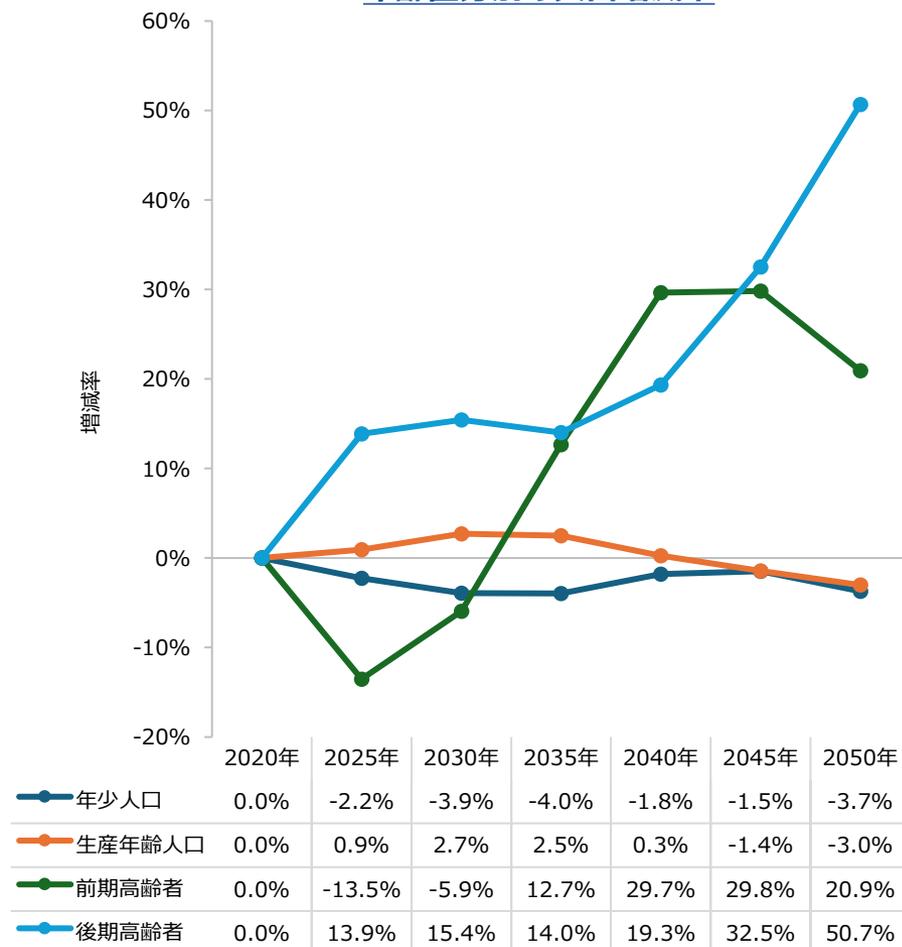
多くの地域において、総人口は減少しますが、高齢者人口は増加傾向にあります。

特に、医療介護の複合的なニーズを持つ後期高齢者の増加幅と、支え手となる生産年齢人口の減少幅について確認が必要です。

年齢区分別の人口推計



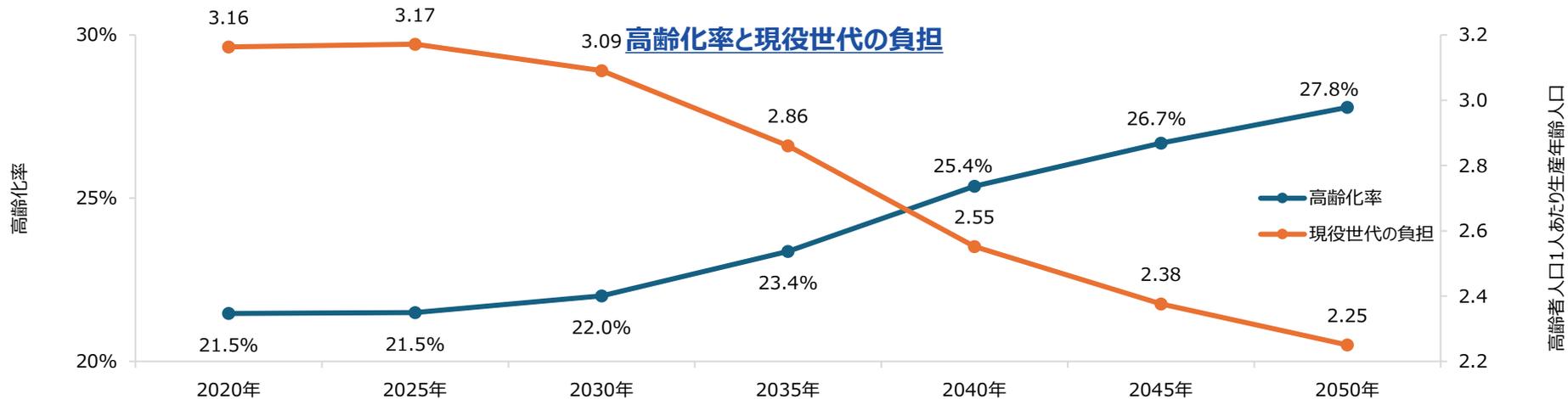
年齢区分別の人口増減率



区南部医療圏 | 高齢化の状況

高齢化率と現役世代の負担（高齢者1人あたり生産年齢人口）を示しています。
 全国の2020年時点の高齢化率は28.6%、現役世代の負担は2.1となっています。

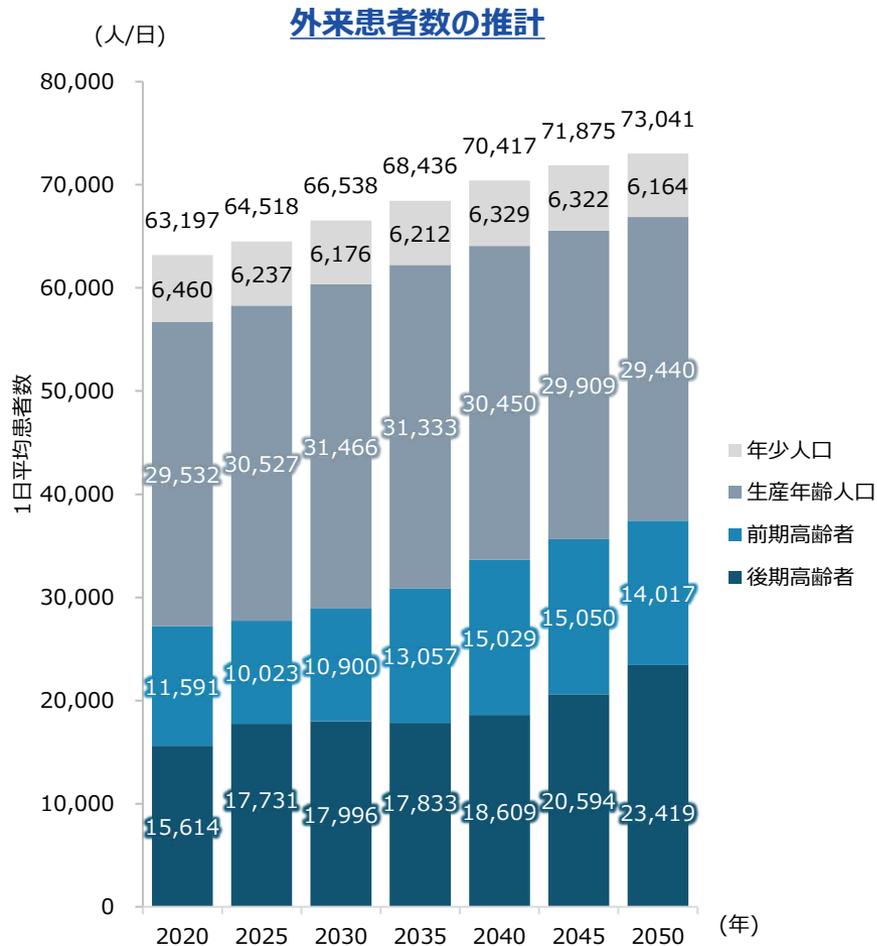
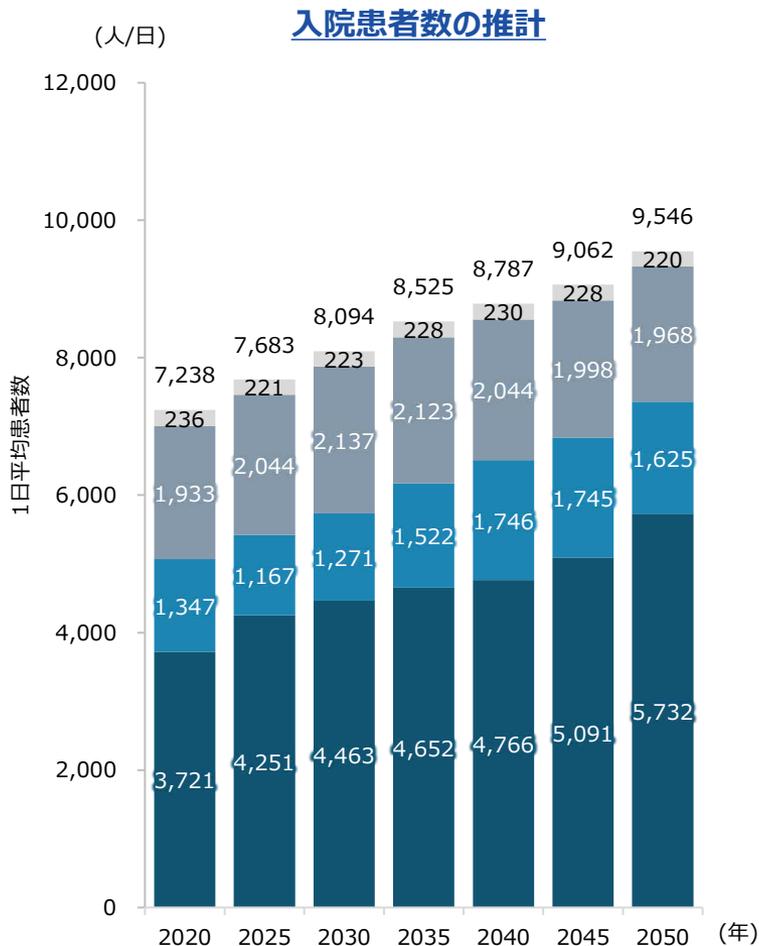
生産年齢人口と高齢者の将来推計



区南部医療圏 | 1日平均患者数

都道府県受療率に基づく、2050年までの入院患者数および外来患者数の需要予測を示しています。

多くの地域では入院需要が増加、外来需要が減少傾向にあり、需要の変化に合わせた医療提供体制の構築が求められます。

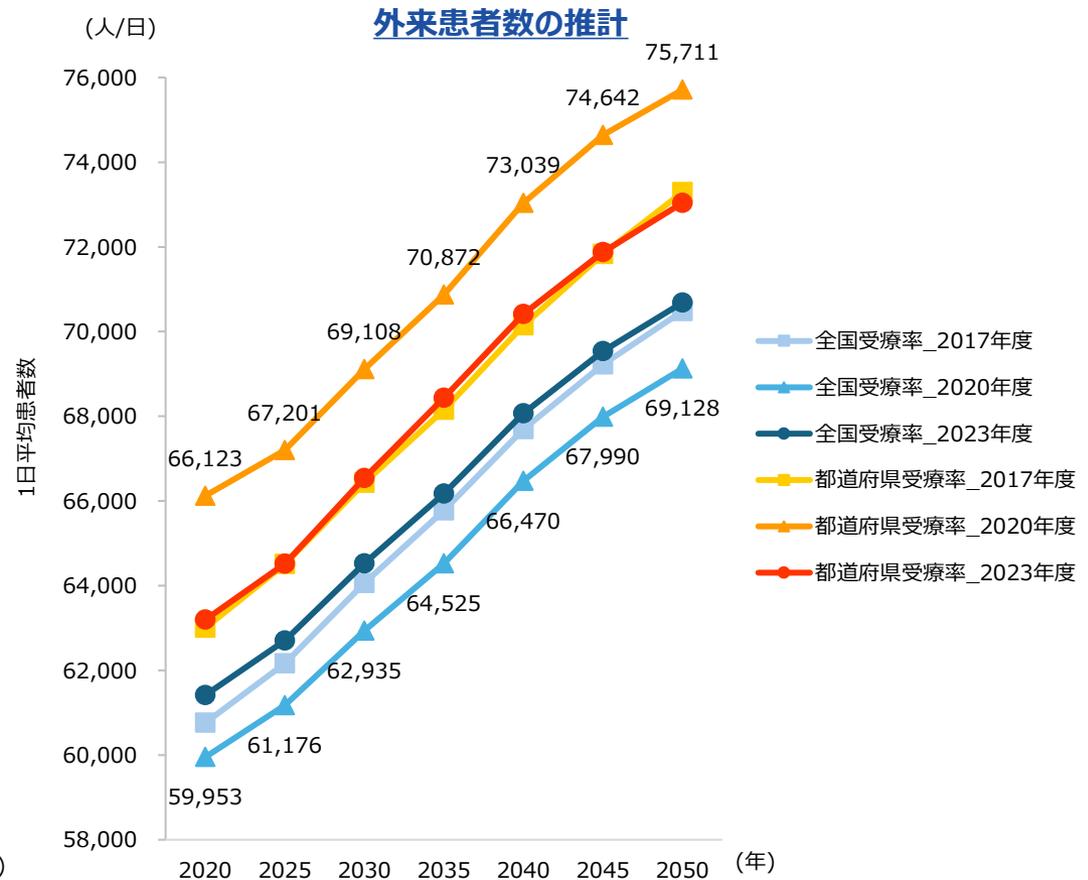
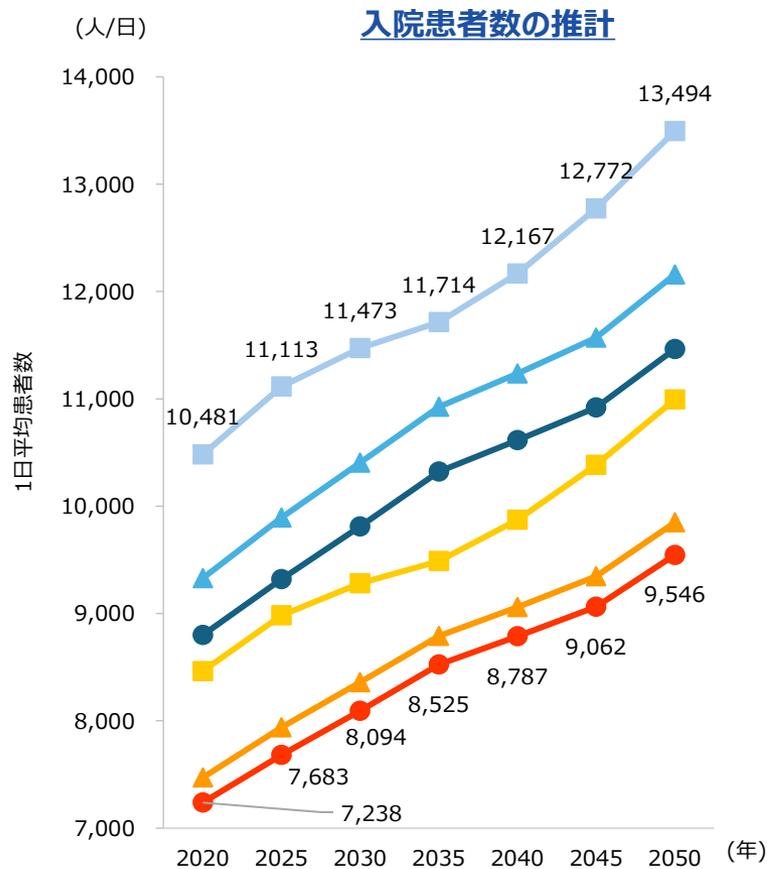


出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) および「令和5年患者調査」(厚生労働省) を用いて推計
 ※受療率は都道府県のものを使用

区南部医療圏 | 受療率の比較

3つの調査年（2017年、2020年、2023年）における、全国および都道府県の受療率を対象医療圏の人口に乗じて算出した患者数の将来推計を示しています。

全国の受療率よりも受療率が高い場合は、入院需要の縮小のリスクが想定されます。



区南部医療圏 | ICD別の入院患者数推計

疾患別の入院患者数の将来推計を示しています。

ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	111	118	125	132	135	139	147
II 新生物<腫瘍>	804	839	873	906	955	998	1,036
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	33	35	38	41	42	44	46
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	170	183	195	207	212	218	233
V 精神及び行動の障害	1,230	1,271	1,329	1,377	1,416	1,443	1,467
VI 神経系の疾患	604	648	683	719	739	764	814
VII 眼及び付属器の疾患	69	73	75	76	82	87	93
VIII 耳及び乳様突起の疾患	8	8	9	9	9	10	10
IX 循環器系の疾患	1,129	1,226	1,302	1,381	1,420	1,471	1,574
X 呼吸器系の疾患	472	516	555	601	614	631	682
X I 消化器系の疾患	398	424	446	467	479	495	522
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	70	74	78	82	85	88	93
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	512	546	575	605	630	657	698
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	329	355	374	395	409	426	455
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	128	125	125	127	128	125	121
X VI 周産期に発生した病態	85	77	79	82	82	80	77
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	47	45	45	46	47	46	45
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79	86	92	99	101	103	112
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	781	841	892	952	975	1,002	1,071
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	63	64	66	69	71	71	72
X X II 特殊目的用コード	116	130	140	153	156	162	178
総数	7,239	7,684	8,095	8,526	8,787	9,062	9,546

区南部医療圏 | ICD別の入院患者数増減率

疾患別の入院患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	111	6.4%	12.2%	18.5%	21.4%	24.8%	31.7%
II 新生物<腫瘍>	804	4.4%	8.6%	12.8%	18.8%	24.2%	28.8%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	33	6.4%	13.7%	22.6%	26.9%	30.6%	38.5%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	170	8.1%	14.7%	21.8%	24.7%	28.6%	37.4%
V 精神及び行動の障害	1,230	3.4%	8.1%	12.0%	15.2%	17.3%	19.3%
VI 神経系の疾患	604	7.2%	13.0%	19.1%	22.3%	26.5%	34.7%
VII 眼及び付属器の疾患	69	4.6%	7.4%	9.8%	17.5%	25.8%	33.5%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	8	0.1%	1.9%	4.8%	11.0%	16.0%	19.2%
IX 循環器系の疾患	1,129	8.6%	15.3%	22.4%	25.8%	30.3%	39.5%
X 呼吸器系の疾患	472	9.3%	17.5%	27.2%	29.9%	33.7%	44.4%
X I 消化器系の疾患	398	6.5%	12.0%	17.2%	20.4%	24.3%	31.1%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	70	6.4%	11.8%	17.9%	21.6%	25.7%	33.0%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	512	6.6%	12.2%	18.1%	23.1%	28.3%	36.3%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	329	7.7%	13.7%	20.1%	24.3%	29.4%	38.2%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	128	-2.1%	-2.1%	-1.0%	-0.1%	-2.1%	-5.7%
X VI 周産期に発生した病態	85	-9.8%	-7.0%	-3.2%	-3.1%	-5.5%	-9.1%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	47	-4.2%	-2.5%	-0.5%	0.2%	-0.6%	-2.7%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79	9.4%	17.2%	26.3%	28.3%	31.6%	42.2%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	781	7.6%	14.2%	21.9%	24.8%	28.3%	37.1%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	63	1.5%	4.9%	9.8%	12.4%	13.4%	15.5%
X X II 特殊目的用コード	116	11.7%	20.6%	31.3%	34.1%	39.1%	53.1%
総数	7,239	6.1%	11.8%	17.8%	21.4%	25.2%	31.9%

区南部医療圏 | ICD別の外来患者数推計

疾患別の外来患者数の将来推計を示しています。

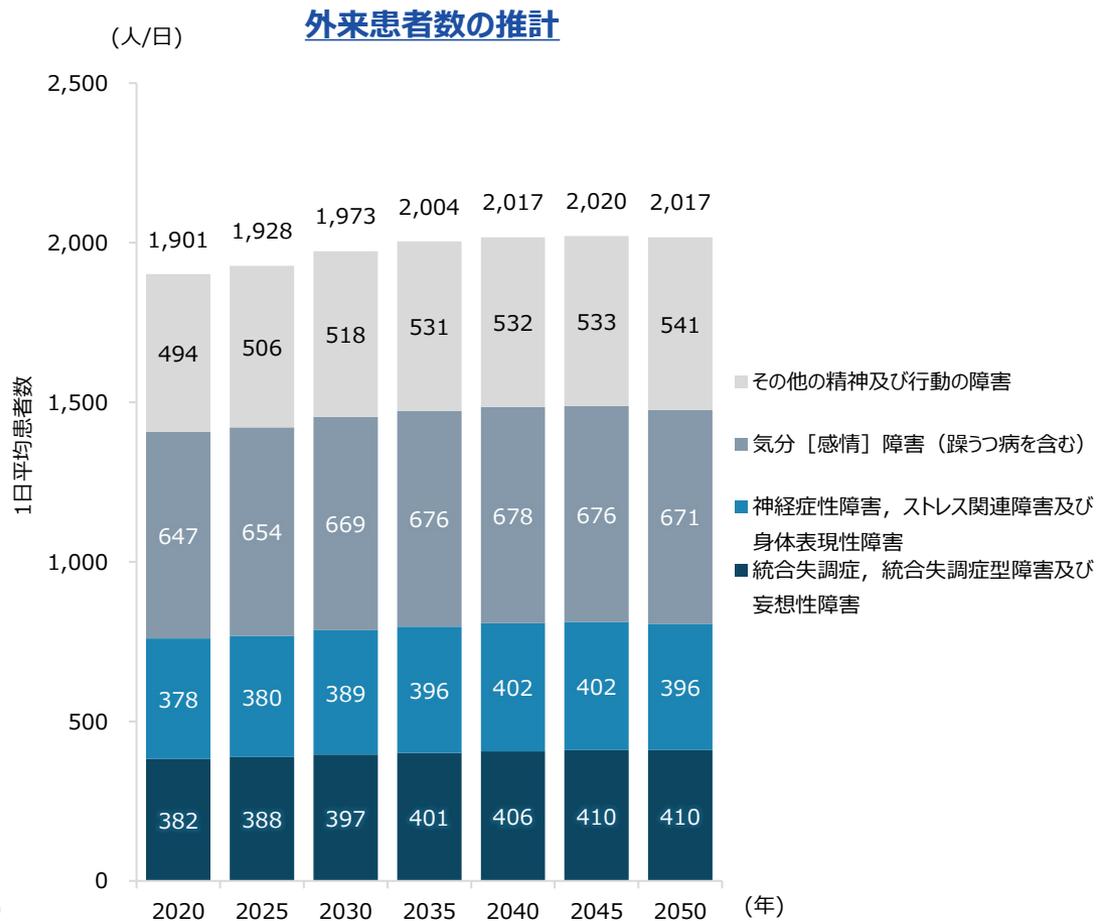
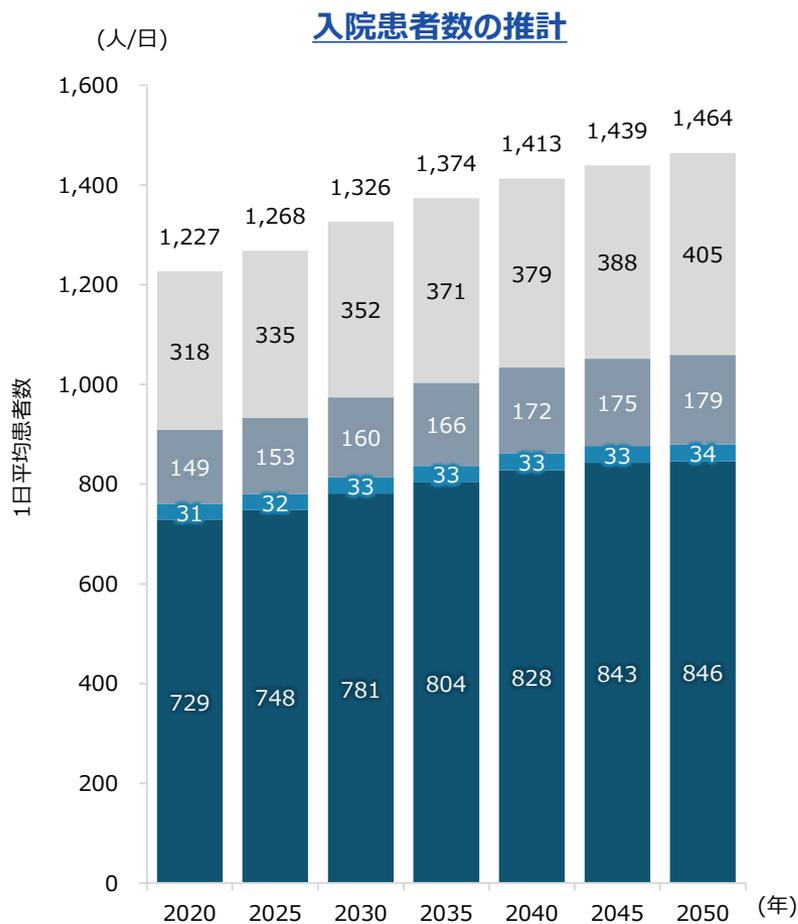
ICD分類	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	1,690	1,688	1,726	1,757	1,789	1,798	1,787
II 新生物<腫瘍>	2,150	2,218	2,295	2,356	2,427	2,489	2,529
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	197	198	197	199	202	206	208
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,792	3,883	4,031	4,172	4,365	4,494	4,561
V 精神及び行動の障害	1,899	1,925	1,971	2,001	2,014	2,018	2,015
VI 神経系の疾患	1,169	1,226	1,275	1,317	1,346	1,381	1,435
VII 眼及び付属器の疾患	2,593	2,665	2,740	2,804	2,934	3,051	3,137
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,030	1,053	1,080	1,105	1,135	1,165	1,194
IX 循環器系の疾患	5,665	5,947	6,245	6,535	6,836	7,100	7,403
X 呼吸器系の疾患	7,613	7,504	7,561	7,654	7,752	7,759	7,676
X I 消化器系の疾患	9,284	9,552	9,942	10,310	10,538	10,686	10,849
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3,409	3,384	3,442	3,498	3,528	3,524	3,492
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,979	6,243	6,492	6,720	7,063	7,392	7,726
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	2,803	2,859	2,935	2,993	3,047	3,078	3,079
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	136	132	132	135	135	133	130
X VI 周産期に発生した病態	38	35	36	37	37	37	35
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	201	195	194	195	194	194	191
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	915	940	962	973	990	1,013	1,036
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,145	2,211	2,257	2,294	2,335	2,383	2,434
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,199	10,361	10,716	11,068	11,433	11,660	11,809
X X II 特殊目的用コード	287	297	309	312	312	313	312
総数	63,196	64,518	66,538	68,435	70,416	71,875	73,041

区南部医療圏 | ICD別の外来患者数増減率

疾患別の外来患者数の将来推計の増減率を示しています。

ICD分類	1日平均患者数 2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
I 感染症及び寄生虫症	1,690	-0.1%	2.1%	3.9%	5.9%	6.4%	5.7%
II 新生物<腫瘍>	2,150	3.2%	6.7%	9.6%	12.9%	15.7%	17.6%
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	197	0.4%	0.1%	1.0%	2.9%	4.9%	5.8%
IV 内分泌, 栄養及び代謝疾患	3,792	2.4%	6.3%	10.0%	15.1%	18.5%	20.3%
V 精神及び行動の障害	1,899	1.4%	3.8%	5.4%	6.1%	6.3%	6.1%
VI 神経系の疾患	1,169	4.9%	9.1%	12.7%	15.2%	18.2%	22.8%
VII 眼及び付属器の疾患	2,593	2.8%	5.6%	8.1%	13.2%	17.6%	21.0%
VIII 耳及び乳様突起の疾患	1,030	2.2%	4.8%	7.2%	10.2%	13.1%	15.9%
IX 循環器系の疾患	5,665	5.0%	10.2%	15.4%	20.7%	25.3%	30.7%
X 呼吸器系の疾患	7,613	-1.4%	-0.7%	0.5%	1.8%	1.9%	0.8%
X I 消化器系の疾患	9,284	2.9%	7.1%	11.1%	13.5%	15.1%	16.9%
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	3,409	-0.7%	1.0%	2.6%	3.5%	3.4%	2.4%
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	5,979	4.4%	8.6%	12.4%	18.1%	23.6%	29.2%
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	2,803	2.0%	4.7%	6.8%	8.7%	9.8%	9.8%
X V 妊娠, 分娩及び産じょく	136	-3.0%	-3.3%	-1.0%	-0.7%	-2.7%	-4.5%
X VI 周産期に発生した病態	38	-9.2%	-6.8%	-3.3%	-3.0%	-5.2%	-8.7%
X VII 先天奇形, 変形及び染色体異常	201	-3.0%	-3.1%	-2.7%	-3.0%	-3.1%	-4.8%
X VIII 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	915	2.7%	5.2%	6.4%	8.3%	10.8%	13.3%
X IX 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,145	3.1%	5.2%	6.9%	8.8%	11.1%	13.5%
X X I 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10,199	1.6%	5.1%	8.5%	12.1%	14.3%	15.8%
X X II 特殊目的用コード	287	3.4%	7.7%	8.5%	8.8%	9.0%	8.8%
総数	63,196	2.1%	5.3%	8.3%	11.4%	13.7%	15.6%

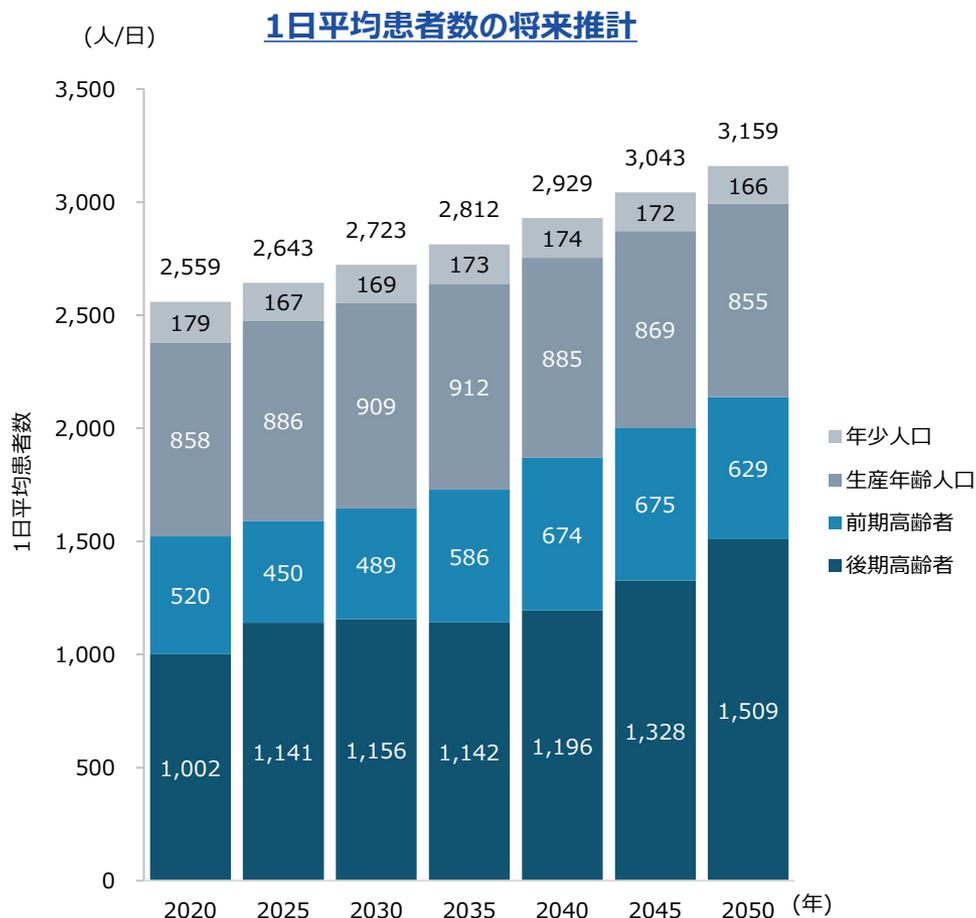
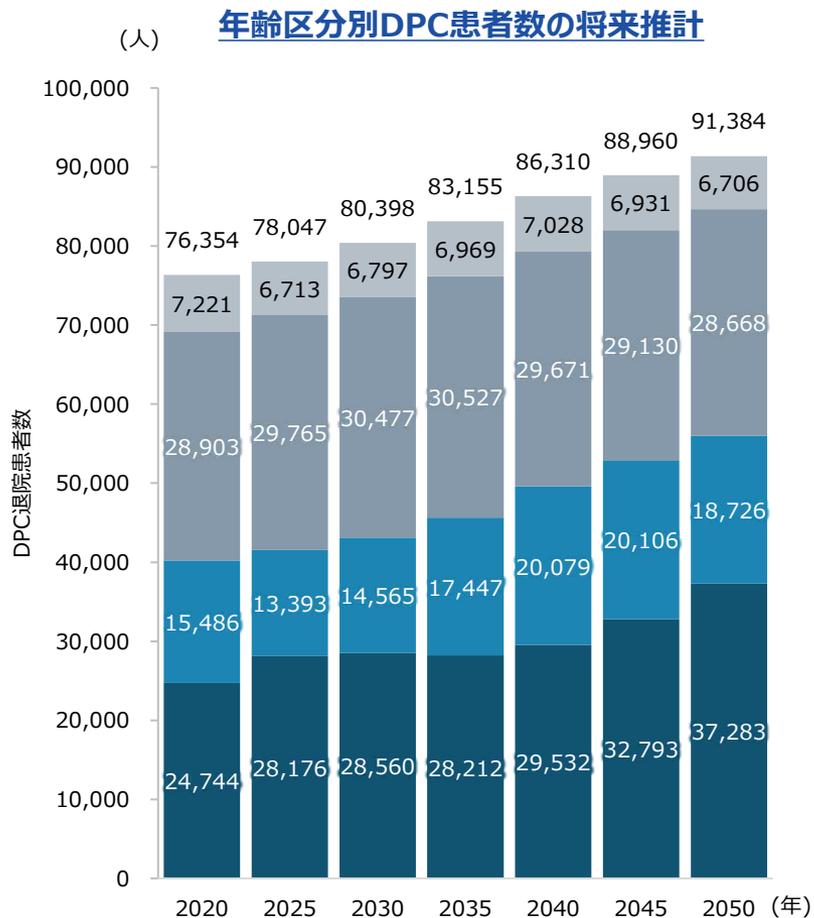
区南部医療圏 | 精神病床の1日平均患者数



区南部医療圏 | DPC患者数の推計

年齢層別のDPC患者数の将来推計を示しています。

多くの地域は後期高齢者のDPC患者数および1日平均患者数が増加傾向にあります。その他の人口において減少が見られ、従来の手術を中心とした急性期医療は減少する見込みです。

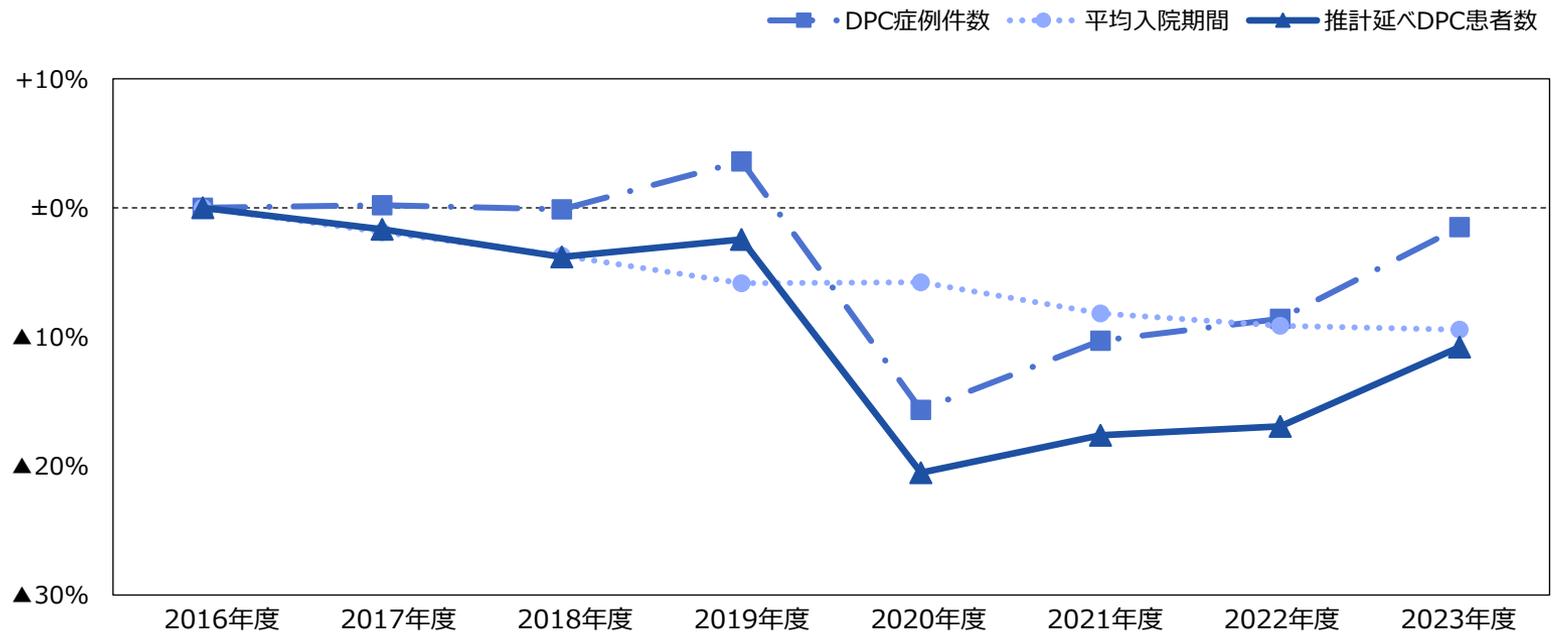


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

参考：区南部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移 (2016～2023年度にDPCに参加した病院)

当該医療圏内のDPC参加病院におけるDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



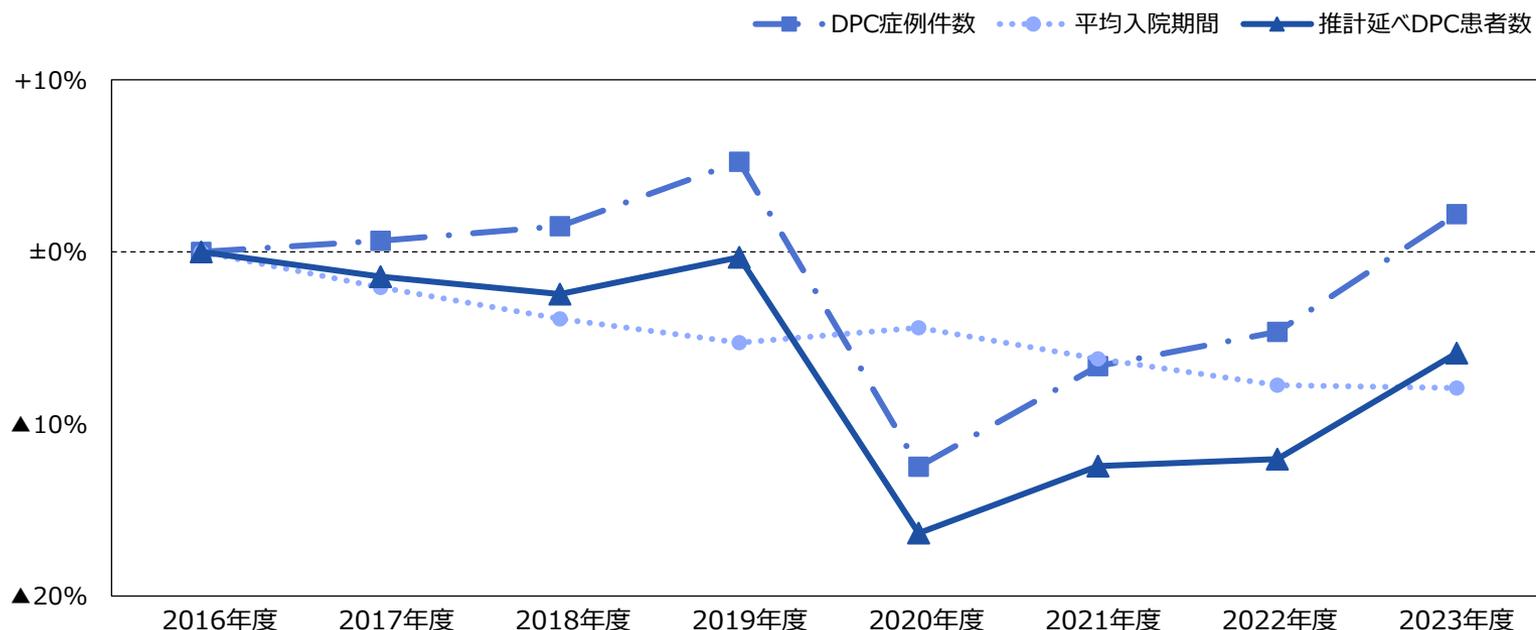
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	16	16	16	16	16	16	16	16
DPC症例件数	98,164	98,379	98,057	101,699	82,791	88,065	89,726	96,709
(2016年比)	-	+0.2%	▲0.1%	+3.6%	▲15.7%	▲10.3%	▲8.6%	▲1.5%
平均入院期間	12.1	11.8	11.6	11.4	11.4	11.1	11.0	10.9
(2016年比)	-	▲1.9%	▲3.7%	▲5.9%	▲5.8%	▲8.2%	▲9.1%	▲9.4%
推計延べDPC患者数	1,185,114	1,165,484	1,140,037	1,155,965	941,924	976,242	984,398	1,057,290
(2016年比)	-	▲1.7%	▲3.8%	▲2.5%	▲20.5%	▲17.6%	▲16.9%	▲10.8%

参考：区南部医療圏 | DPC症例数と平均入院期間の推移

(全病院：出来高病院を含む)

出来高病院を含むDPC症例数と入院期間の推移を示しています。

DPCの延べ患者数の減少が症例数の減少によるものか、平均入院期間の短縮によるものか確認をします。



	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
対象病院数	21	21	28	28	30	33	33	34
DPC症例件数	102,440	103,103	103,968	107,812	89,651	95,636	97,683	104,694
(2016年比)	-	+0.6%	+1.5%	+5.2%	▲12.5%	▲6.6%	▲4.6%	+2.2%
平均入院期間	11.9	11.7	11.5	11.3	11.4	11.2	11.0	11.0
(2016年比)	-	▲2.1%	▲3.9%	▲5.3%	▲4.4%	▲6.2%	▲7.8%	▲7.9%
推計延べDPC患者数	1,224,104	1,206,543	1,194,009	1,220,324	1,023,986	1,071,771	1,076,746	1,152,066
(2016年比)	-	▲1.4%	▲2.5%	▲0.3%	▲16.3%	▲12.4%	▲12.0%	▲5.9%

出典：「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）

* 推計延べDPC患者数：DPC症例件数に在院日数平均値をかけた数値

参考：都道府県別DPC参加病院の平均入院日数の推移（2016～2023年度）

全国および都道府県の平均入院日数の推移を示しています。

全ての都道府県で在院日数が短縮されており、今後も政策効果等の影響で短縮していくことが見込まれます。

No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率		No.	都道府県	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
					2018対2016	2023対2016						2018対2016	2023対2016
-	全国計	12.43	12.05	11.72	▲3.0%	▲5.7%	24	三重県	12.58	12.10	11.78	▲3.8%	▲6.3%
1	北海道	12.49	12.10	11.67	▲3.1%	▲6.5%	25	滋賀県	12.51	12.01	11.53	▲4.0%	▲7.8%
2	青森県	13.82	13.23	13.26	▲4.3%	▲4.0%	26	京都府	12.16	11.71	11.22	▲3.7%	▲7.8%
3	岩手県	12.87	12.48	12.25	▲3.0%	▲4.8%	27	大阪府	12.22	11.77	11.41	▲3.7%	▲6.7%
4	宮城県	12.42	11.72	11.41	▲5.6%	▲8.2%	28	兵庫県	11.95	11.54	11.47	▲3.4%	▲4.0%
5	秋田県	12.89	12.53	12.15	▲2.8%	▲5.7%	29	奈良県	12.50	12.36	11.99	▲1.1%	▲4.1%
6	山形県	13.03	12.84	12.74	▲1.5%	▲2.2%	30	和歌山県	13.33	12.60	12.53	▲5.5%	▲6.0%
7	福島県	13.40	13.13	12.53	▲2.0%	▲6.5%	31	鳥取県	13.01	12.35	12.29	▲5.1%	▲5.5%
8	茨城県	12.45	12.21	11.78	▲2.0%	▲5.4%	32	島根県	12.67	12.00	11.66	▲5.3%	▲8.0%
9	栃木県	12.90	12.79	12.48	▲0.9%	▲3.3%	33	岡山県	12.15	12.03	11.50	▲1.0%	▲5.3%
10	群馬県	12.16	11.69	11.68	▲3.9%	▲3.9%	34	広島県	12.36	12.15	11.36	▲1.7%	▲8.1%
11	埼玉県	12.49	12.19	11.98	▲2.4%	▲4.1%	35	山口県	13.50	12.99	12.73	▲3.8%	▲5.7%
12	千葉県	12.19	12.01	12.07	▲1.5%	▲1.0%	36	徳島県	12.08	11.76	11.77	▲2.6%	▲2.6%
13	東京都	11.94	11.58	11.16	▲3.0%	▲6.5%	37	香川県	12.79	12.41	12.06	▲2.9%	▲5.7%
14	神奈川県	11.70	11.25	11.25	▲3.8%	▲3.9%	38	愛媛県	13.01	12.69	12.03	▲2.5%	▲7.6%
15	新潟県	13.08	12.83	12.45	▲1.9%	▲4.8%	39	高知県	13.38	13.17	11.99	▲1.6%	▲10.4%
16	富山県	12.31	12.03	11.70	▲2.3%	▲4.9%	40	福岡県	12.79	12.52	12.13	▲2.1%	▲5.2%
17	石川県	12.91	12.50	11.65	▲3.2%	▲9.8%	41	佐賀県	13.61	13.12	12.71	▲3.6%	▲6.6%
18	福井県	12.43	11.82	11.53	▲4.9%	▲7.2%	42	長崎県	13.19	12.47	12.07	▲5.5%	▲8.5%
19	山梨県	11.88	11.61	11.76	▲2.3%	▲1.0%	43	熊本県	12.82	12.33	12.05	▲3.8%	▲6.0%
20	長野県	12.22	11.97	11.67	▲2.1%	▲4.5%	44	大分県	13.58	13.00	12.12	▲4.2%	▲10.7%
21	岐阜県	12.25	12.09	11.74	▲1.3%	▲4.2%	45	宮崎県	13.43	12.74	11.93	▲5.1%	▲11.2%
22	静岡県	12.58	12.32	11.96	▲2.0%	▲4.9%	46	鹿児島県	13.17	12.92	12.13	▲1.8%	▲7.9%
23	愛知県	12.21	11.74	11.39	▲3.8%	▲6.7%	47	沖縄県	12.35	12.07	11.90	▲2.3%	▲3.6%

参考：区南部医療圏 | DPC参加病院の平均入院日数の推移

当該医療圏のMDC別の平均入院期間の推移を示しています。

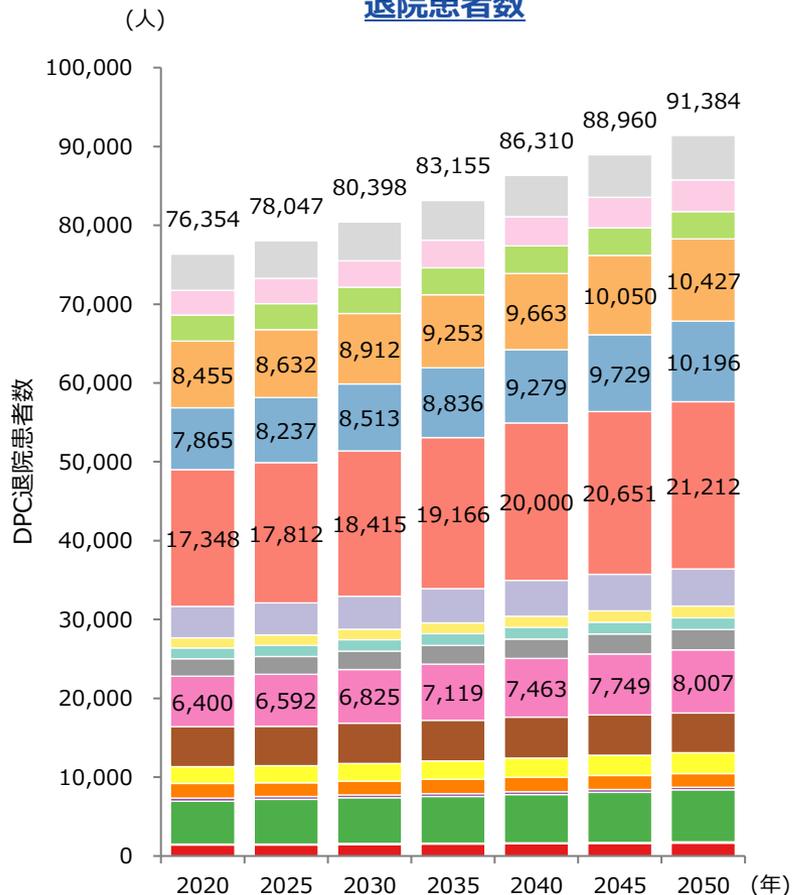
MDC名称	2016年度	2018年度	2023年度	変化率	
				2018対2016	2023対2016
01_神経系	17.44	16.89	15.88	▲3.1%	▲8.9%
02_眼科系	3.95	4.26	3.93	8.0%	▲0.4%
03_耳鼻咽喉系	7.67	7.23	6.87	▲5.7%	▲10.4%
04_呼吸器系	16.55	14.60	15.21	▲11.7%	▲8.1%
05_循環器系	11.77	11.06	10.09	▲6.1%	▲14.3%
06_消化器系	10.24	9.82	8.97	▲4.0%	▲12.3%
07_筋骨格系	17.86	16.59	15.22	▲7.1%	▲14.8%
08_皮膚・皮下組織	9.93	10.39	10.18	4.7%	2.5%
09_乳房	9.19	9.04	8.12	▲1.6%	▲11.7%
10_内分泌・栄養・代謝	13.47	13.28	12.61	▲1.4%	▲6.3%
11_腎・尿路系	11.14	11.12	10.04	▲0.2%	▲9.8%
12_女性疾患	7.77	7.34	7.50	▲5.5%	▲3.5%
13_血液系	21.46	21.26	18.20	▲1.0%	▲15.2%
14_新生児	12.16	12.78	11.66	5.1%	▲4.1%
15_小児疾患	6.89	10.25	7.07	48.8%	2.7%
16_外傷・熱傷・中毒	15.13	13.96	12.94	▲7.7%	▲14.4%
17_精神疾患	6.20	7.48	5.23	20.6%	▲15.7%
18_その他	20.31	18.08	16.57	▲11.0%	▲18.4%
全体	12.07	11.63	10.93	▲3.7%	▲9.5%

区南部医療圏 | MDC別DPCの退院患者数の推計

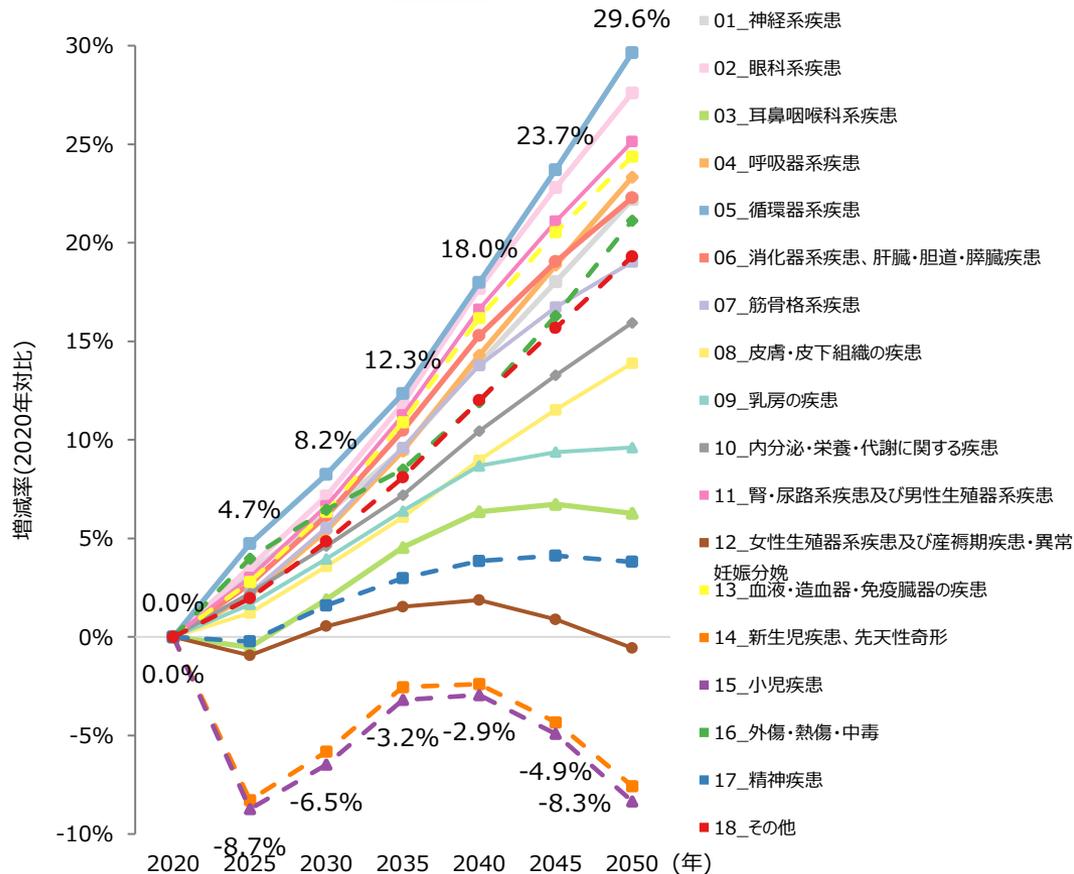
疾患別のDPC退院患者数の将来推計を示しています。

多くの地域では高齢者に多い疾患は増加傾向にあり、女性疾患や小児周産期にかかる疾患は大幅に減少する傾向にあります。

退院患者数



増減率

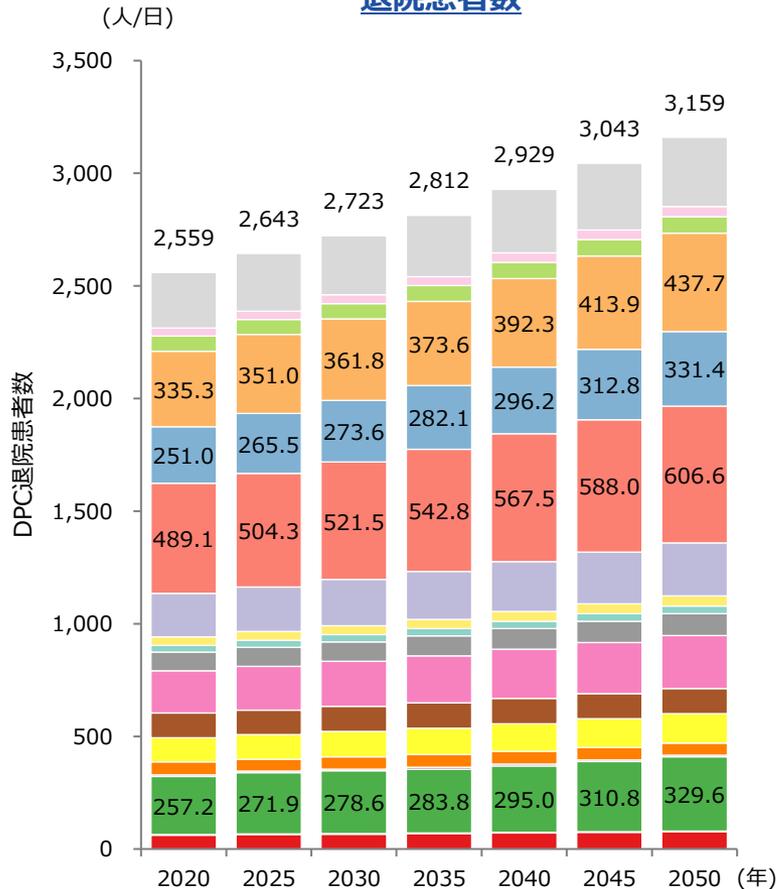


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。

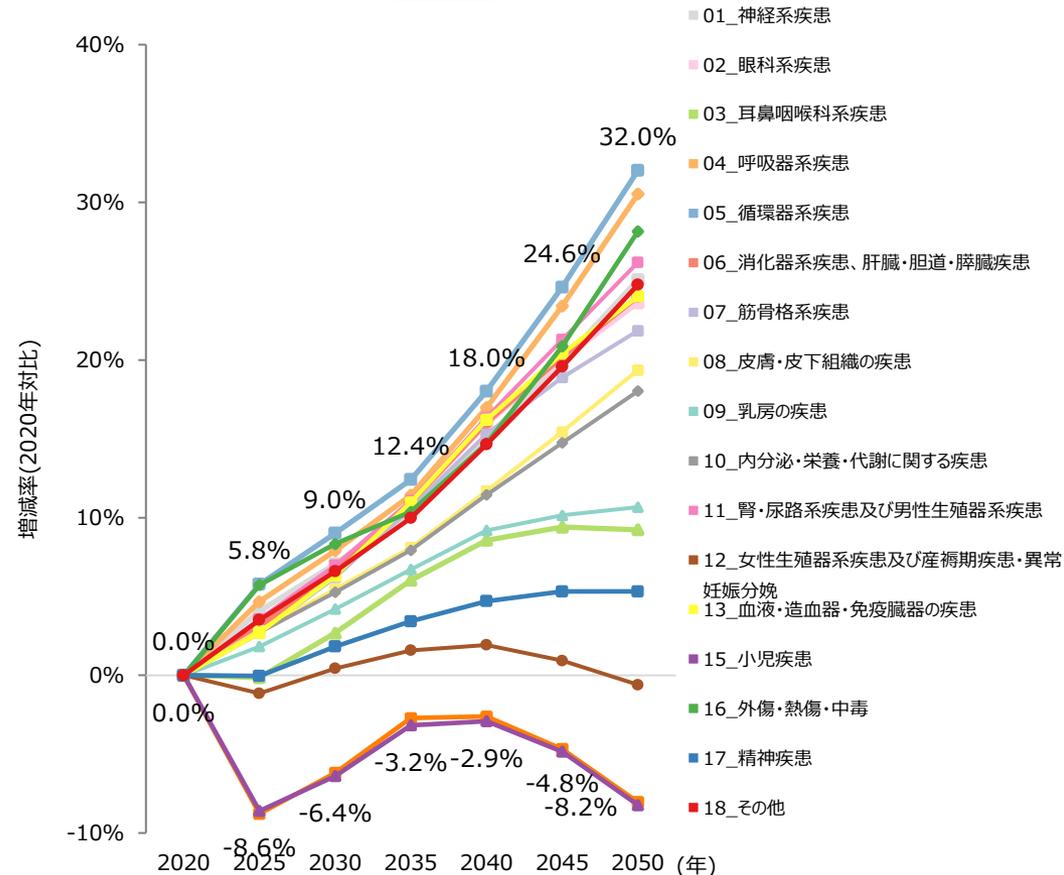
区南部医療圏 | MDC別DPCの1日平均患者数の推計

疾患別のDPCの1日平均患者数の将来推計を示しています。

退院患者数



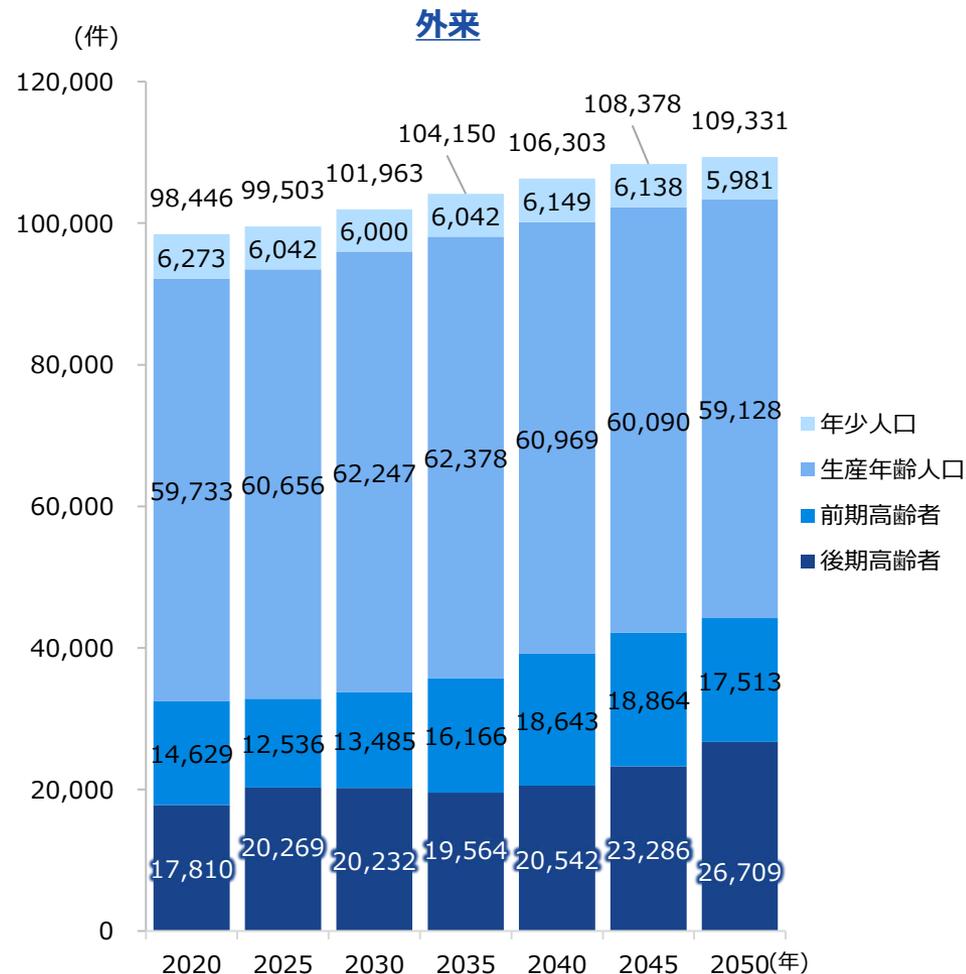
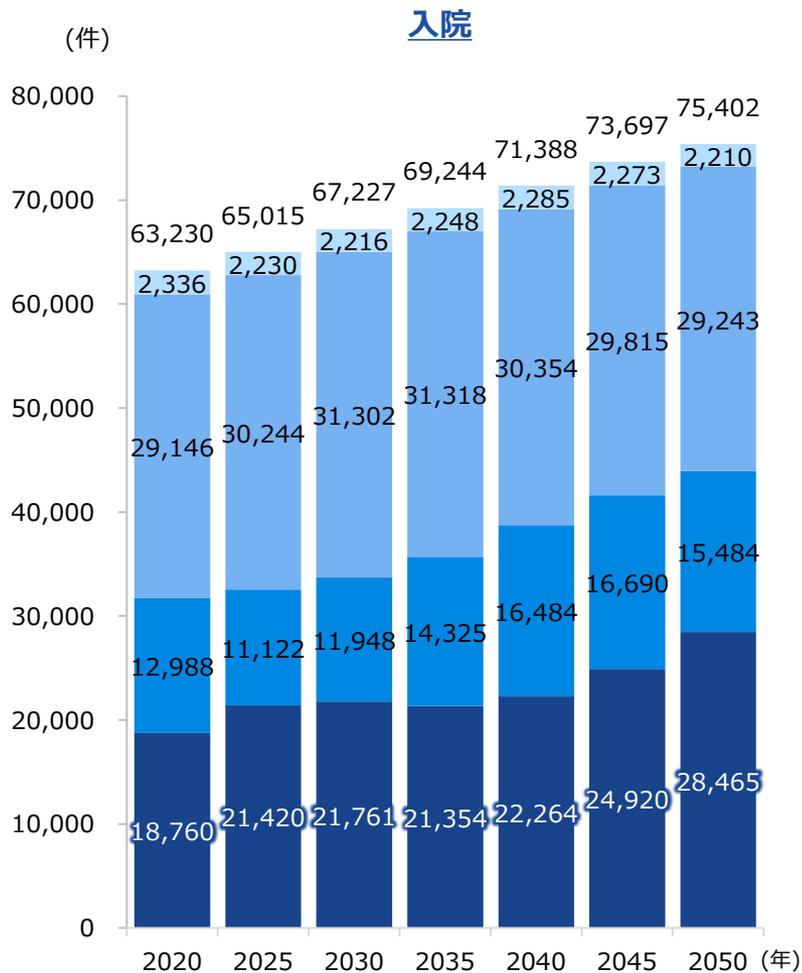
増減率



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）を用いてDPCコード、年齢別の発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計。1日平均患者数は各DPCコードのDPC別平均入院日数をかけた後に365日で除して試算。

区南部医療圏 | 手術件数の推計

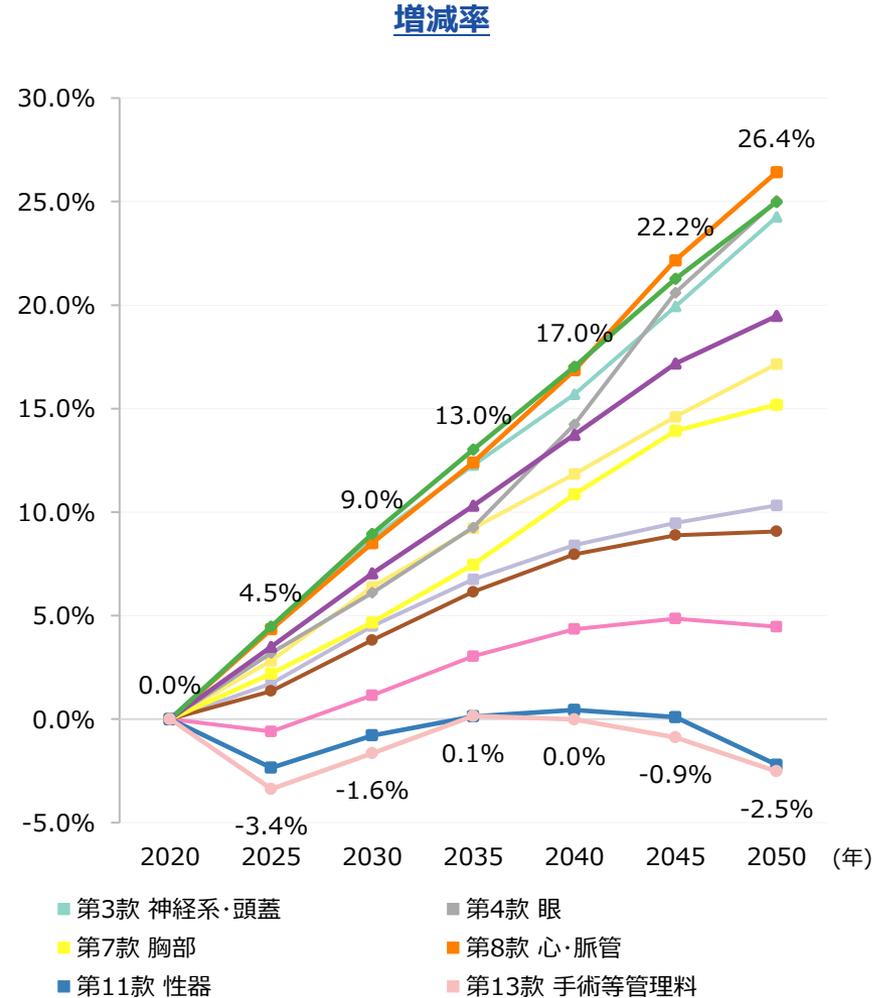
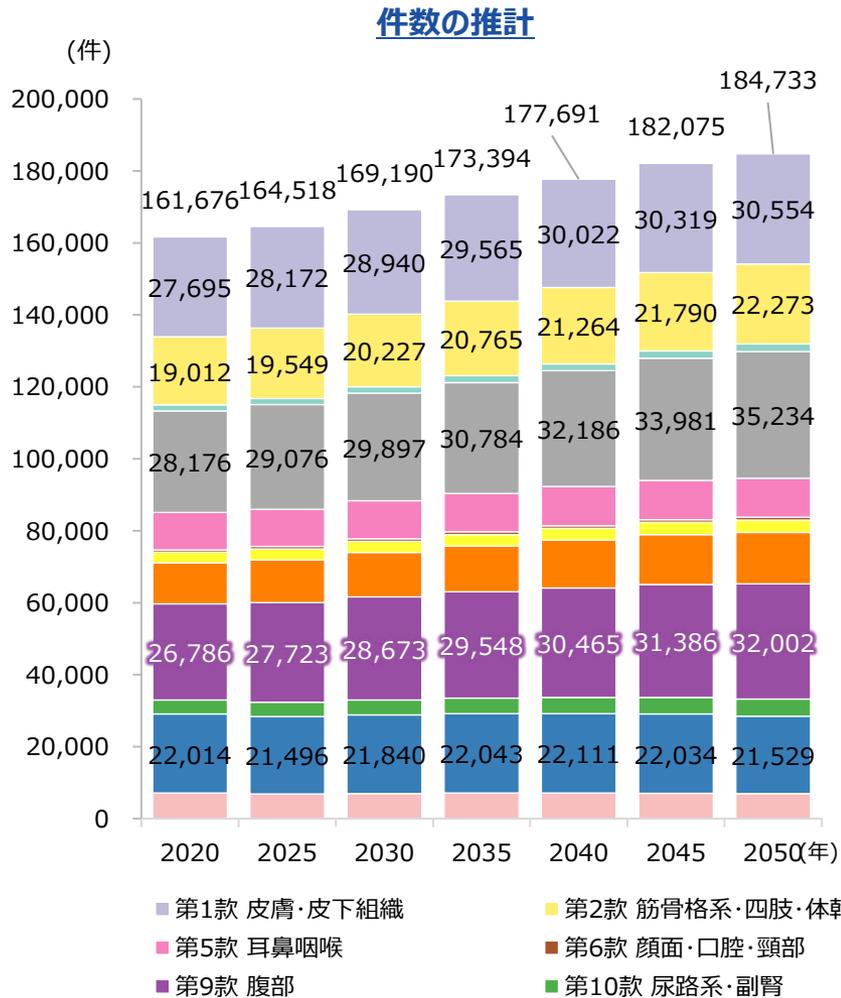
年齢区分別の入院・外来の手術件数の将来推計を示しています。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

区南部医療圏 | 部位別の手術件数

部位別の手術件数の将来推計を示しています。



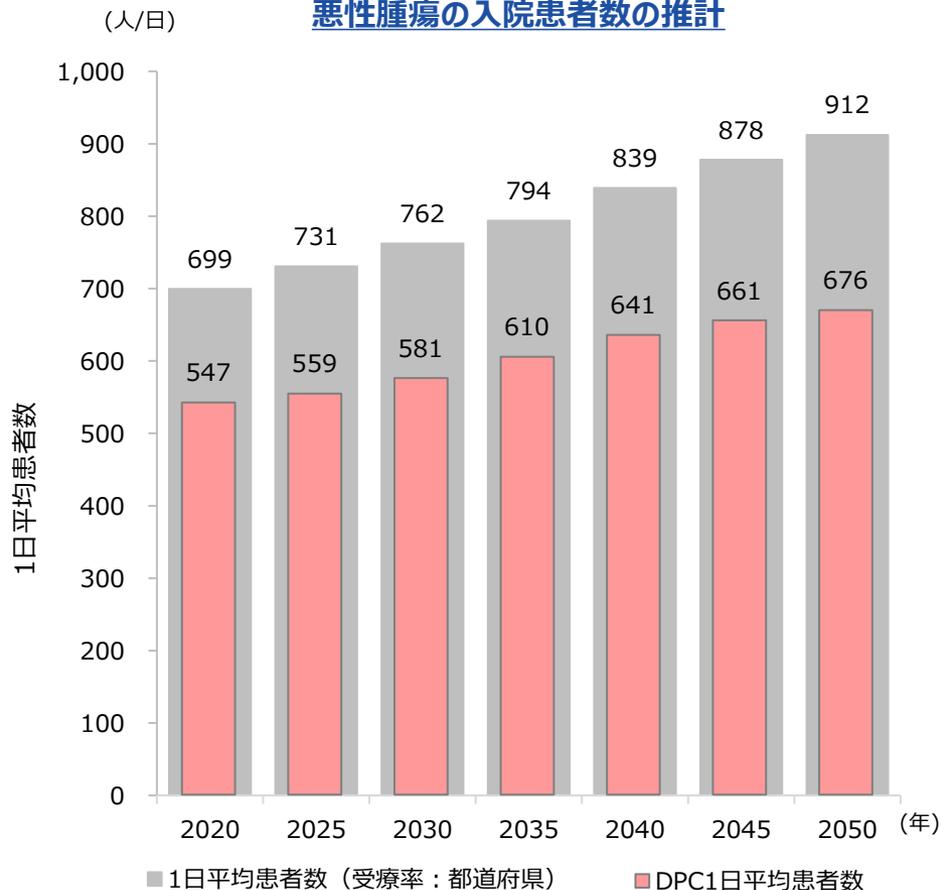
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

区南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：悪性腫瘍

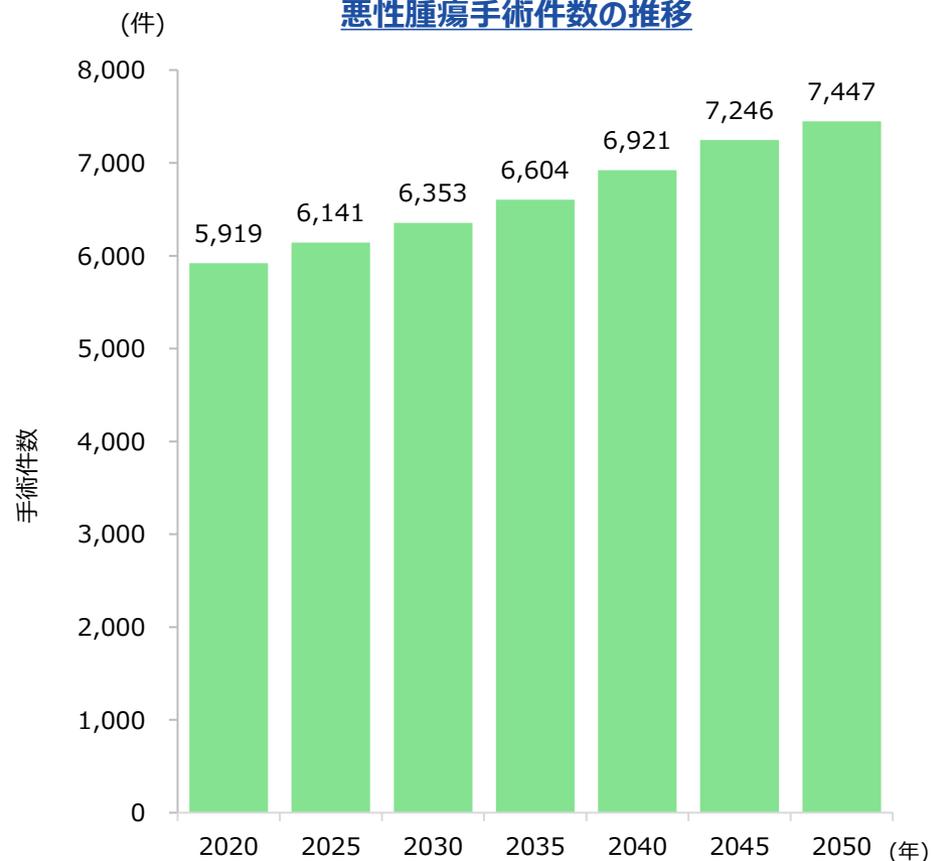
悪性腫瘍の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

悪性腫瘍は手術療法中心の医療から放射線療法・化学療法を含めた集学的治療へシフトしていることや、低侵襲治療の発展から、推計よりも減少する可能性があります。

悪性腫瘍の入院患者数の推計



悪性腫瘍手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

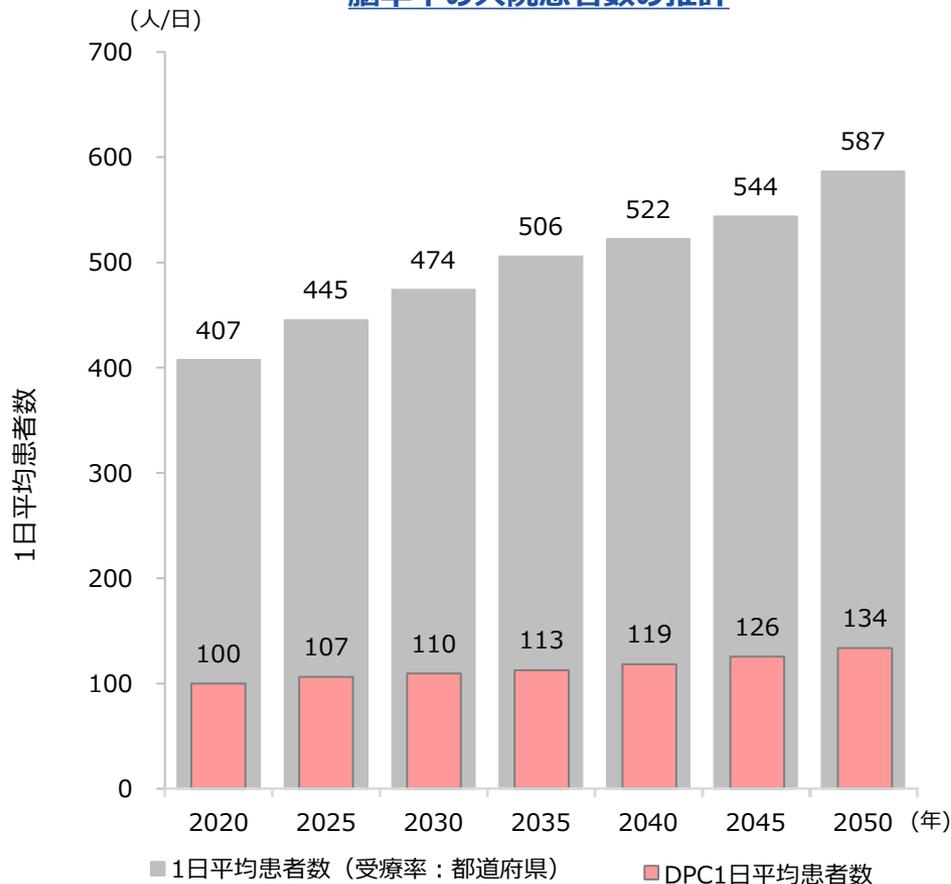
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

区南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：脳卒中

脳卒中の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

脳卒中は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にありますが、DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

脳卒中の入院患者数の推計



脳卒中手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

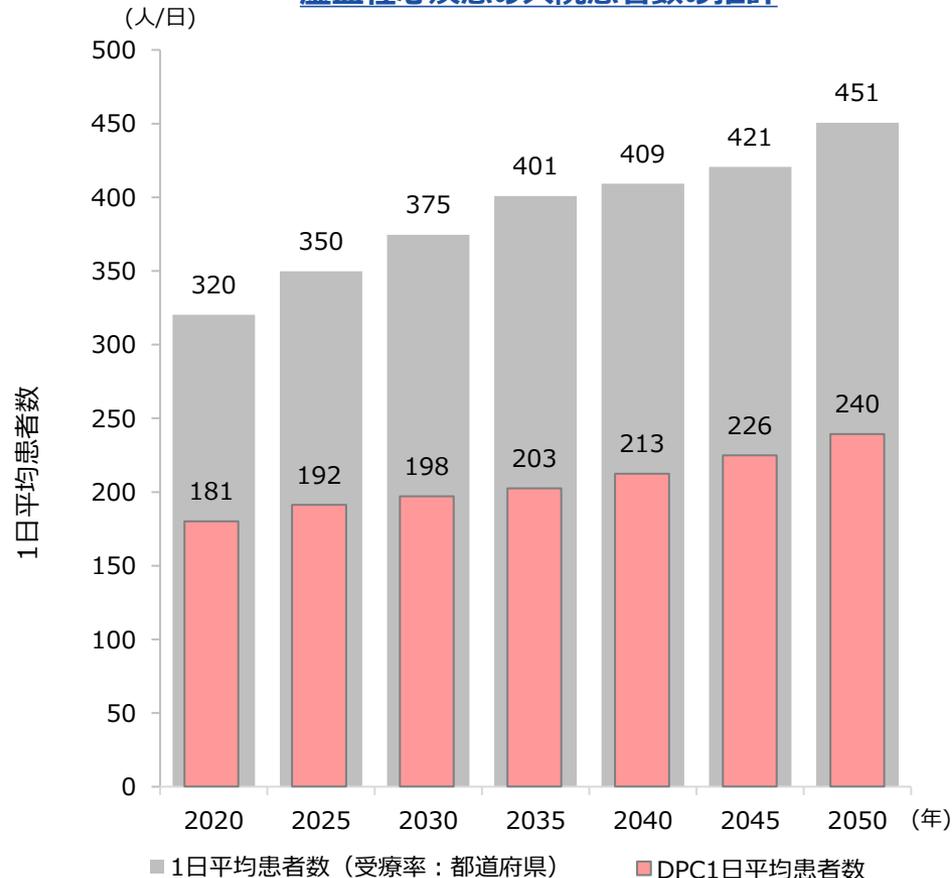
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

区南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：虚血性心疾患等

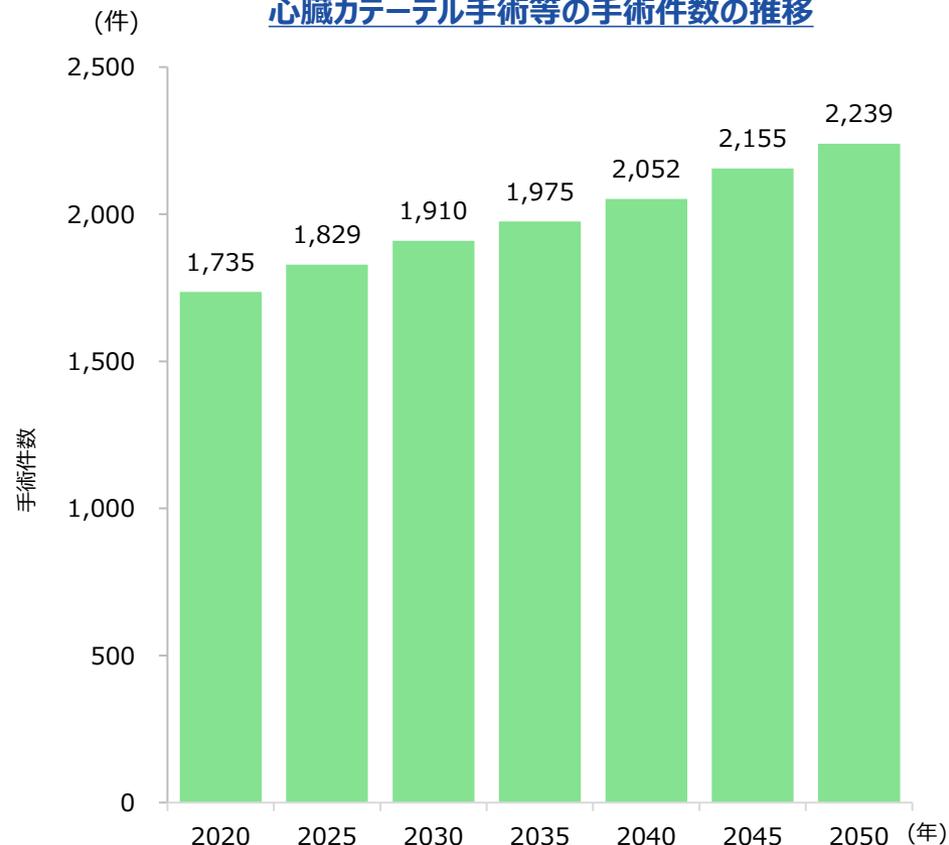
虚血性心疾患の1日平均患者数、DPCの1日平均患者数および手術件数の将来推計を示しています。

虚血性心疾患は急性期を脱した回復期および慢性期の患者が多く、多くの地域では患者数が増加傾向にあります。DPC1日平均患者数および手術件数の伸びは限定的となっています。

虚血性心疾患の入院患者数の推計



心臓カテーテル手術等の手術件数の推移



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所)と以下の発生率を用いて推計

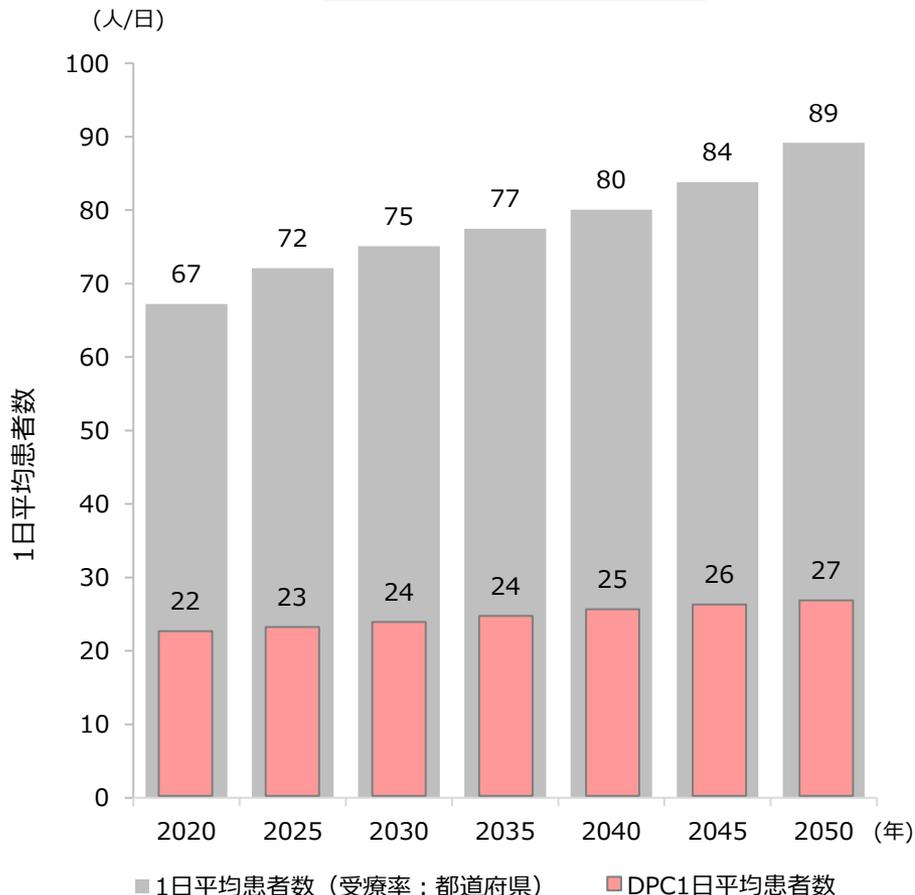
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

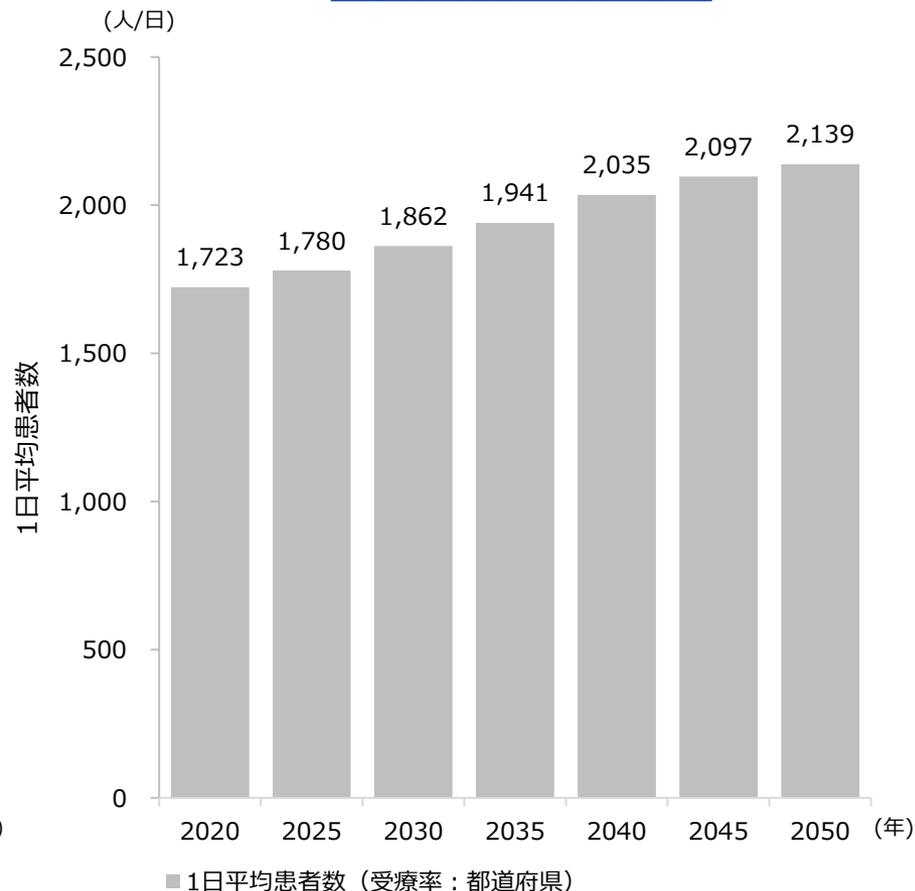
手術件数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局)および第10回NDBオープンデータ(厚生労働省)

区南部医療圏 | 疾患別患者数の推計：糖尿病

糖尿病の入院患者数の推計



糖尿病の外来患者数の推計



出典：「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」(国立社会保障・人口問題研究所) と以下の発生率を用いて推計

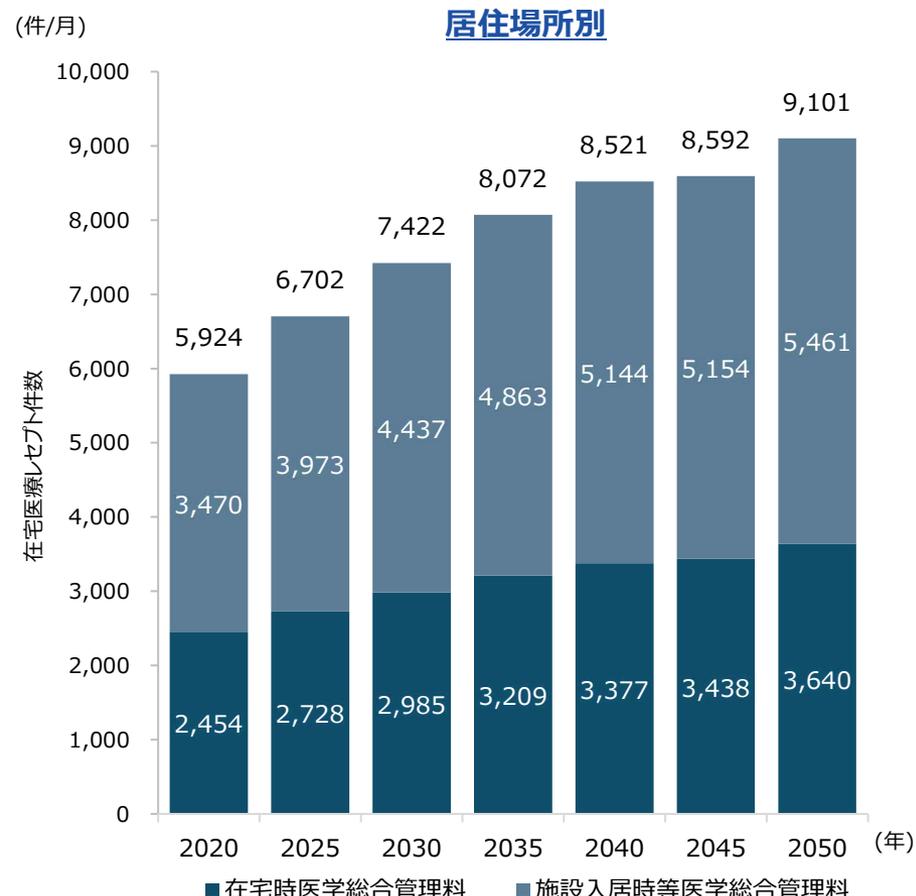
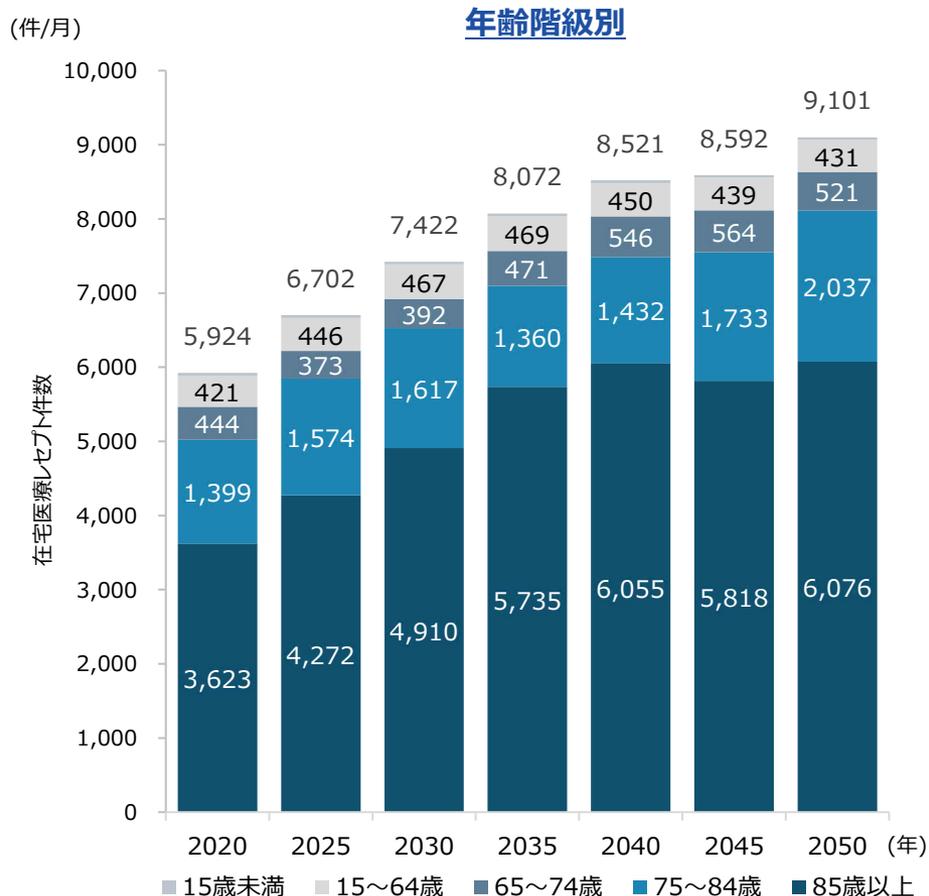
1日平均患者数：「令和5年患者調査」(厚生労働省)

DPC1日平均患者数：「人口推計(2023年10月1日現在)」(総務省統計局) および「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)

区南部医療圏 | 在宅医療患者数の推計

全国の在宅時医学総合管理料および施設入居時医学総合管理料の発生率を用いた将来推計を示しています。

月に1回算定可能な管理料であり、月当たりの患者数の増減傾向が確認できます。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

区南部医療圏 | 在宅医療訪問回数および増減率

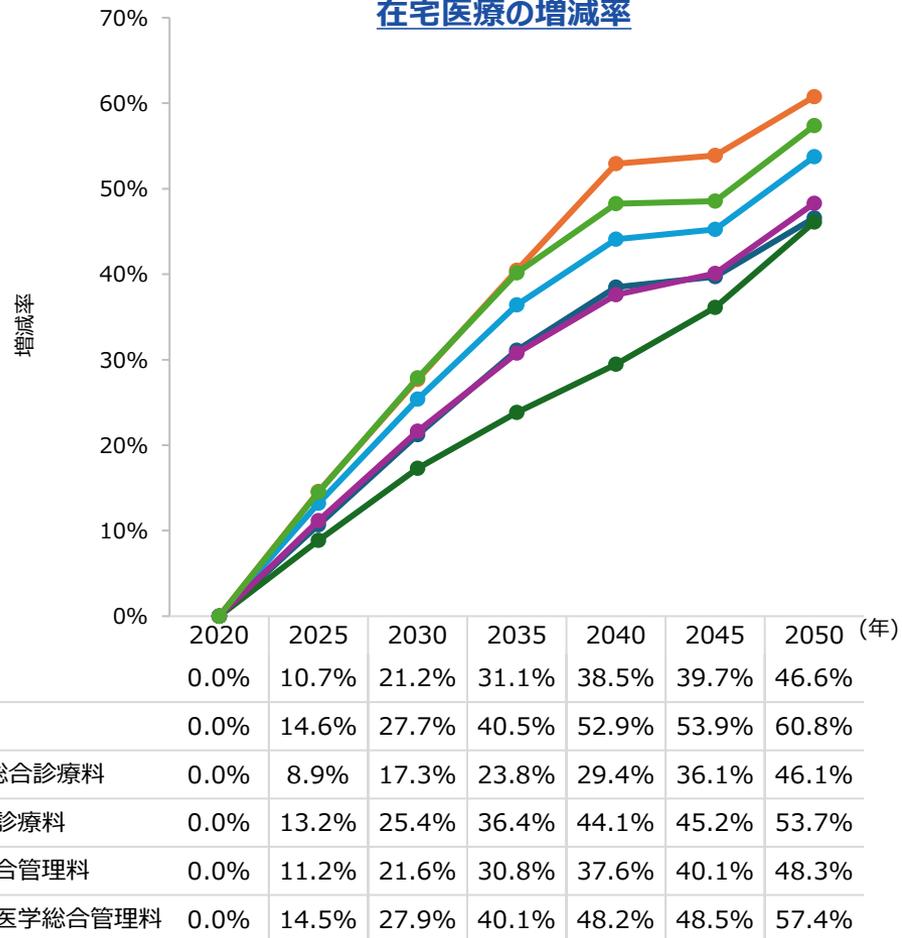
全国の発生率を用いた在宅医療の主な診療行為の算定回数の将来推計を示しています。

多くの地域では2040年以降まで大幅な増加が見込まれており、在宅医療の体制整備が求められます。

在宅医療訪問回数の推計



在宅医療の増減率



看取り件数の推計

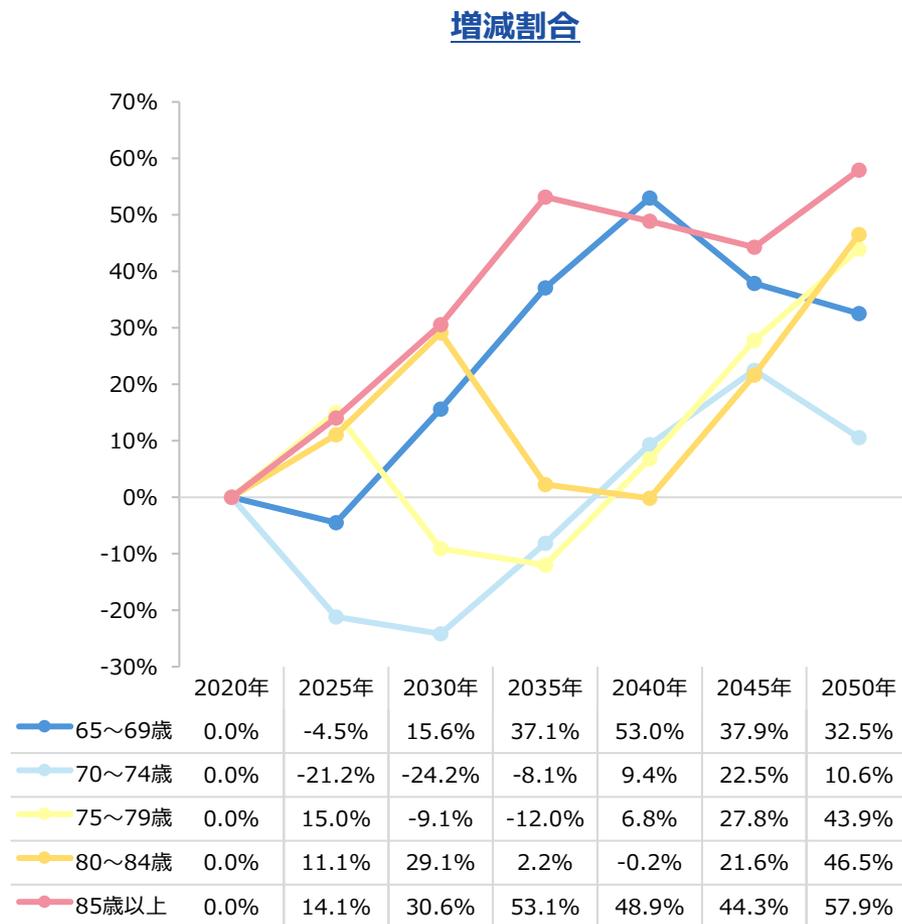
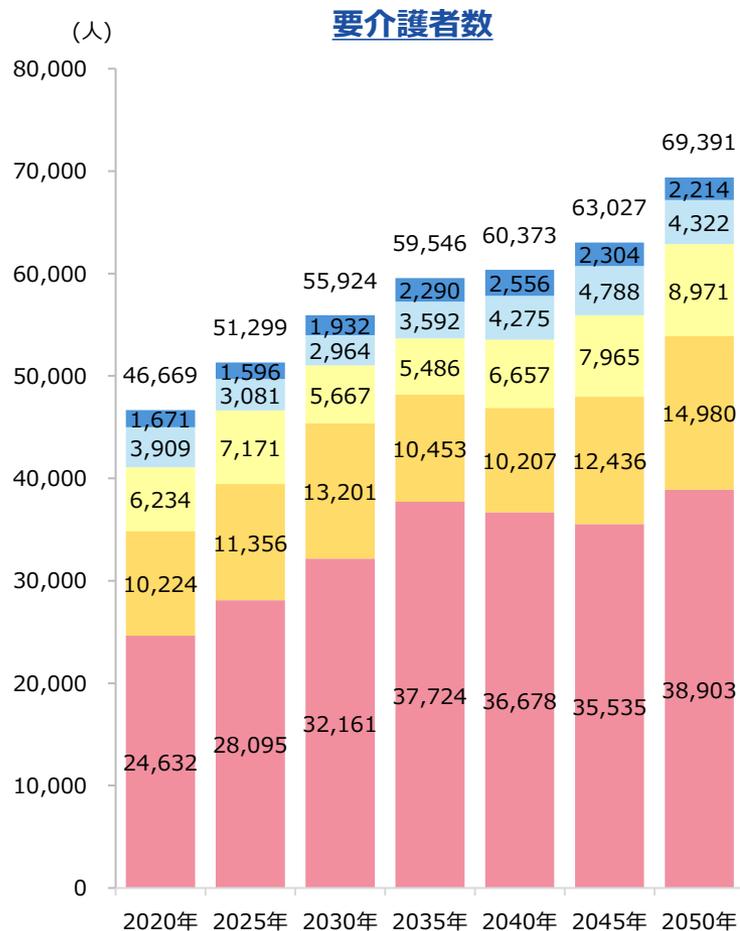


出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および第10回NDBオープンデータ（厚生労働省）
 ：2023年4月～2024年3月診療分のレセプトデータを用いて全国の性年齢別の発生率を計算。
 その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

区南部医療圏 | 年齢別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)

多くの地域では85歳以上の人口増加に伴い、要介護者数の増加が見込まれています。



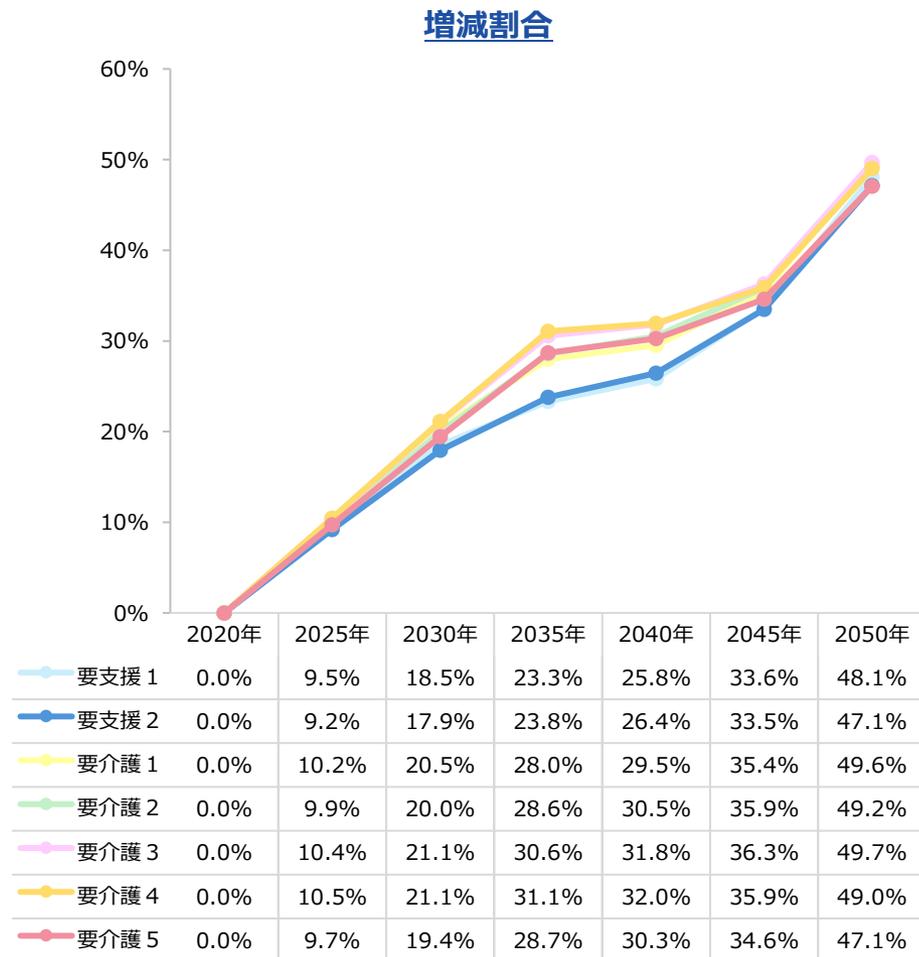
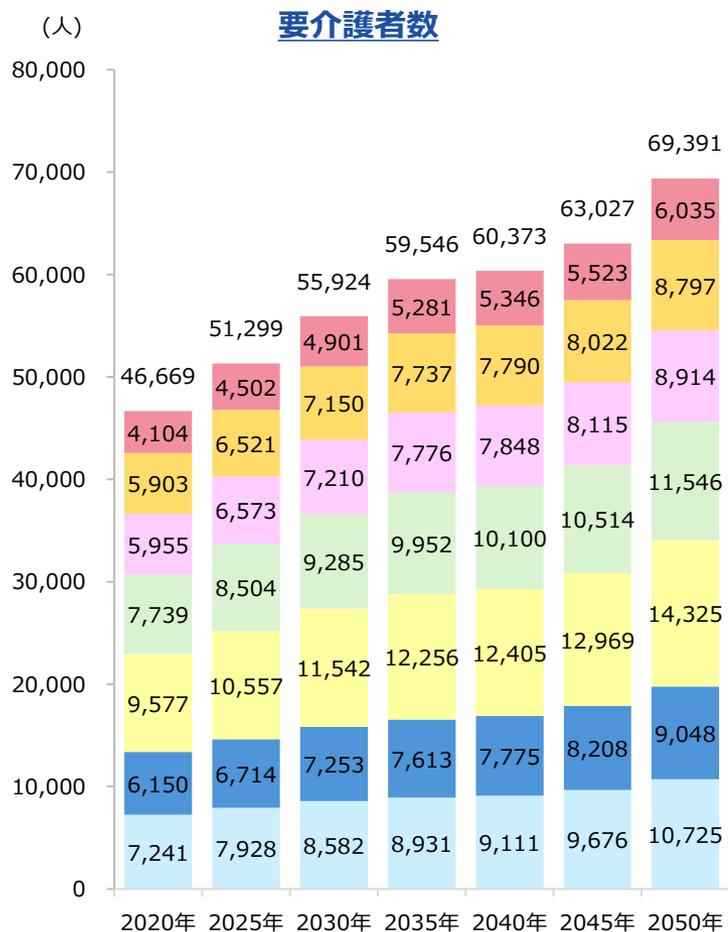
出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および

「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。

その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

区南部医療圏 | 要介護度別の要介護者の推計

都道府県の発生率を用いた要介護度別の要介護認定者数の将来推計を示しています。(介護保険事業計画の推計とは計算方法が異なります)
 要介護度3以上の増加は、介護者および介護事業所の従業員への負担や人材確保の難化を招く可能性があります。



出典：「人口推計（2023年10月1日現在）」（総務省統計局）および「令和5年度介護保険事業状況報告（年報）表04-1<都道府県別>要介護（要支援）認定者数」（厚労省）を用いて発生率を計算。その発生率と「日本の地域別将来推計人口 令和5(2023)年推計」（国立社会保障・人口問題研究所）を用いて推計

4/ 医療機関のパフォーマンスおよび連携状況

診療実績と役割分担の状況から、地域の医療機関のポジショニングを整理する。

救急車受入数

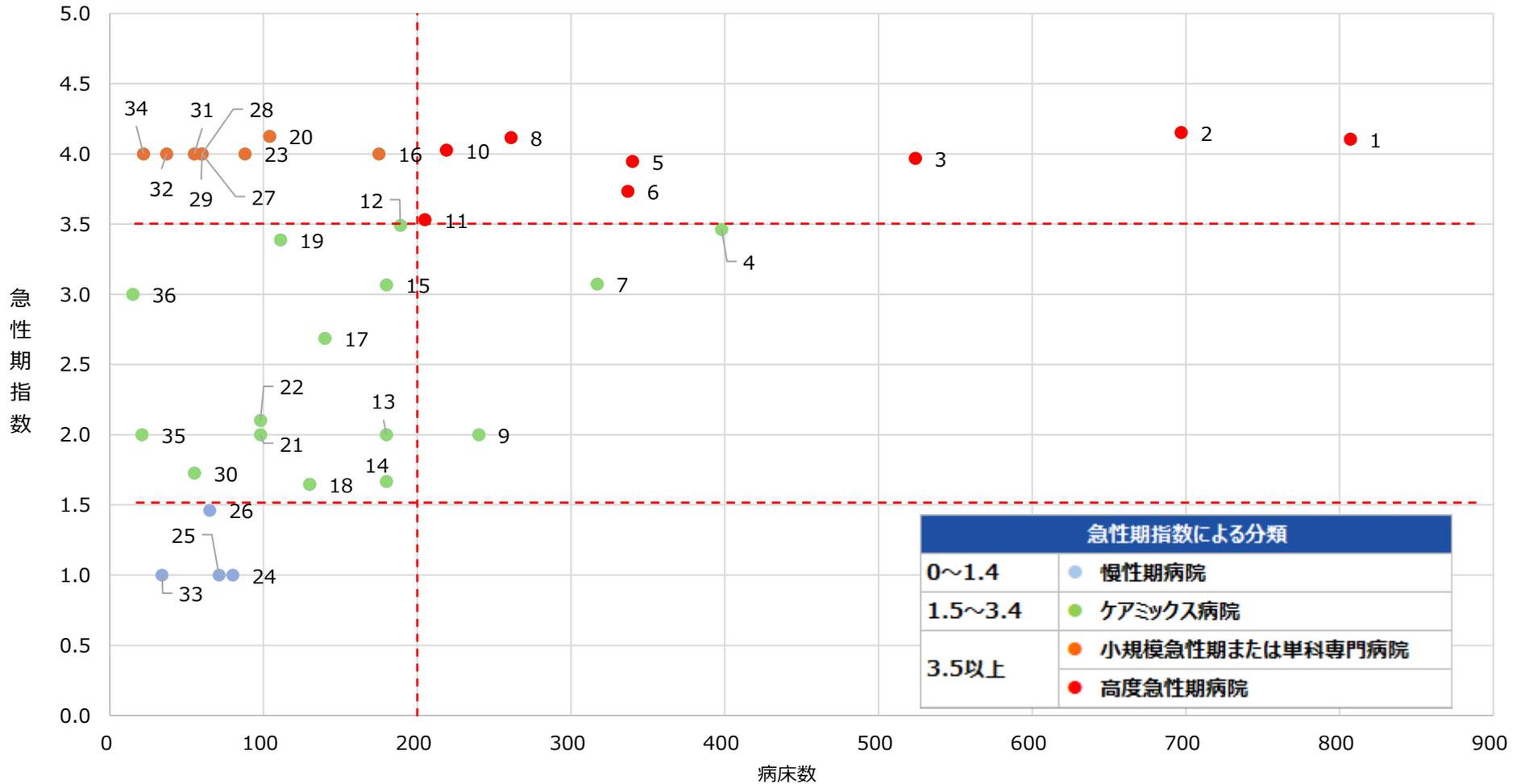
手術件数

DPC症例数

各医療機関の診療実績をもとに、地域の医療機能がどこに集中しているかを把握する。
機能分化や医療機関間の連携状況を可視化し、地域全体で質の高い医療を提供するための課題を整理する。

区南部医療圏 | ポジショニングマップ

下図は各病院の稼働病床数と急性期指数をプロットし、類型を行っています。（新たな地域医療構想における医療機関機能とは異なります）
 地域内の急性期病院の競争状況を踏まえて、各医療機関の役割を検討する必要があります。



区南部医療圏 | ポジショニングマップ

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
1	東邦大学医療センター大森病院	807	4.1
2	昭和大学病院	697	4.2
3	N T T 東日本関東病院	524	4.0
4	東京品川病院	398	3.5
5	大森赤十字病院	340	3.9
6	東京労災病院	337	3.7
7	池上総合病院	317	3.1
8	牧田総合病院	261	4.1
9	五反田リハビリテーション病院	240	2.0
10	東京都立荏原病院	219	4.0
11	J C H O 東京蒲田医療センター	205	3.5
12	大田病院	189	3.5
13	蒲田リハビリテーション病院	180	2.0
14	牧田リハビリテーション病院	180	1.7
15	東京蒲田病院	180	3.1
16	昭和大学病院附属東病院	175	4.0
17	大田池上病院	140	2.7
18	品川リハビリテーション病院	130	1.6
19	東急病院	111	3.4
20	第三北品川病院	104	4.1
21	目蒲病院	98	2.0
22	東京ちどり病院	98	2.1
23	大崎病院 東京ハートセンター	88	4.0
24	高野病院	80	1.0
25	京浜病院	71	1.0

No.	医療機関略称	稼働 病床数	急性期 指数
26	大森山王病院	65	1.5
27	稲波脊椎・関節病院	60	4.0
28	田園調布中央病院	60	4.0
29	品川志匠会病院	60	4.0
30	大井中央病院	55	1.7
31	旗の台病院	55	4.0
32	本多病院	37	4.0
33	阿部病院	34	1.0
34	昭和大学歯科病院	22	4.0
35	大村病院	21	2.0
36	若葉眼科病院	15	3.0

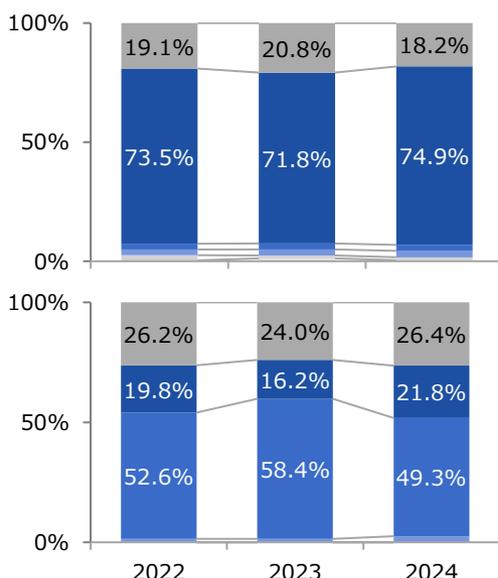
区南部医療圏 | 入退棟経路の傾向

当該医療圏の機能別の入院経路と退棟先の構成割合を示しています。
 「他の病院、診療所へ転院」の割合等から、地域の機能分化の状況を確認できます。

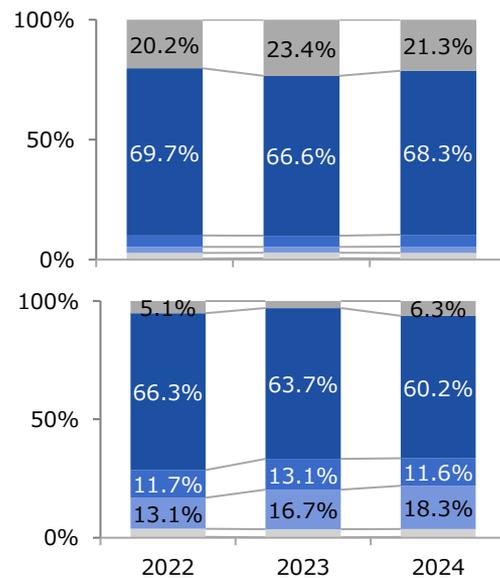
入棟時の状況の変化



入棟経路の変化



退棟先の変化



- 救急医療入院の予定外入院患者
- 救急医療入院以外の予定外入院患者
- 予定入院の患者・院内の他病棟からの転棟患者

- 院内の他病棟からの転棟
- 家庭からの入院
- 他の病院、診療所からの転院
- 介護・福祉施設、介護医療院からの入院
- 院内の出生
- その他入院経路

- 院内の他病棟へ転棟
- 家庭へ退院
- 他の病院、診療所へ転院
- 介護老人保健・福祉施設、介護医療院、有料老人ホーム等へ入所
- 終了(死亡退院等)
- その他

区南部医療圏 | 救急車受入を行う病院の概要①

救急を受け入れる病院の指定状況や職員数、医療機器の台数の比較を示しています。

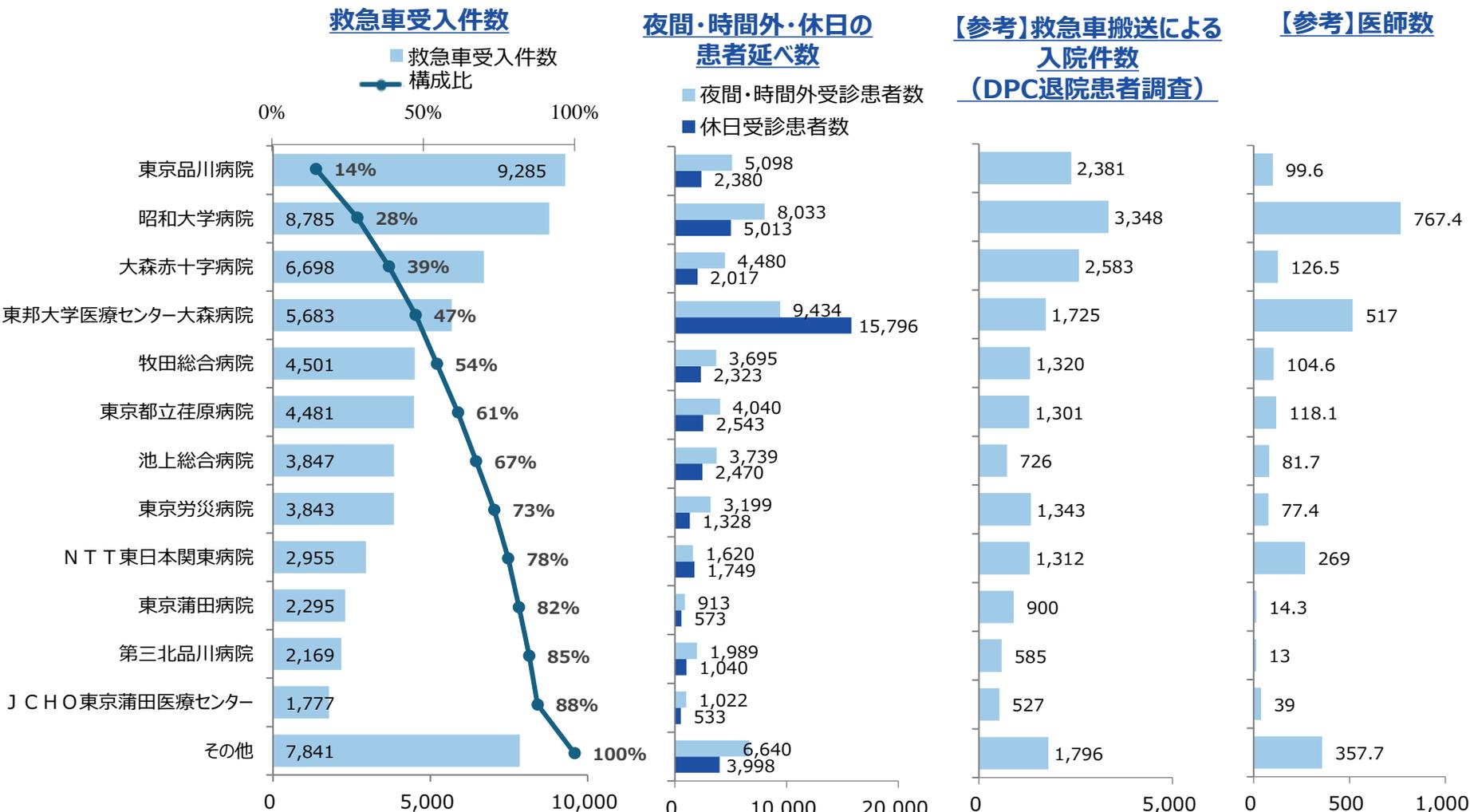
救急搬送に対応できる職員数（特に医師・看護師）を確保できているか確認する必要があります。

No.	医療機関名	市区町村	設置主体	救急種別	医師・看護師数				医療機器の台数		
					医師数	うち、常勤	常勤割合	看護師数	CT	MRI	その他
1	昭和大学病院	品川区	その他	三次救急	767.4	665	86.7%	1056.8	5	4	15
2	東邦大学医療センター大森病院	大田区	その他	三次救急	517.0	448	86.7%	1027.9	5	4	13
3	N T T 東日本関東病院	品川区	その他	二次救急	269.0	230	85.5%	703.2	5	4	9
4	大森赤十字病院	大田区	公的医療機関	二次救急	126.5	117	92.5%	386.1	2	2	4
5	東京都立荏原病院	大田区	公的医療機関	二次救急	118.1	79	66.9%	294.0	2	2	3
6	牧田総合病院	大田区	医療法人	二次救急	104.6	81	77.4%	297.5	2	2	3
7	東京品川病院	品川区	医療法人	二次救急	99.6	91	91.4%	416.2	3	3	23
8	池上総合病院	大田区	医療法人	二次救急	81.7	68	83.2%	234.1	2	2	4
9	東京労災病院	大田区	国立病院	二次救急	77.4	76	98.2%	363.3	3	2	5
10	J C H O 東京蒲田医療センター	大田区	国立病院	二次救急	39.0	39	100.0%	175.7	1	1	0
11	東急病院	大田区	その他	二次救急	33.0	33	100.0%	162.4	1	1	1
12	大田病院	大田区	医療法人	二次救急	22.4	16	71.4%	196.8	1	1	0
13	大田池上病院	大田区	医療法人	二次救急	21.4	11	51.4%	78.1	1	1	0
14	田園調布中央病院	大田区	医療法人	二次救急	19.8	7	35.4%	82.3	1	0	0
15	東京蒲田病院	大田区	医療法人	二次救急	14.3	11	76.9%	113.5	1	1	1
16	第三北品川病院	品川区	その他	二次救急	13.0	13	100.0%	84.9	1	1	0
17	旗の台病院	品川区	医療法人	二次救急	9.3	4	43.0%	27.5	1	1	0
18	大崎病院 東京ハートセンター	品川区	医療法人	二次救急	8.8	7	79.5%	56.7	1	0	3
19	本多病院	大田区	医療法人	二次救急	6.6	2	30.3%	22.6	1	0	0

病院別の救急車受入件数および夜間・時間外・休日の患者延べ数

当該医療圏内における医療機関の救急車受入件数等の指標の比較を示しています。

医師不足や過度な負担となっていないか、持続可能性の観点で確認する必要があります。



出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」（厚生労働省）

区南部区域と類似区域における救急医療の提供状況

人口、地域区分、大学病院の有無を条件とした類似区域を3つ抽出し、主要な指標を比較しています。

他区域と比較して、救急車受入の病院が分散していないか、また、職員1人あたりの患者数が大きくないか確認し、効率的、かつ、持続可能な救急医療が行えているか確認します。

区域名	区域の基礎情報				救急車受入を行う病院						主な診療実績 (区域合計)			一般病床 流入率			
	人口 (人)	面積 (km ²)	地域区分	大学 病院	病院数	救急車 件数	時間外 患者数	職員数		医師あたり		看護職員あたり			手術 総数	全麻 手術 件数	分娩 件数
東京都 区南部	1,170,569	85	大都市型	有	21	64,160	95,665	2,585	6,751	24.8	37.0	9.5	14.2	66,241	31,223	3,912	▲7.0%
大阪府 豊能	1,056,344	276	大都市型	有	23	56,081	78,591	2,609	7,268	21.5	30.1	7.7	10.8	54,327	25,127	2,726	2.9%
広島県 広島	1,366,912	2,506	大都市型	有	47	61,860	134,536	2,426	9,742	25.5	55.5	6.3	13.8	73,912	35,211	3,430	2.6%
福岡県 北九州	1,070,780	601	大都市型	有	31	66,916	153,613	2,534	11,940	26.4	60.6	5.6	12.9	67,640	30,284	3,372	5.0%

地域区分は人口と人口密度を用いた石川ベンジャミン光一氏の分類方法により作成
<https://public.tableau.com/app/profile/kbishikawa/viz/MeshBKH2022acuteNmd/map>

出典：「令和6年度病床機能報告」(厚生労働省)
 「地域医療構想 地域別の病床機能等の見える化(令和6年度)」(厚生労働省)
 「令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」(厚生労働省)
 「厚生労働省 令和7年告示第166号」
 「令和2年国勢調査」(総務省統計局)
 「都道府県・市区町村のすがた(社会・人口統計体系)」(総務省統計局) 2020年度

地域区分類型

大都市型：人口が100万人以上(又は)人口密度が2,000人/km²以上
 地方都市A型：人口が20万人以上
 地方都市B型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km²以上
 過疎地域A型：人口が10~20万人(かつ)人口密度が200人/km²未満
 過疎地域B型：人口が5~10万人
 過疎地域C型：人口が5万人未満

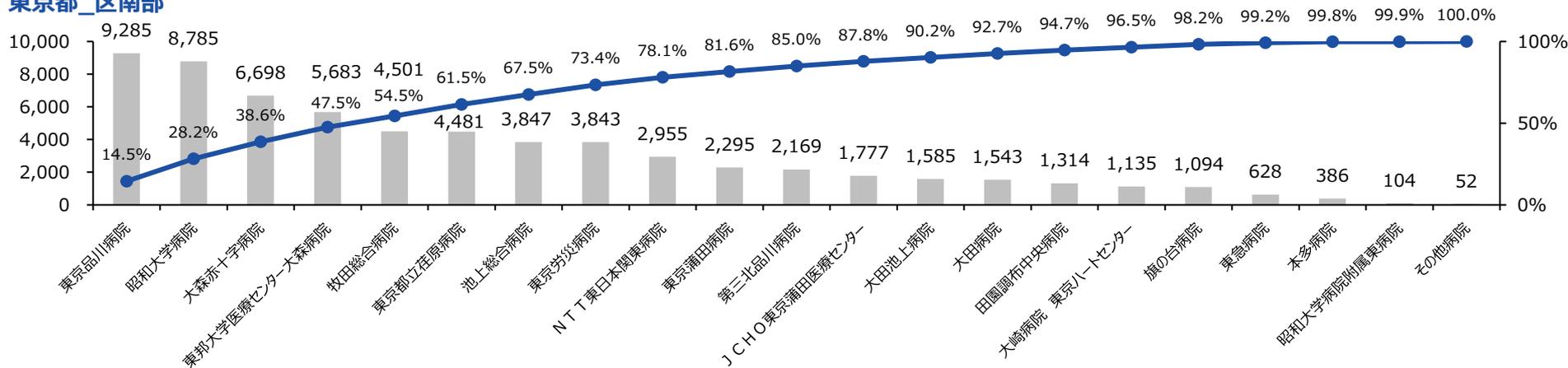
救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数①】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

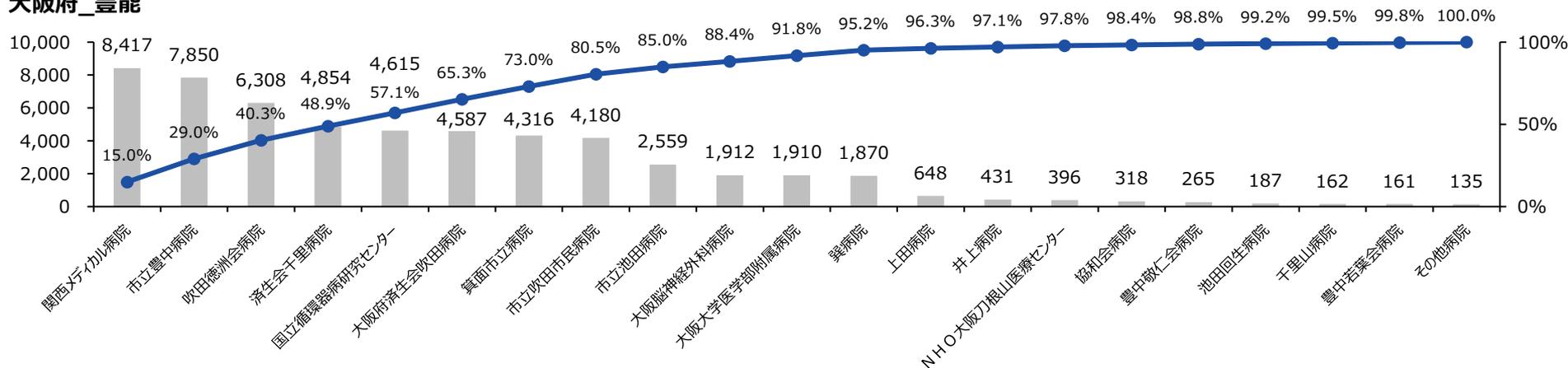
最も受入の多い医療機関の受入件数や、受入件数のバラつきを確認し、地域の特徴を把握します。

■ 救急車受入件数 ● 累積構成比

東京都_区南部

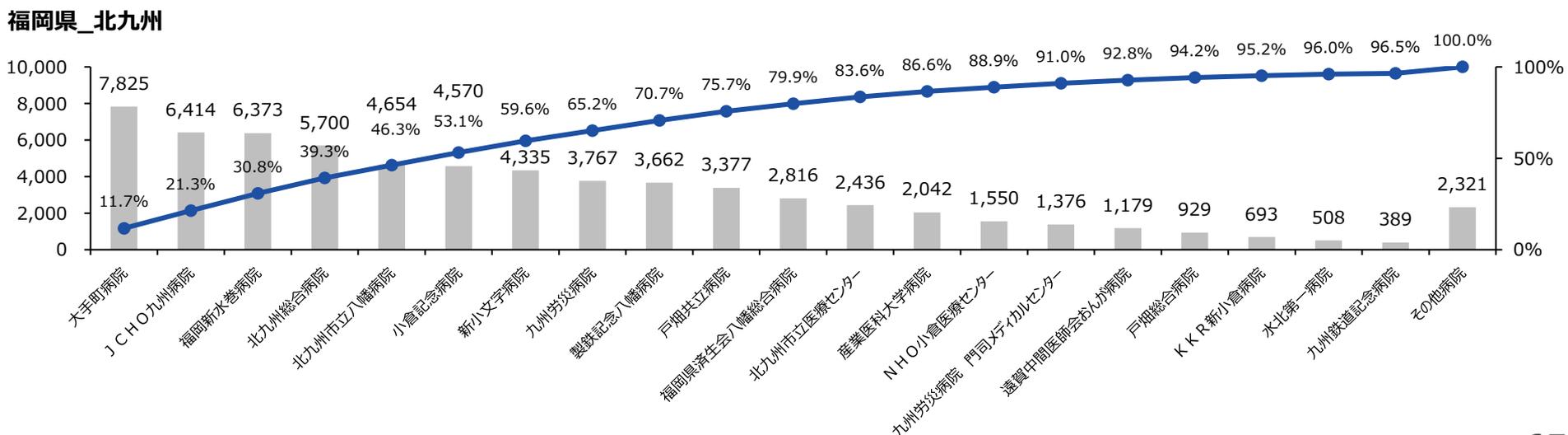
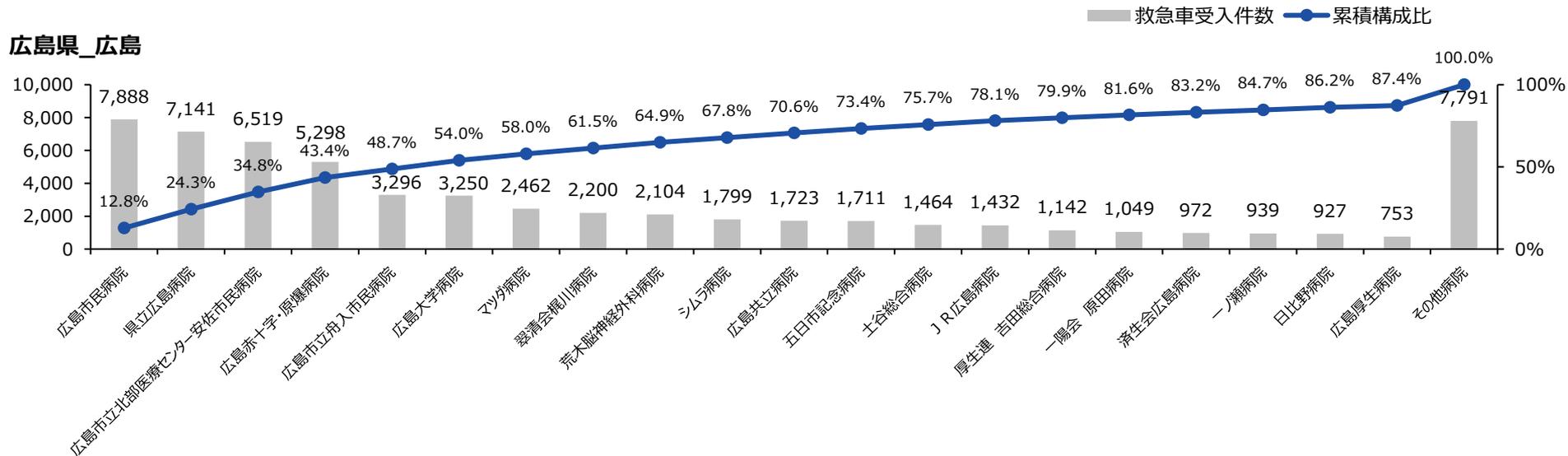


大阪府_豊能



救急医療の提供状況の類似区域との比較【救急車受入件数②】

医療機関別の救急車受入件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



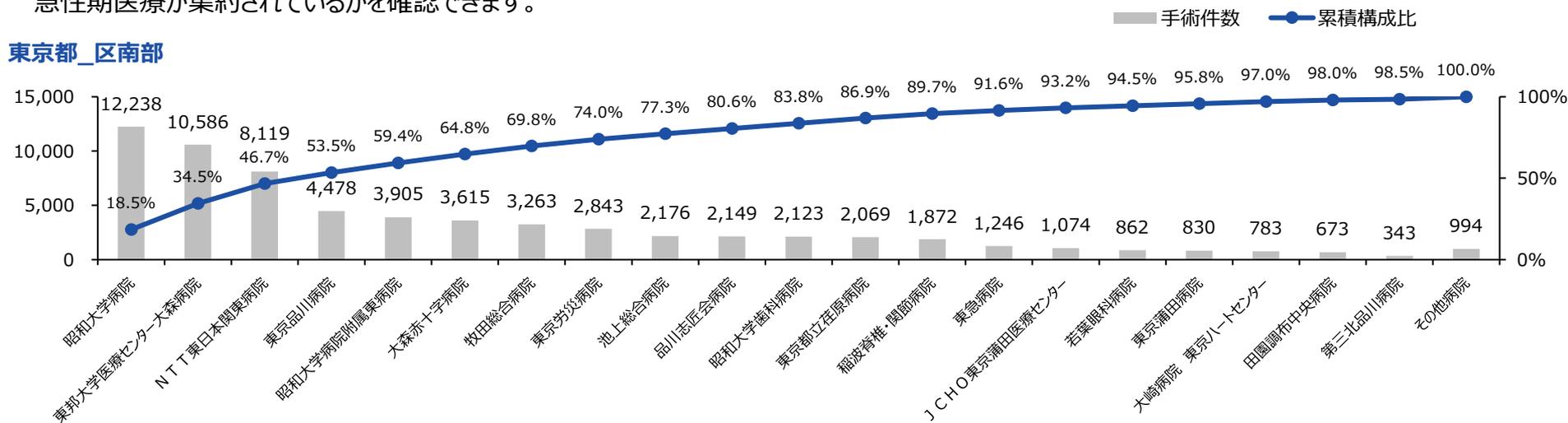
出典：「令和6年度病床機能報告」（厚生労働省）

救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数①】

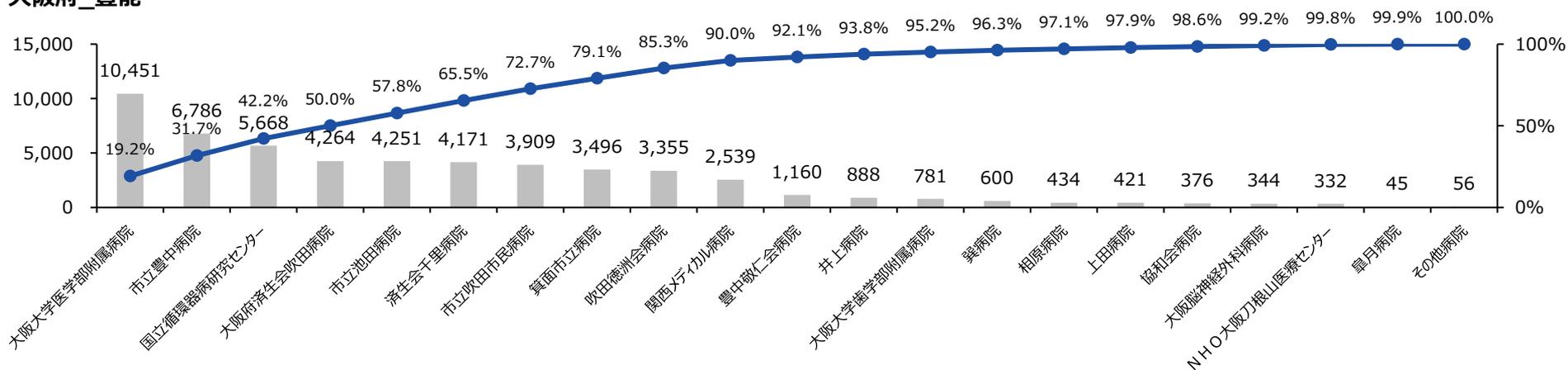
医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

急性期医療が集約されているかを確認できます。

東京都_区南部

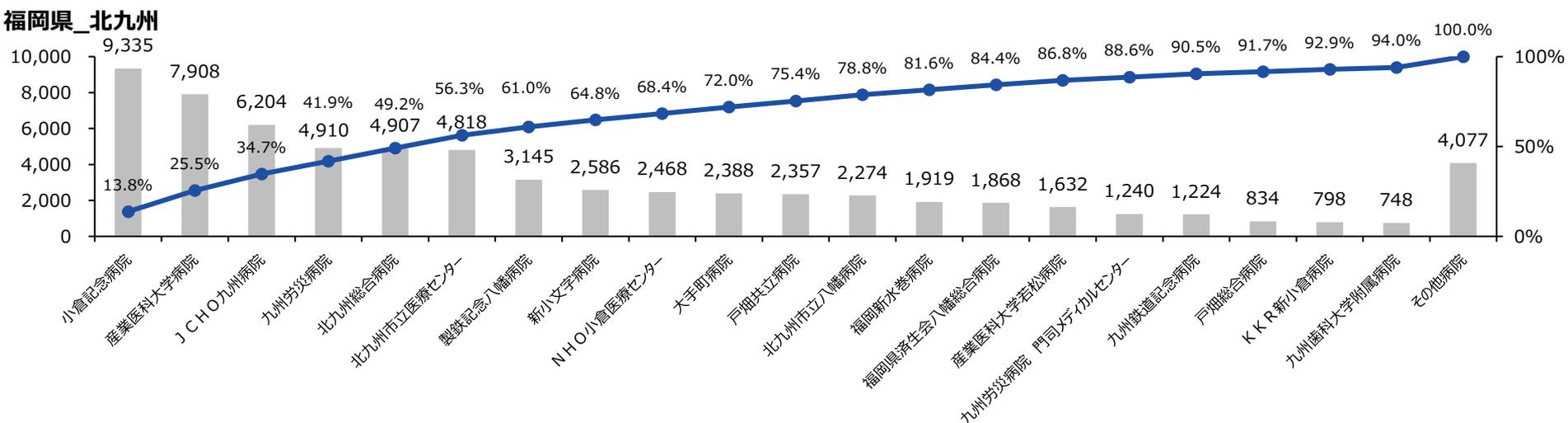
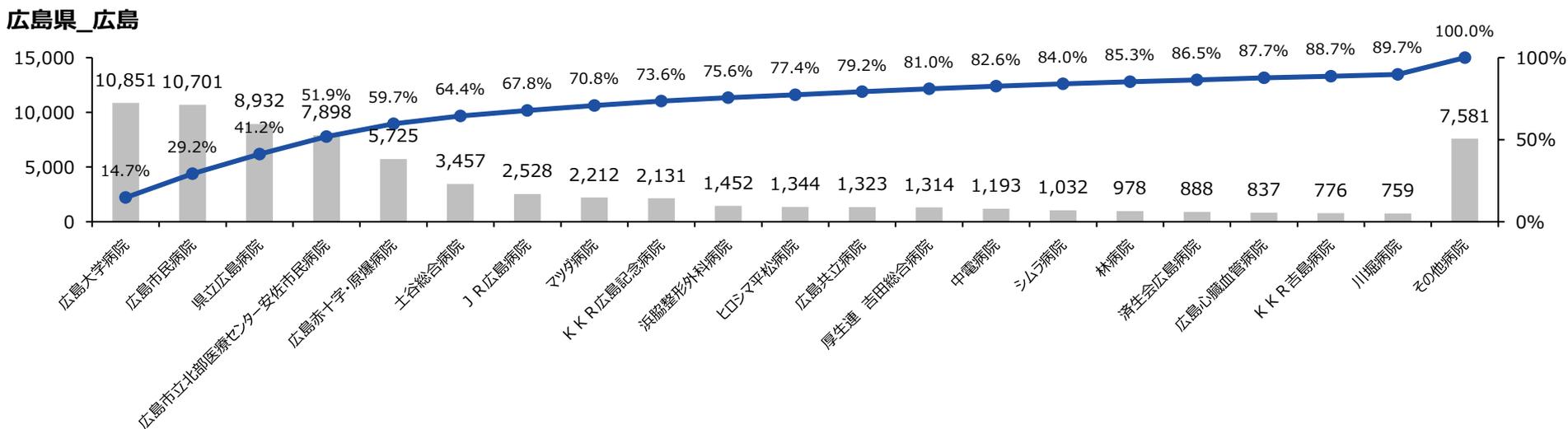


大阪府_豊能



救急医療の提供状況の類似区域との比較【手術件数②】

医療機関別の手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



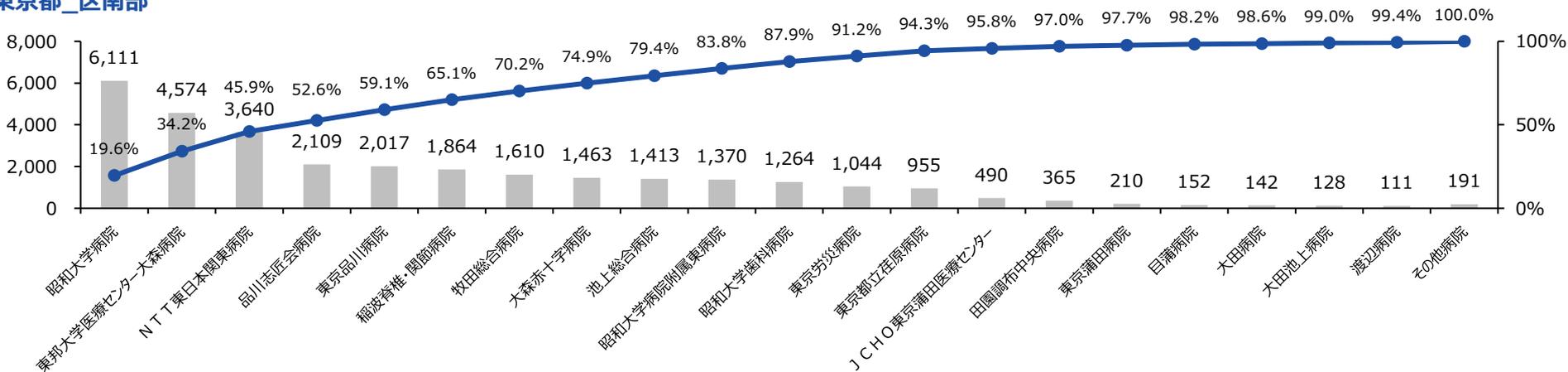
救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数①】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。

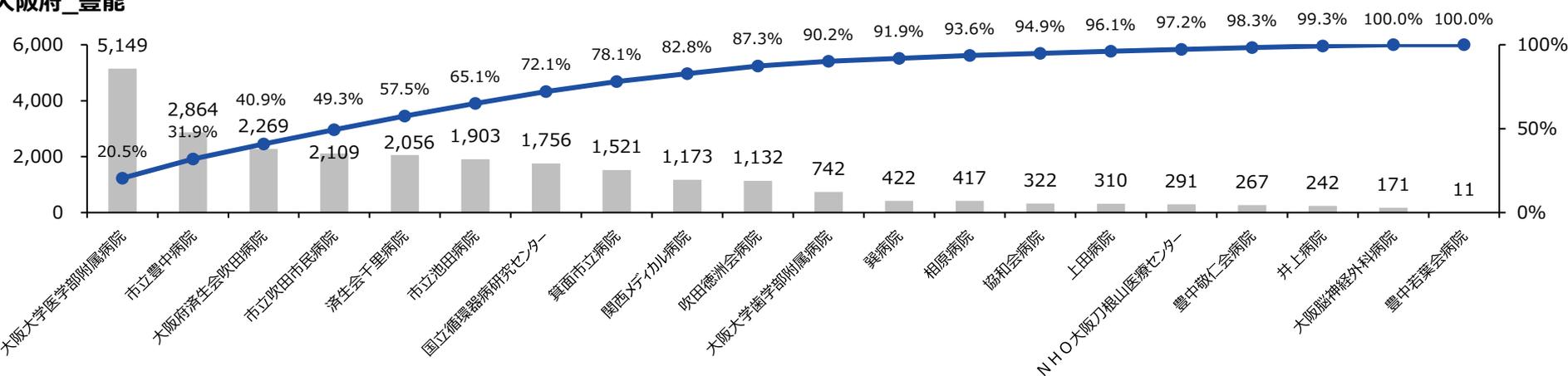
急性期医療が集約されているかを確認できます。

■ 全身麻酔手術件数 ● 累積構成比

東京都_区南部

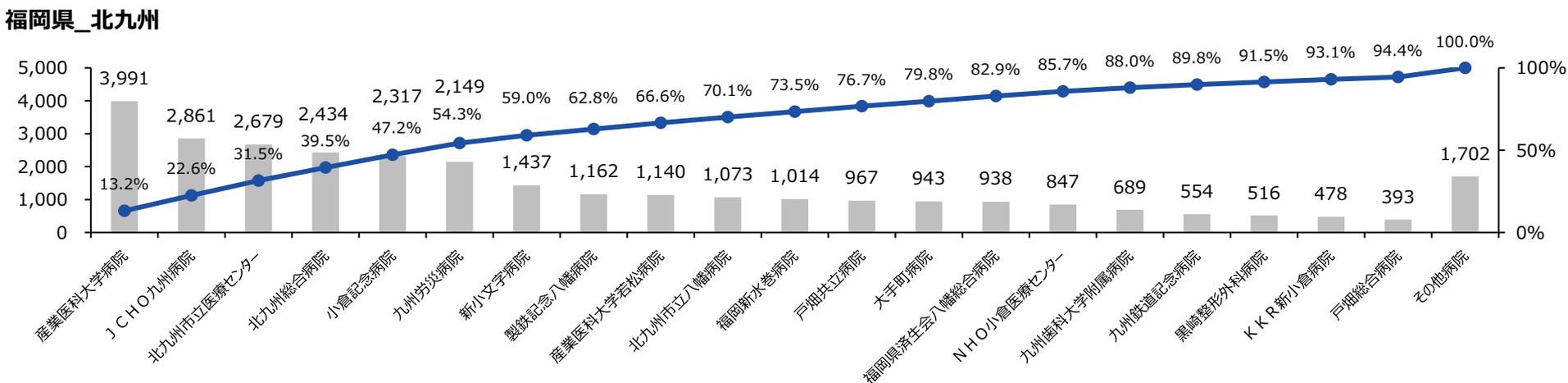
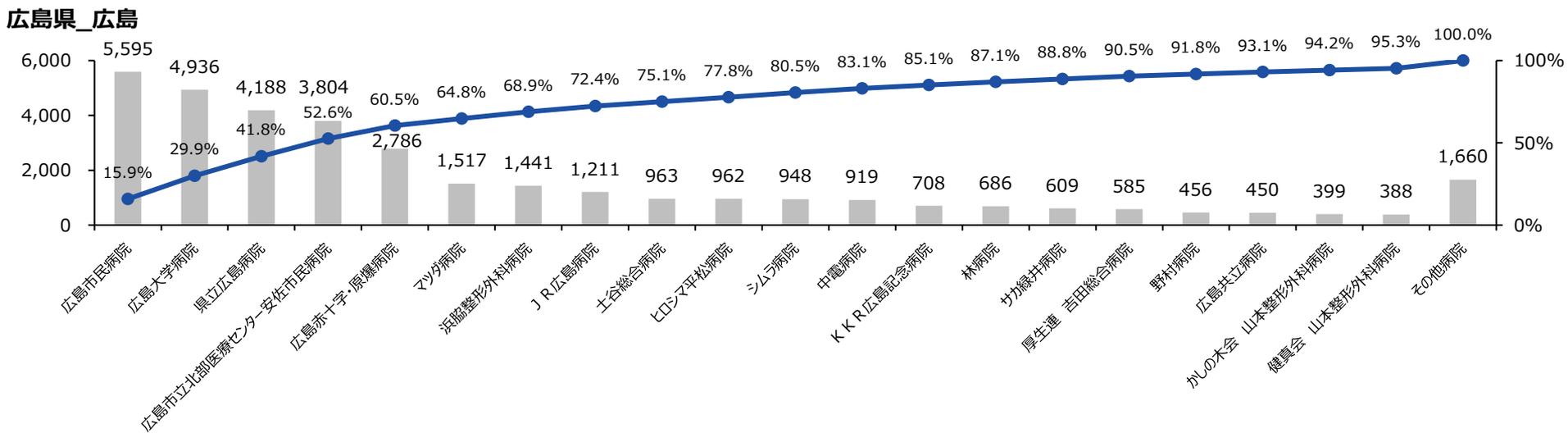


大阪府_豊能



救急医療の提供状況の類似区域との比較【全身麻酔手術件数②】

医療機関別の全身麻酔手術件数の累積構成比を他の区域と比較しています。



東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）①

都道府県内のDPC病院における在院日数の比較を示しています。

全国の平均在院日数は11.72日であり、「全国の疾患構成に補正した場合」の日数が長い医療機関は非効率な運用となっている可能性があります。

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
1	順天堂大学医学部附属順天堂医院	区中央部	大学	特定7対1	1,036	99%	26,441	10.9	11.5
2	慶應義塾大学病院	区西部	大学	特定7対1	934	98%	24,110	10.2	11.3
3	東京医科大学病院	区西部	大学	特定7対1	885	98%	23,677	10.1	11.2
4	東京大学医学部附属病院	区中央部	大学	特定7対1	1,065	96%	23,345	10.8	10.8
5	杏林大学医学部付属病院	北多摩南部	大学	特定7対1	1,023	97%	22,402	10.8	11.7
6	東京慈恵会医科大学附属病院	区中央部	大学	特定7対1	1,026	95%	20,040	11.3	12.5
7	K K R虎の門病院	区中央部	特定	急性期1	817	100%	19,345	9.5	9.3
8	東邦大学医療センター大森病院	区南部	大学	特定7対1	790	96%	19,188	10.8	11.2
9	日本医科大学付属病院	区中央部	大学	特定7対1	850	97%	18,227	11.9	11.2
10	昭和大学病院	区南部	大学	特定7対1	815	100%	17,937	11.4	11.3
11	武蔵野赤十字病院	北多摩南部	特定	急性期1	611	100%	17,824	10.0	9.3
12	日本大学医学部附属板橋病院	区西北部	大学	特定7対1	892	95%	17,612	10.8	10.9
13	国立がん研究センター中央病院	区中央部	特定	特定7対1	578	100%	17,222	9.9	11.0
14	東京医科歯科大学病院	区中央部	大学	特定7対1	757	93%	17,194	10.4	10.7
15	東京女子医科大学病院	区西部	大学	急性期1	1,144	96%	17,039	10.1	10.2
16	帝京大学医学部附属病院	区西北部	大学	特定7対1	1,027	96%	16,530	12.3	12.3
17	東京都立多摩総合医療センター	北多摩南部	特定	急性期1	665	89%	16,384	10.0	10.4
18	がん研究会有明病院	区東部	特定	特定7対1	661	96%	16,331	10.6	11.5
19	N H O東京医療センター	区西南部	特定	急性期1	640	100%	14,329	11.2	11.1
20	国立国際医療研究センター病院	区西部	特定	特定7対1	685	99%	13,427	12.6	11.9
21	順天堂大学医学部附属練馬病院	区西北部	標準	急性期1	490	100%	13,198	10.9	11.7
22	東京都立墨東病院	区東部	特定	急性期1	679	95%	13,002	11.4	10.1
23	N T T東日本関東病院	区南部	特定	急性期1	528	89%	12,954	9.6	10.2
24	東海大学医学部付属八王子病院	南多摩	標準	急性期1	500	100%	12,715	10.4	11.4
25	東京医科大学八王子医療センター	南多摩	特定	急性期1	602	100%	12,603	10.3	10.6

東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）②

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
26	聖路加国際病院	区中央部	特定	特定7対1	497	96%	12,571	9.1	9.1
27	日本赤十字社医療センター	区西南部	特定	急性期1	681	97%	12,294	10.4	9.9
28	三井記念病院	区中央部	特定	急性期1	482	100%	12,210	10.1	10.2
29	東京都立駒込病院	区中央部	特定	専門7対1	793	97%	11,647	11.4	10.6
30	国立成育医療研究センター	区西南部	標準	急性期1	490	100%	11,128	9.9	10.9
31	板橋中央総合病院	区西北部	標準	急性期1	569	100%	11,051	10.8	10.8
32	公立昭和病院	北多摩北部	特定	急性期1	485	100%	10,995	10.1	10.0
33	NHO災害医療センター	北多摩西部	標準	急性期1	455	100%	10,390	12.5	11.4
34	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	区東北部	標準	急性期1	371	100%	9,844	9.7	10.4
35	昭和大学江東豊洲病院	区東部	標準	急性期1	400	100%	9,840	10.3	11.2
36	河北総合病院	区西部	標準	急性期1	331	100%	9,659	10.6	11.2
37	東京都済生会中央病院	区中央部	標準	急性期1	535	100%	9,553	12.3	10.9
38	KKR立川病院	北多摩西部	標準	急性期1	412	92%	9,534	10.8	10.5
39	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北多摩南部	標準	急性期1	534	92%	9,266	11.7	12.5
40	東京北医療センター	区西北部	標準	急性期1	351	100%	9,263	10.8	11.0
41	東邦大学医療センター大橋病院	区西南部	標準	急性期1	320	100%	9,005	9.8	10.4
42	榊原記念病院	北多摩南部	標準	急性期1	307	100%	8,907	9.3	9.0
43	江戸川病院	区東部	標準	急性期1	474	100%	8,687	13.2	13.0
44	市立青梅総合医療センター	西多摩	特定	急性期1	455	90%	8,512	12.1	11.1
45	町田市民病院	南多摩	標準	急性期1	420	96%	8,421	11.2	11.6
46	東京警察病院	区西部	標準	急性期1	383	92%	8,304	10.1	10.7
47	東京女子医科大学附属足立医療センター	区東北部	標準	急性期1	450	100%	8,297	10.0	10.1
48	日本大学病院	区中央部	標準	急性期1	320	100%	8,264	9.3	10.2
49	東京都健康長寿医療センター	区西北部	標準	急性期1	463	84%	8,248	11.8	12.2
50	東京品川病院	区南部	標準	急性期1	296	74%	8,166	9.4	9.7

東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）③

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
51	東京臨海病院	区東部	標準	急性期1	363	100%	8,126	10.1	10.5
52	JCHO東京山手メディカルセンター	区西部	標準	急性期1	398	100%	7,850	11.6	12.3
53	同愛記念病院	区東部	標準	急性期1	330	92%	7,716	9.8	9.9
54	練馬光が丘病院	区西北部	標準	急性期1	405	89%	7,645	12.2	11.7
55	日本医科大学多摩永山病院	南多摩	標準	急性期1	405	100%	7,619	13.2	12.9
56	大森赤十字病院	区南部	標準	急性期1	328	95%	7,479	10.9	11.2
57	JR東京総合病院	区西南部	標準	急性期1	312	78%	6,732	9.3	9.9
58	永寿総合病院	区中央部	標準	急性期1	384	96%	6,672	12.7	11.8
59	東京都立小児総合医療センター	北多摩南部	標準	急性期1	337	69%	6,495	10.6	10.0
60	東京都立豊島病院	区西北部	標準	急性期1	386	88%	6,479	10.2	11.0
61	東京都立東部地域病院	区東北部	標準	急性期1	314	100%	6,462	8.3	10.0
62	JCHO東京新宿メディカルセンター	区西部	標準	急性期1	337	77%	6,399	12.2	11.9
63	立川相互病院	北多摩西部	標準	急性期1	287	100%	6,380	13.4	11.6
64	東京都立多摩南部地域病院	南多摩	標準	急性期1	271	100%	6,357	8.2	9.8
65	荻窪病院	区西部	標準	急性期1	252	100%	6,284	10.6	11.0
66	総合東京病院	区西部	標準	急性期1	352	78%	6,207	11.9	11.6
67	東京通信病院	区中央部	標準	急性期1	403	88%	6,186	11.5	11.7
68	関東中央病院	区西南部	標準	急性期1	325	89%	6,119	10.8	11.2
69	東京西徳洲会病院	北多摩西部	標準	急性期1	443	85%	6,012	12.3	11.9
70	東京都立大塚病院	区西北部	標準	急性期1	287	100%	6,011	10.8	10.8
71	東京都立多摩北部医療センター	北多摩北部	標準	急性期1	337	100%	5,780	11.4	11.3
72	牧田総合病院	区南部	標準	急性期1	290	100%	5,773	11.4	11.3
73	東京都立広尾病院	区西南部	標準	急性期1	336	92%	5,713	10.9	10.6
74	江東病院	区東部	標準	急性期1	256	90%	5,674	10.5	11.0
75	国際医療福祉大学三田病院	区中央部	標準	急性期1	291	100%	5,653	11.4	11.7

東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）④

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
76	玉川病院	区西南部	標準	急性期1	340	89%	5,564	13.5	11.5
77	イムス東京葛飾総合病院	区東北部	標準	急性期1	241	100%	5,294	14.0	12.8
78	東京労災病院	区南部	標準	急性期1	348	87%	5,255	12.4	12.3
79	順天堂東京江東高齢者医療センター	区東部	標準	急性期1	275	68%	5,249	12.6	13.9
80	杏林大学医学部付属杉並病院	区西部	標準	急性期1	271	80%	5,194	10.0	10.1
81	高島平中央総合病院	区西北部	標準	急性期1	235	100%	5,050	15.1	13.5
82	練馬総合病院	区西北部	標準	急性期1	224	100%	4,930	11.1	12.0
83	日野市立病院	南多摩	標準	急性期1	300	100%	4,667	12.0	12.0
84	東大和病院	北多摩西部	標準	急性期1	284	100%	4,651	14.6	13.2
85	東京都立荏原病院	区南部	標準	急性期1	383	83%	4,599	11.8	11.3
86	森山記念病院	区東部	標準	急性期1	253	86%	4,575	13.2	11.9
87	佐々総合病院	北多摩北部	標準	急性期1	183	100%	4,539	12.1	11.0
88	昭和大学病院附属東病院	区南部	標準	急性期6	199	100%	4,488	8.8	16.3
89	稲城市立病院	南多摩	標準	急性期1	290	100%	4,419	12.0	12.8
90	新渡戸記念中野総合病院	区西部	標準	急性期1	296	100%	4,356	12.6	11.5
91	武蔵野徳洲会病院	北多摩北部	標準	急性期4	245	83%	4,256	14.6	13.8
92	博慈会記念総合病院	区東北部	標準	急性期1	282	100%	4,235	13.0	12.6
93	結核予防会複十字病院	北多摩北部	標準	急性期4	248	74%	4,154	13.0	13.3
94	苑田第一病院	区東北部	標準	急性期4	221	100%	4,144	13.5	11.1
95	明理会中央総合病院	区西北部	標準	急性期1	252	81%	3,979	15.3	13.4
96	総合病院厚生中央病院	区西南部	標準	急性期1	257	85%	3,977	11.1	11.7
97	K K R 東京共済病院	区西南部	標準	急性期1	291	83%	3,939	12.0	11.9
98	平成立石病院	区東北部	標準	急性期1	203	100%	3,926	14.4	13.4
99	明理会東京大和病院	区西北部	標準	急性期2	126	75%	3,895	8.9	15.6
100	西東京中央総合病院	北多摩北部	標準	急性期1	232	86%	3,484	14.5	12.8

東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）⑤

No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
101	北里大学北里研究所病院	区中央部	標準	急性期1	231	86%	3,480	10.5	10.1
102	東京衛生アドベンチスト病院	区西部	標準	急性期1	143	77%	3,456	7.3	9.3
103	東京都立大久保病院	区西部	標準	急性期1	227	82%	3,379	8.6	9.7
104	公立阿伎留医療センター	西多摩	標準	急性期1	163	62%	3,356	9.3	9.8
105	賛育会病院	区東部	標準	急性期1	149	75%	3,337	7.9	9.2
106	久我山病院	区西南部	標準	急性期2	199	100%	3,214	12.9	12.7
107	南多摩病院	南多摩	標準	急性期1	148	87%	3,164	11.0	11.8
108	東京曳舟病院	区東部	標準	急性期1	200	100%	3,161	15.8	12.4
109	池上総合病院	区南部	標準	急性期1	248	65%	3,139	11.1	10.9
110	武蔵村山病院	北多摩西部	標準	急性期1	144	48%	3,130	8.8	9.9
111	三楽病院	区中央部	標準	急性期1	119	67%	3,050	8.3	11.7
112	公立福生病院	西多摩	標準	急性期1	271	86%	2,910	12.1	11.5
113	NHO東京病院	北多摩北部	標準	急性期4	302	58%	2,897	15.7	15.3
114	JCHO東京高輪病院	区中央部	標準	急性期1	144	75%	2,700	10.1	10.3
115	南町田病院	南多摩	標準	急性期1	188	85%	2,577	15.4	14.1
116	府中恵仁会病院	北多摩南部	標準	急性期1	154	71%	2,562	13.5	12.8
117	KKR三宿病院	区西南部	標準	急性期1	206	84%	2,457	15.7	12.0
118	新山手病院	北多摩北部	標準	急性期1	145	81%	2,400	14.8	12.9
119	綾瀬循環器病院	区東北部	標準	急性期1	76	100%	2,313	10.7	9.1
120	高木病院	西多摩	標準	急性期4	120	67%	2,248	14.8	13.8
121	伊藤病院	区西南部	標準	急性期1	60	100%	2,099	6.8	6.9
122	NHO村山医療センター	北多摩西部	標準	急性期4	143	47%	2,041	14.8	15.9
123	葛西昌医会病院	区東部	標準	急性期1	111	78%	2,009	9.9	11.0
124	東京かつしか赤十字母子医療センター	区東北部	標準	急性期1	104	100%	1,904	10.1	10.2
125	JCHO東京蒲田医療センター	区南部	標準	急性期1	176	78%	1,886	12.1	12.9

東京都 | DPC対象病院における平均在院日数（DPC患者数の多い順）⑥

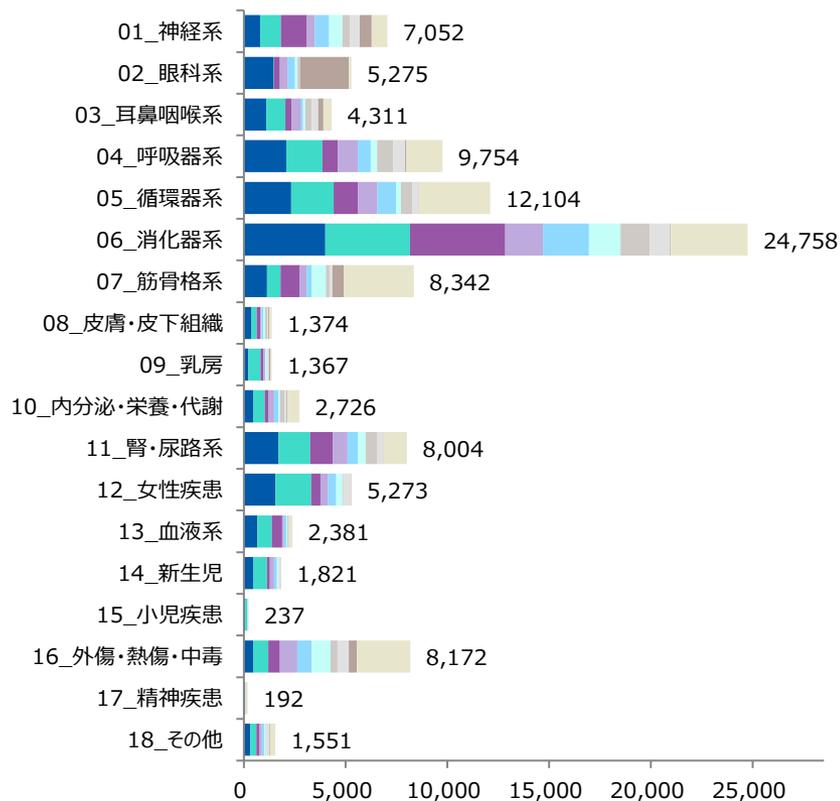
No.	医療機関名	医療圏	医療機関群	入院基本料	DPC算定 病床数	DPC算定 病床割合	DPC患者数	平均在院日数 (日)	全国の疾患構成に 補正した場合 (日)
126	大田病院	区南部	標準	急性期2	127	67%	1,839	16.3	17.2
127	等潤病院	区東北部	標準	急性期4	78	52%	1,742	12.4	12.6
128	聖母病院	区西部	標準	急性期1	107	70%	1,683	9.0	12.7
129	浅草病院	区中央部	標準	急性期1	90	66%	1,545	12.0	12.4
130	イムス葛飾ハートセンター	区東北部	標準	急性期1	50	100%	1,537	9.0	9.1
131	三鷹中央病院	北多摩南部	標準	急性期1	110	90%	1,489	17.8	15.5
132	東急病院	区南部	標準	急性期1	75	56%	1,438	6.1	9.7
133	東京北部病院	区東北部	標準	急性期4	108	79%	1,434	13.8	12.1
134	藤崎病院	区東部	標準	急性期2	119	82%	1,393	15.4	15.2
135	一橋病院	北多摩北部	標準	急性期1	89	90%	1,316	16.2	14.1
136	第三北品川病院	区南部	標準	急性期5	114	100%	1,111	21.2	15.9
137	あそか病院	区東部	標準	急性期2	93	37%	1,076	8.5	9.6
138	田園調布中央病院	区南部	標準	急性期1	60	66%	1,011	10.5	11.3
139	東都文京病院	区中央部	標準	急性期2	126	100%	939	11.5	13.5
140	八王子山王病院	南多摩	標準	急性期1	75	48%	915	11.3	11.1
141	昭島病院	北多摩西部	標準	急性期4	99	50%	840	14.4	14.0
142	イムス記念病院	区西北部	標準	急性期1	50	69%	742	15.2	13.1
143	吉祥寺南病院（休止中）	北多摩南部	標準	急性期2	54	43%	730	9.4	11.8
144	鈴木病院	区東部	標準	急性期4	48	100%	723	16.5	14.1
145	野村病院	北多摩南部	標準	急性期4	77	58%	718	14.2	13.2
146	おくさわ脳卒中リハビリテーション病院	区西南部	標準	急性期2	30	37%	591	14.0	22.4
147	奥沢病院	区西南部	標準	急性期2	49	67%	562	15.8	13.8
148	大田池上病院	区南部	標準	急性期2	52	36%	446	16.5	13.3
149	JCHO東京城東病院	区東部	標準	急性期4	43	37%	435	12.4	15.1
150	世田谷北部病院	区西南部	標準	急性期1	40	44%	346	9.3	9.3

区南部医療圏 | MDC別退院患者数および医療機関シェア

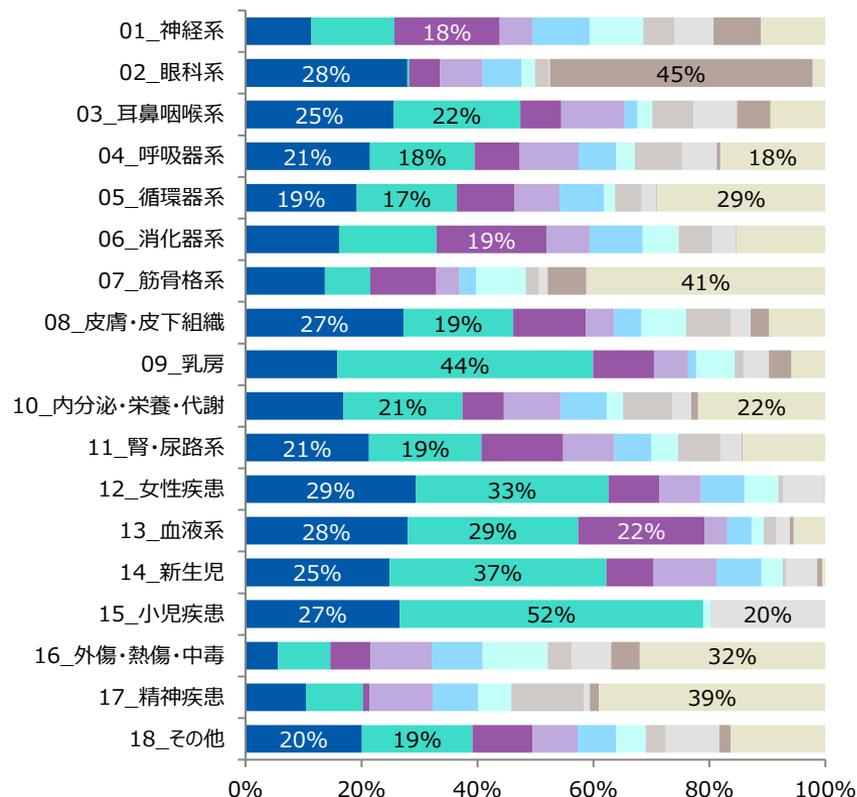
医療圏内の医療機関の疾患別推定シェアを示しています。

疾患ごとの役割分担の状況を確認できます。

MDC別退院患者数



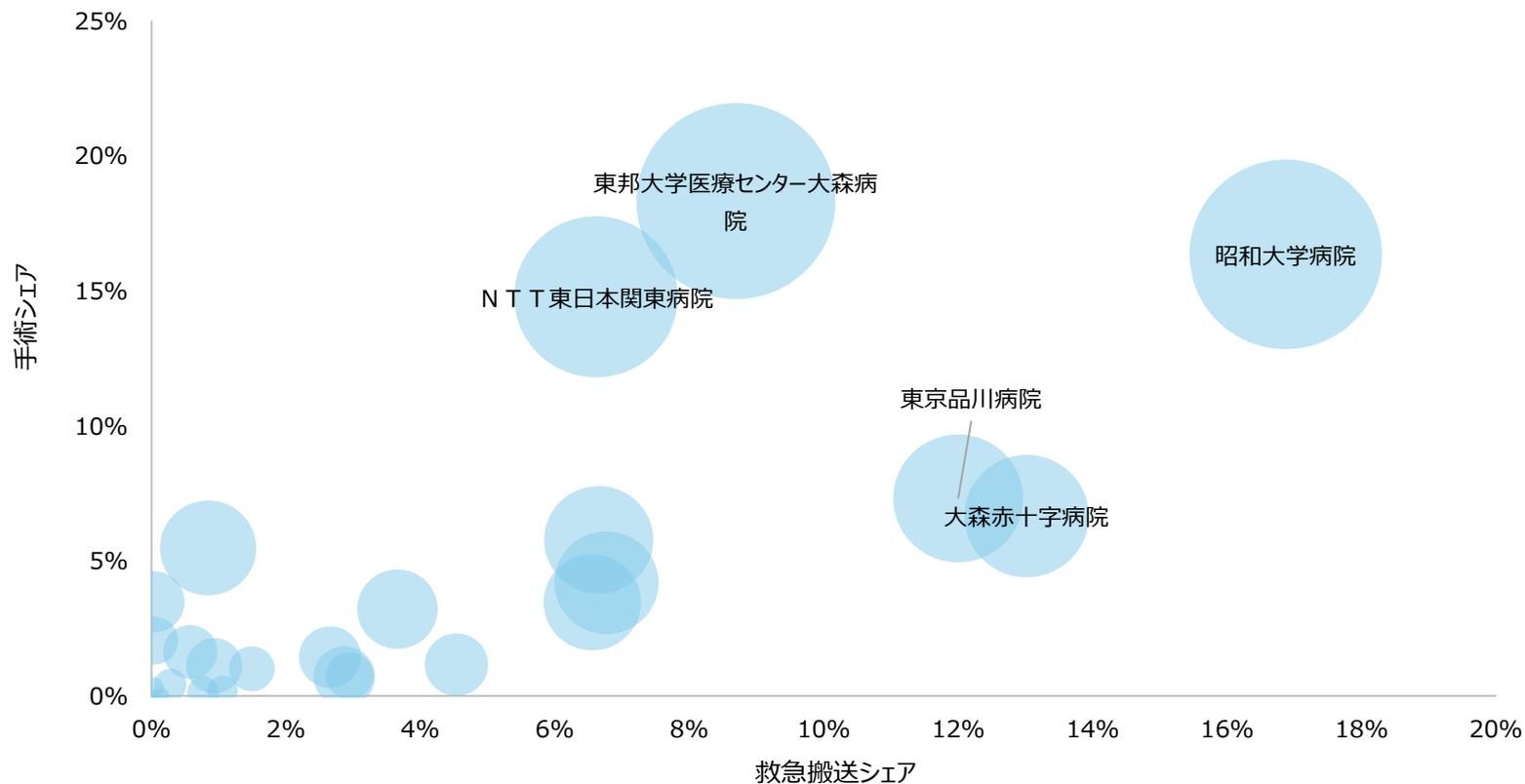
MDC別医療機関シェア



■ 東邦大学医療センター大森病院
 ■ 昭和大学病院
 ■ N T T 東日本関東病院
 ■ 東京品川病院
 ■ 大森赤十字病院
 ■ 牧田総合病院
 ■ 東京労災病院
 ■ 東京都立荏原病院
 ■ 昭和大学病院附属東病院
 ■ その他

区南部医療圏 | DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア

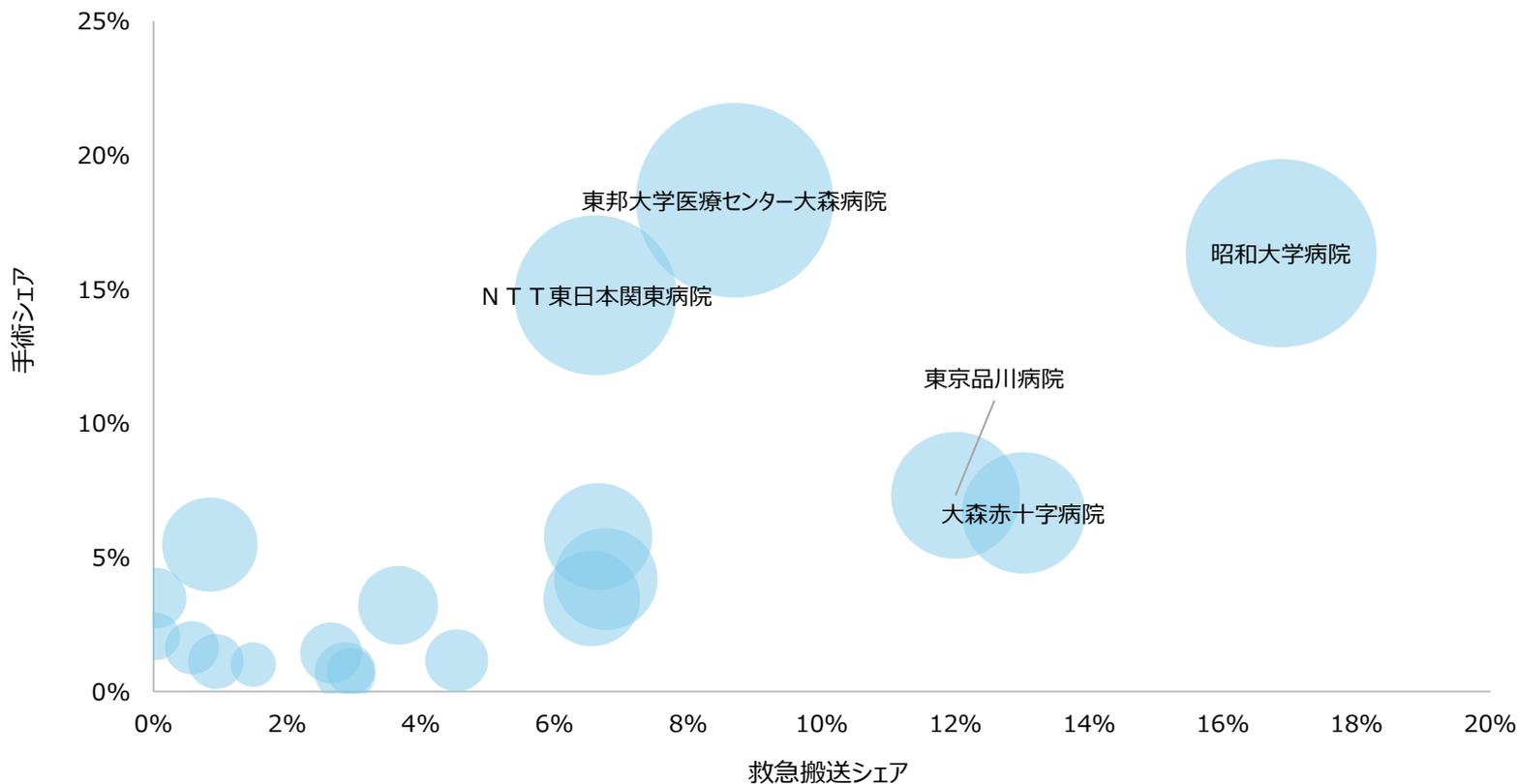
医療圏内の医療機関の救急搬送シェアと手術シェアをプロットしており、地域内の急性期病院としてのポジショニングを可視化しています。



救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

DPC退院患者の手術シェア×救急搬送シェア(退院患者数1000人以上の病院)

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

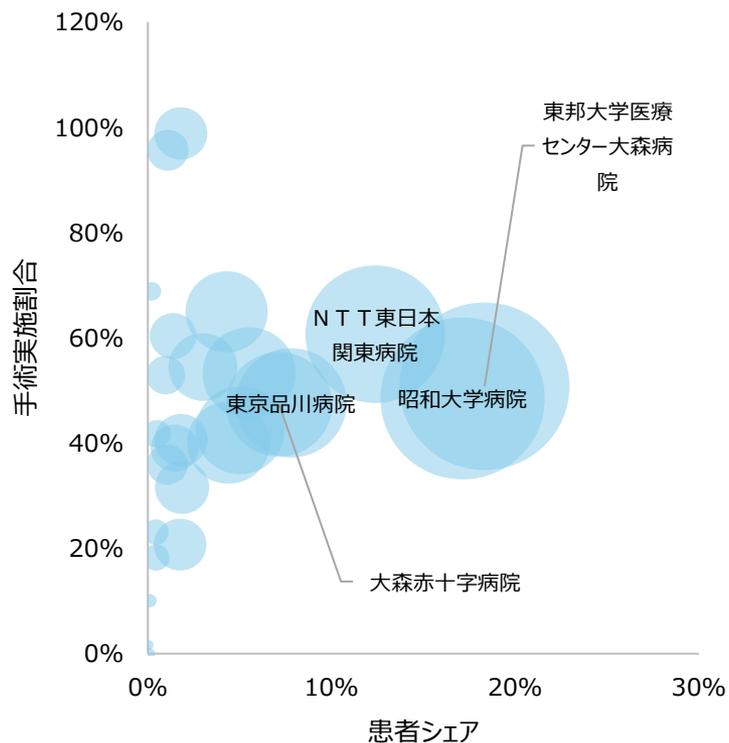


救急搬送シェア	医療圏内の病院における各病院の患者受け入れ割合
手術シェア	医療圏内の病院における各病院の手術実施件数割合
バブルの大きさ	退院患者数

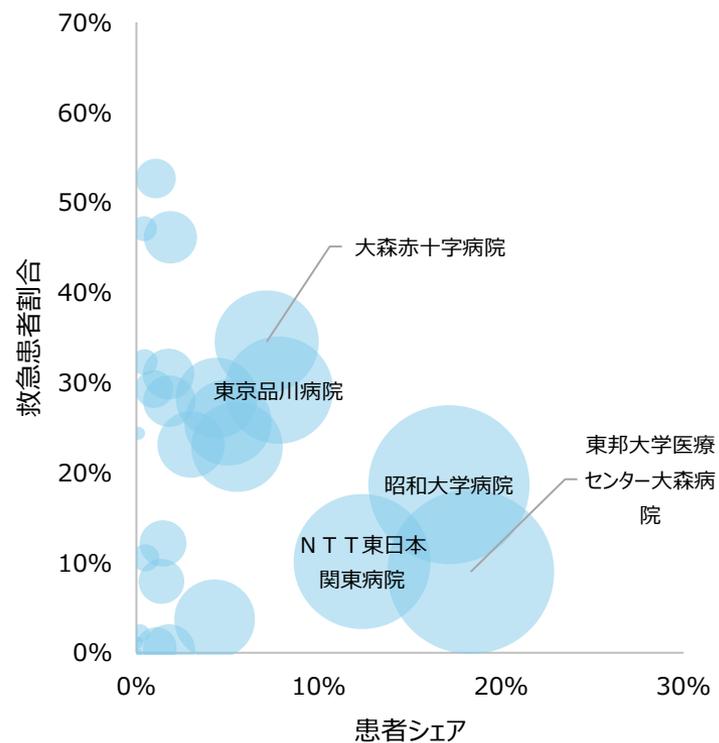
区南部医療圏 | DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア

医療圏内の医療機関の手術実施割合と救急患者割合、地域内の患者シェアをプロットしています。

手術実施割合×患者シェア



救急患者割合×患者シェア

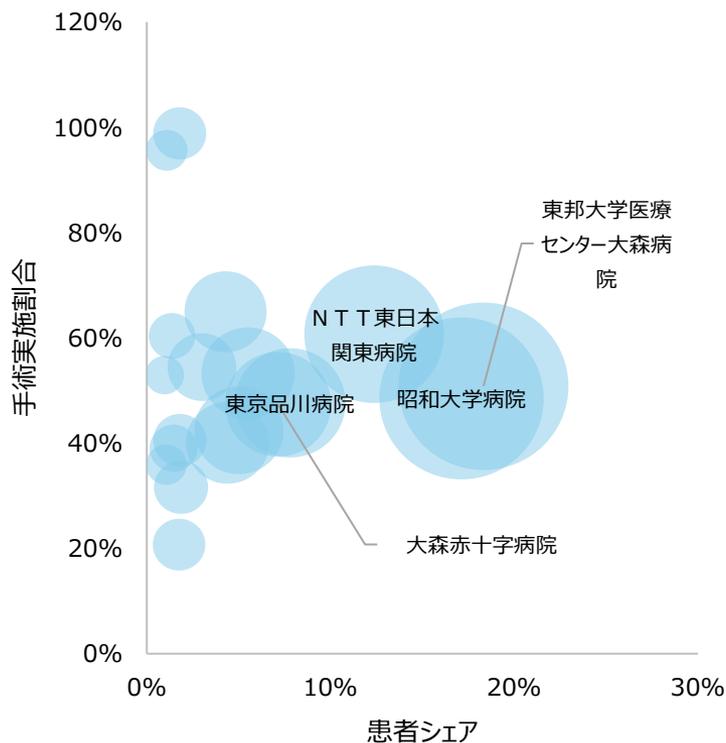


手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

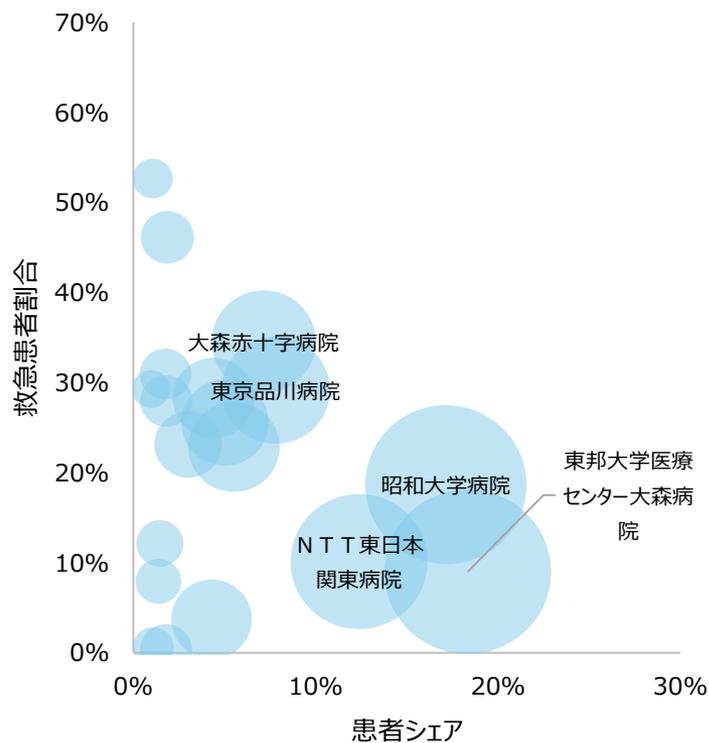
DPC退院患者の手術・救急患者割合×患者シェア（退院患者数1000人以上の病院）

前項のグラフのうち、退院患者数が1,000人／年以上の病院のみを抜粋しています。

手術実施割合×患者シェア



救急患者割合×患者シェア



手術実施割合	院内の退院患者に占める手術の実施割合
救急患者割合	院内の退院患者に占める救急搬送患者の割合
患者シェア	医療圏内の病院における、各病院の退院患者数割合
バブルの大きさ	退院患者数

— 二次医療圏でみる地域医療の構造 —

医療需給総覧

version

1.0

- 本資料は各ページ下部に記載している機関の公表データを用いて、株式会社日本経営が作成した資料です。
- 本資料に提供されている内容は万全を期しておりますが、入手し得る資料および情報に基づいて作成したものであり、その内容の正確性や安全性を保証するものではありません。
- 本資料の使用は自己判断で行っていただくものとし、万一、貴社・貴法人が損害等を被った場合において、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本資料は、行政・医療機関等における検討・意思決定の目的を含め、転載・引用・配布いただけます（事前連絡不要）。ただし、転載・引用・配布の際は、転載先に本資料名および株式会社日本経営を出典として必ずご明記ください。なお、有償・無償を問わず、本資料の全部または一部を頒布・提供する行為は禁止します。
記載例「出典元：医療需給総覧 ○○県△△医療圏（株式会社日本経営）」